

「里親」に関する意識・実態調査
報告書

2019年3月

日本財団



はじめに

日本財団は、近年は子ども支援を重点項目のひとつとし、子どもの貧困対策、難病児支援、社会的養護の子どもたちへの支援などに取り組んでいます。2013年からは、子どもたちがあたたかい家庭で暮らすことができる社会を目指して「ハッピーゆりかごプロジェクト」を立ち上げ、特別養子縁組や里親制度に関する普及啓発、政策提言、調査研究、人材育成などの事業を実施しています。

日本には生みの親と暮らすことができず、社会的養護を必要とする子どもが約45,000人います。現在はその8割以上が乳児院や児童養護施設などの施設で生活しており、里親やファミリーホームなどの家庭的な環境で暮らす子どもは約6,500人と18%程度です。国際的には、子どもの権利条約で子どもは家庭環境で生活する権利があるとされており、生みの親と暮らすことができない場合は、できる限り里親や養子縁組などの家庭的な環境を提供すべきとされています。イギリスや米国では里親委託率は7割を超えており、特に乳幼児については家庭での養育が重視されています。

日本でも2016年に改正児童福祉法が成立し、子どもは里親や養子縁組など家庭と同様の環境での養育を優先することが原則となりました。また、2017年には「新しい社会的養育ビジョン」が発表され、3歳未満については概ね5年以内に、それ以外の就学前の子どもについては概ね7年以内に里親委託率75%以上を実現し、学童期以降は概ね10年以内を目途に里親委託率を50%以上を実現するという目標が掲げられました。このビジョンを推進していくためには、里親のリクルート、研修、支援等を包括的におこなうフォスタリング機関の拡充が不可欠で、「フォスタリング機関（里親養育包括支援機関）及びその業務に関するガイドライン」も公表されています。

本調査は、このように里親養育を推進する機運が急速な高まりを見せる中、今後の里親リクルートの戦略的な展開に寄与することを目的として企画されました。都道府県や市などの行政機関でも里親に関する意識調査は実施していますが、本調査は養育里親のリクルートに焦点を絞り、誰をターゲットとして、どんなメッセージを、どんな媒体で伝えるべきか、また里親になりたいという気持ちを高めて行動にうつしてもらうためには、どのような施策が有効かを分析しています。

結果の詳細は本編にゆずりますが、潜在的な里親候補は我々が予想していたよりはるかに多いことが明らかとなり、調査に携わった一同にとって非常に希望の持てる結果となりました。

各都道府県は、2020年3月までに新しい社会的養育計画を策定する予定で、里親養育の拡充はその重点項目のひとつです。本調査を今後、里親リクルートにあたる児童相談所、フォスタリング機関、里親会などにぜひ活用して頂きたいと思います。

日本財団 公益事業部 「ハッピーゆりかごプロジェクト」 里親意向調査チーム

■ 目次

はじめに	1
調査概要	4
サマリー編	
「里親」の認知度合	7
本調査における里親とは	7
「里親制度」に関する詳細認知	8
里親意向がある人の現状のボリューム	9
<コラム1> 里親意向のある世帯数	9
里親意向がある人の意向理由	10
里親に関する情報を伝えることによる意向の変容状況	11
里親意向を高める情報① 里親制度の内容詳細	12
里親意向を高める情報② 里親制度について知りたいこと+写真提示	13
里親意向を高める条件 里親になるために望む条件	14
「里親意向」を高める要素（まとめ）	15
【参考】情報提示後に里親意向のある人が興味を持つ要素の男女差	16
情報提示後に里親意向を持った人が提示前は意向がなかった理由	17
里親意向を弱める要因になること	18
「情報提示後に里親意向がある人」の特徴	19
「情報提示後に里親意向がある人」の意向理由	20
里親に関する現状の情報源	21
<総括> 里親を増やすために伝えるべきことは？	22
<総括> 誰に、どのように伝えるのか？	22
<コラム2> 調査結果から今後の里親リクルート、里親養育支援への示唆(長野大学社会福祉学部 上鹿渡和宏)	23
本編	
1章 里親市場の現状把握（認知・経験・意向）	28
2章 里親のイメージ	33
<コラム3> 里親意向調査に期待するもの（千葉県里親家庭支援センター 木ノ内博道）	37
3章 里親意向のトリガー（意向理由・条件）	39
4章 里親意向の有無と属性の特徴	48
<コラム4> 「里親」に関する意識・実態調査報告書から学ぶこと(特定非営利活動法人キーアセット代表 渡邊守)	68
5章 施策の里親意向への影響性	70
6章 コンタクトポイント	95
考察および提言	101
APPENDIX - 調査票	104
謝辞	121

調査概要

■ 調査実施主体

公益財団法人 日本財団

■ 調査委託先

株式会社シタシオンジャパン

■ 調査協力

ボックスグローバル・ジャパン株式会社
木ノ内博道（千葉県里親家庭支援センター）
渡邊 守（NPO法人キーマット）
上鹿渡和宏（長野大学）

■ 調査の目的

養育里親に対する意識を把握し、今後、日本における養育里親への意向を高めるためのヒントを導出することが調査の目的である。

■ 主な聴取内容

- ・里親の認知
- ・里親の経験
- ・里親に対するイメージ
- ・里親意向とその理由
- ・里親になってみたいタイミング
- ・受け入れたい子どもの条件
- ・現状ある里親の支援制度の詳細認知
- ・現状ある里親の支援制度の認知による里親意向の変化
- ・施策案の呈示による里親意向の変化
- ・里親について知りたいこと
- ・現在の行政サービスの問題点
- 他

■ 調査方法

インターネットによるアンケート調査

■ 調査実施期間

2017年11月24日（金）～2017年11月28日（火）

■ 調査対象者

事前調査では、全国20代から60代の男女10,000人を調査対象者とした。性年代別の割り付けは人口構成比に合わせて回収している。

<事前調査の有効サンプル数>

	20代	30代	40代	50代	60代	
男性	789	987	1160	963	1102	10000
女性	760	966	1142	969	1162	

また、本調査では、事前調査の回答者の中から、下記の条件に合致した人1,500人を抽出して対象とした。

- ・30代から60代の男女
- ・養育里親未経験者
- ・2人以上の大人が同居している（婚姻状況は不問）
- ・本人/同居家族ともに生活保護を受けていない、かつ要介護者ではない、かつ犯罪歴がない

なお、養育里親の意向がある人となない人の違いを分析するため、本調査の対象者の内訳を養育里親の意向あり700人、養育里親の意向なしを800人とした。さらに、性・年代を均等になるように割り付けて回収した。養育里親について、「里親になってみたい」、「どちらかという里親になってみたい」と回答した人を里親意向あり、「里親になってみたいとは思わない」、「どちらかという里親になってみたいとは思わない」、「どちらともいえない」と回答した人を里親意向なしとした。

<本調査の有効サンプル数>

	里親意向あり				里親意向なし			
	30代	40代	50代	60代	30代	40代	50代	60代
男性	87	87	88	88	100	100	100	100
女性	87	87	88	88	100	100	100	100
	700				800			

■ ウェイトバック集計

日本全体の傾向を把握するため、本調査の「全体」スコアは、事前調査における里親意向の有無の出現率（性年代別）に合わせて、サンプルに重みづけを行った。

■ その他、報告書内での表記について

事前調査と本調査では、3度、養育里親の意向について聴取している。1回目は事前調査において、養育里親についての情報を何も提示していない状態で聴取した。2回目は本調査で現状の里親への支援制度を提示した後、3回目はさらに里親の子どものイメージ写真・文章や、サポートの施策案を提示した後である。この報告書の中に記載されている「里親意向UP層」とは、1回目では里親意向なしであったが、3回目に里親意向ありと回答した人である。また、「里親意向DOWN層」とは、里親意向なしであったが、3回目に里親意向ありと回答した人である。

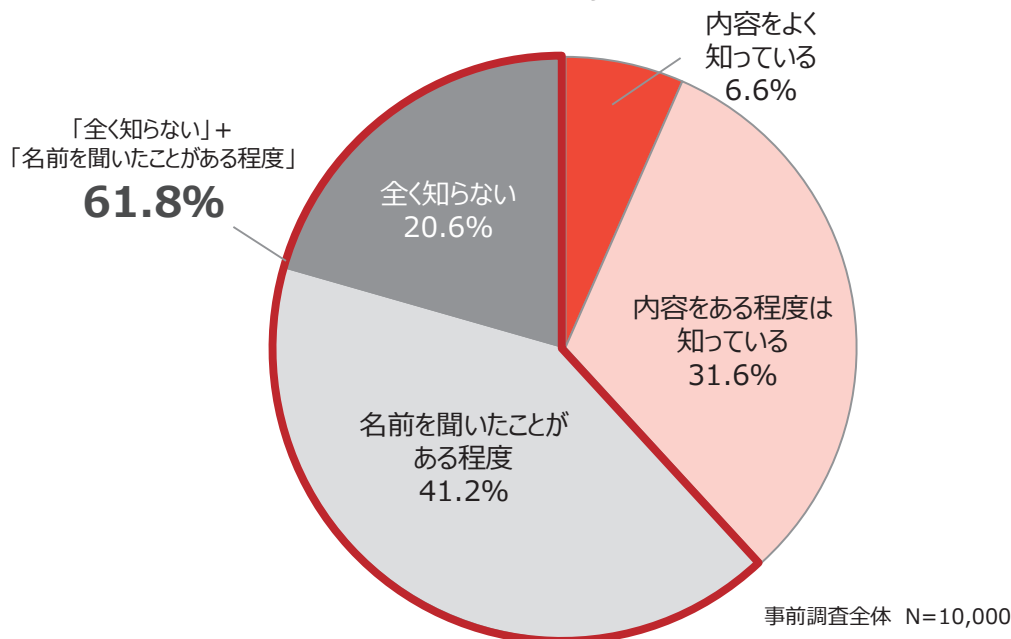
サマリー編

■ 「里親」の認知度合

約6割の人が里親について「全く知らない」「名前を聞いたことがある程度」なのが現状である

「里親」について、全体の20.6%が「全く知らない」、41.2%が「名前を聞いたことがある程度」と回答しており、合わせて61.8%の人がほぼ知らない。一方、「内容をよく知っている」人は6.6%と少数となっている。

- 「里親」について知っている度合（事前調査SQ3/P28）



【本調査における里親とは】

アンケートを実施するにあたり、事前調査の中で、下記の3つの里親の定義について説明をした（下記説明文）。

回答者は、「里親」とは、『養育里親』を指して回答をしている。

そのため、本ページ以降の里親とは『養育里親』を指す。

～ここからは、「**里親**」のことについてお聞きます～

【1.養育里親（専門里親を含む）】

様々な事情で自分の家族と暮らせない子どもたちを、一定期間自分の家庭に迎え入れ、成長をサポートする里親

【2.養子縁組里親】

養子縁組によって、子どもの養親になることを希望する里親

【3.親族里親】

実親が死亡、行方不明などにより養育できない場合に、祖父母などの親族が子どもを養育する里親

この調査では、**これを「里親」とします。**

※「養子縁組」とは異なります。
※ペットの里親は除いてお答えください。

■ 「里親制度」に関する詳細認知

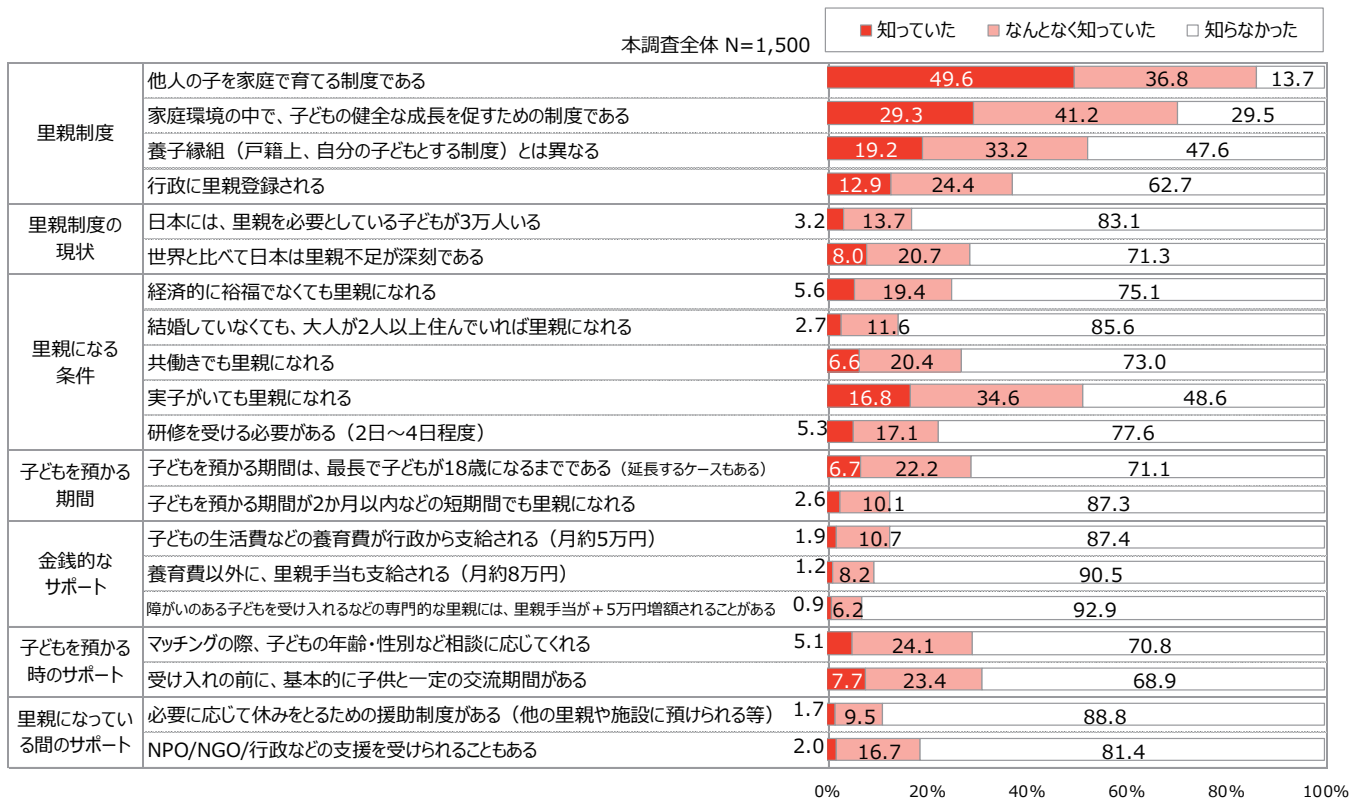
里親制度の内容や現状についても、ほとんど知られていない

里親制度の詳細内容に関して、「知っていた」と回答した人が比較的多いのは、「他人の子を家庭で育てる制度である（49.6%）」「家庭環境の中で、子どもの健全な成長を促すための制度である（29.3%）」「養子縁組（戸籍上、自分の子どもとする制度）とは異なる（19.2%）」「実子がいても里親になれる（16.8%）」であり、これらは「なんとなく知っていた」まで含めると5割以上の人が知っていたと回答している。

一方「知らなかった」と回答した人が多いのは、「障がいのある子どもを受け入れるなどの専門的な里親には、里親手当が+5万円増額されることがある（92.9%）」、「養育費以外に、里親手当も支給される（90.5%）」、「子どもの生活費などの養育費が行政から支給される（87.4%）」といった『金銭的なサポート』に関する制度内容であり、それぞれ約9割の人が知らなかった。

他にも、「日本には里親を必要としている子どもが3万人いる（83.1%）」といった『里親制度の現状』、「結婚してなくても、大人が2人以上住んでいれば里親になれる（85.6%）」、「子どもを預かる期間が2か月以内などの短期間でも里親になれる（87.3%）」といった『里親になる条件・期間』、「必要に応じて休みをとるための援助制度がある（88.8%）」、「NPO/NGO/行政などの支援を受けられることもある（81.4%）」といった『里親になっている間のサポート』においても、8割以上の人に知られていないのが現状である。

● 里親制度の詳細内容に関して知っている割合（Q13/P72～79）



■ 里親意向がある人の現状のボリューム

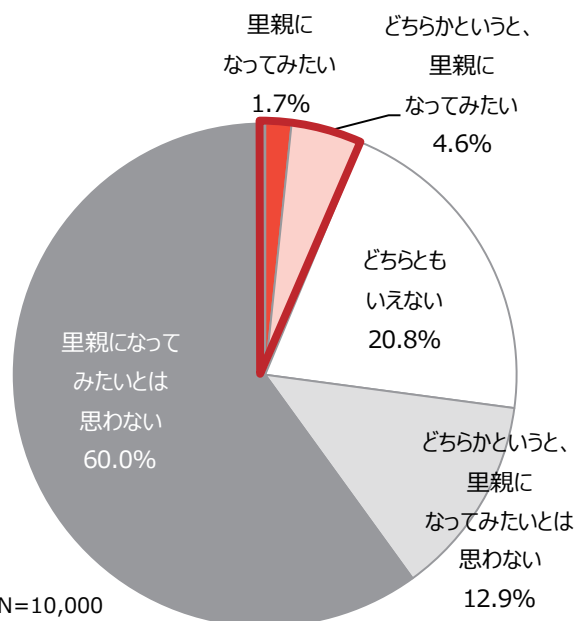
里親意向がある人は6.3%。日本の20代～60代人口に換算すると約504万人が里親意向を持っている

「里親になってみたい（1.7%）」、「どちらかという、里親になってみたい（4.6%）」を合わせると、6.3%の人が里親意向を示した。推計すると、約504万人が里親意向を持っていると考えられる。

- 里親になってみたいと思う割合（事前調査SQ7/P30）



※推計元は、平成27年国勢調査のデータを用いた
※20代～60代の男女総人口（およそ8000万人）で算出



<コラム1> 里親意向のある世帯数



500万人！でも里親になるにも条件があるようだし、
“実際に里親になることができる世帯数”に換算すると、どのくらいなのでしょう？

今回の推計では“里親候補”として考えられる世帯を、
以下3つの条件と仮定してみましょう。

- ① 30代～60代
- ② 夫婦のみ、もしくは夫婦と子どものみ世帯
- ③ 本人/同居人ともに生活保護を受けていない

上記3つの条件に該当する世帯をおよそ1,780万世帯としたときに、
里親意向をもつ世帯数を推計すると、およそ**100万世帯**となります。



約100万世帯！
現在、施設で生活している子どもは約**3万人**ですから、
里親を求めている子どもたちの多くが家庭で生活できる可能性がありそうですね！

※里親制度上は年齢要件はなく、単身者も可能であり、欠格事由は児童虐待等の犯罪歴がない等も含む
※事前調査回答者のうち、本調査で“里親候補”と仮定した上記①～③条件合致者における里親意向がある人は5.3%
※推計元は、平成27年国勢調査、および国立社会保障・人口問題研究所のデータを用いた
※30代～60代の「夫婦のみの世帯数」および「夫婦と子どものみ世帯数」から「生活保護世帯数」を除いた世帯数（およそ1,780万世帯）で算出

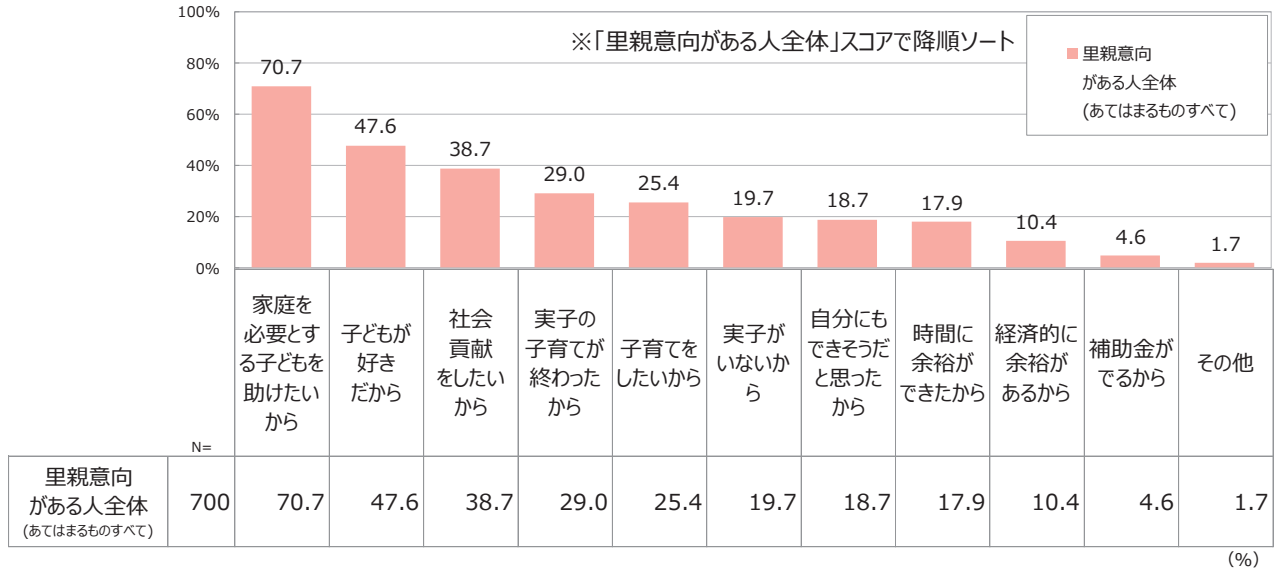
■ 里親意向がある人の意向理由

里親になってみたい理由は、「家庭を必要とする子どもを助けたいから」とする人が多い

里親意向のある人が里親になってみたい理由としてあげたのは「家庭を必要とする子どもを助けたいから」が70.7%で、最も高かった。特に30～40代女性、60代男性・女性で高かった。

「子どもが好きだから（47.6%）」もスコアが高く、どの年代でも約4割～5割ほどの人が理由の一つとしている。

- 里親意向のある人が里親になってみたい理由【里親意向がある人 全体】（Q7/P39）



- 里親意向のある人が里親になってみたい理由【里親意向がある人 性年代別】（Q7/P39）

年代	順位	男性		女性	
		理由	スコア (%)	理由	スコア (%)
30代	1	子どもが好きだから	52.9	家庭を必要とする子どもを助けたいから	79.3
	2	家庭を必要とする子どもを助けたいから	49.4	子どもが好きだから	46.0
	3	社会貢献をしたいから	41.4	子育てをしたいから	33.3
	4	子育てをしたいから	24.1	社会貢献をしたいから	32.2
	5	実子がないから	24.1	実子がないから	26.4
40代	1	家庭を必要とする子どもを助けたいから	64.4	家庭を必要とする子どもを助けたいから	77.0
	2	子どもが好きだから	47.1	子どもが好きだから	46.0
	3	社会貢献をしたいから	40.2	社会貢献をしたいから	34.5
	4	子育てをしたいから	26.4	子育てをしたいから	32.2
	5	実子がないから	26.4	実子がないから	27.6
50代	1	家庭を必要とする子どもを助けたいから	65.9	家庭を必要とする子どもを助けたいから	70.5
	2	子どもが好きだから	47.7	子どもが好きだから	42.0
	3	社会貢献をしたいから	38.6	実子の子育てが終わったから	39.8
	4	実子の子育てが終わったから	34.1	社会貢献をしたいから	34.1
	5	子育てをしたいから	28.4	子育てをしたいから	27.3
60代	1	家庭を必要とする子どもを助けたいから	77.3	家庭を必要とする子どもを助けたいから	81.8
	2	実子の子育てが終わったから	60.2	実子の子育てが終わったから	63.6
	3	子どもが好きだから	53.4	子どもが好きだから	45.5
	4	社会貢献をしたいから	52.3	社会貢献をしたいから	36.4
	5	時間に余裕ができたから	42.0	自分にもできそうだったから	29.5
				時間に余裕ができたから	29.5

※各年代、上位5位までの理由をピックアップ

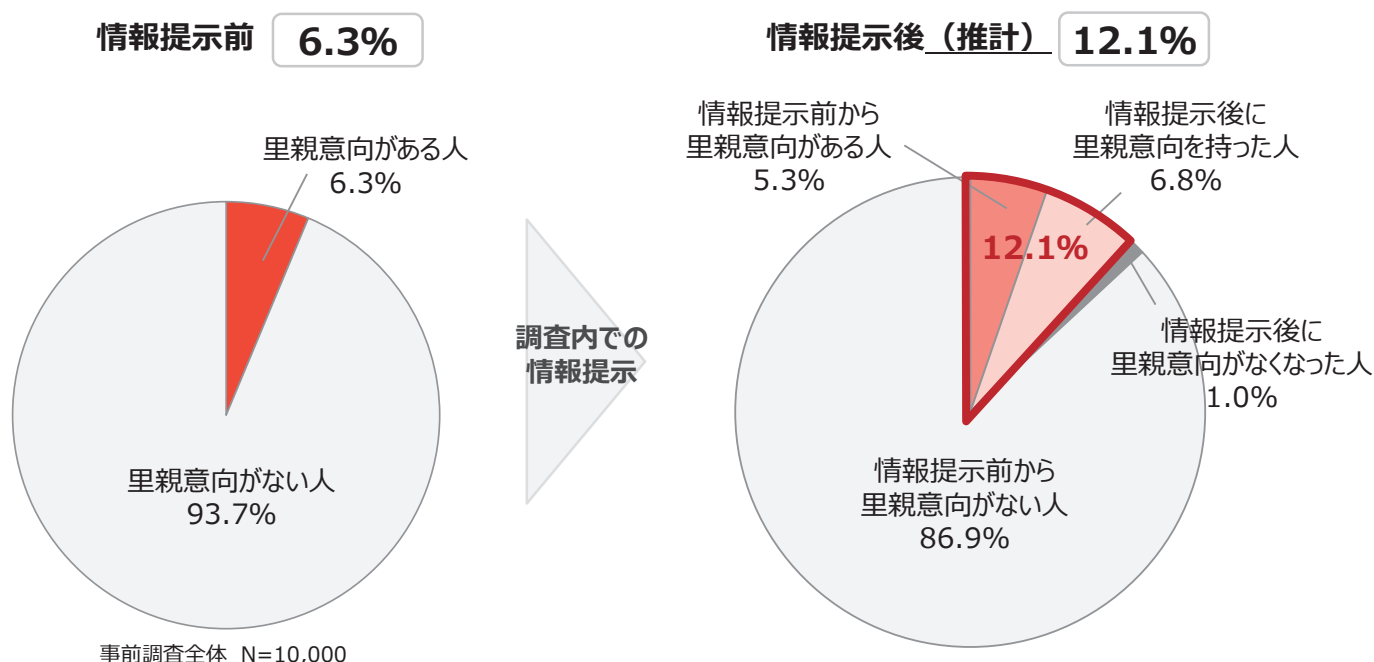
※赤字は全体スコアと比べて5pt以上スコアが高い理由

■ 里親に関する情報を伝えることによる意向の変容状況

里親に関する詳細な情報（置かれている現状や制度内容など）を提示すると、里親意向を持つ人は増える

「日本には、里親を必要としている子どもが3万人いる」といった里親制度を取り巻く現状や、「子どもの生活費などの養育費が行政から支給される」といった里親に対するサポートの詳細内容など、里親に対する情報を伝えることで、里親意向がある人は、6.3%から12.1%にまで増加した。

里親の置かれている現状や制度内容の認知・理解が進むことで、里親意向者の拡大が見込まれる。



※里親意向がある人
「里親になってみたい」+「どちらかという、里親になってみたい」

※里親意向がない人
「里親になってみたいとは思わない」+「どちらかという、里親になってみたいとは思わない」+「どちらともいえない」

※情報提示後（推計）は、本調査回答者のスコアから推計。本調査回答者は以下。
 ・30代から60代の男女
 ・養育里親未経験者
 ・2人以上の大人が同居している（婚姻状況は不問）
 ・本人/同居家族ともに生活ほどを受けていない、かつ要介護者ではない、かつ犯罪歴がない

【調査内で提示した情報】

- ・日本で里親を必要としている子どもたちがたくさんいること
- ・里親に対するサポートの詳細内容
- ・里親に委託される子どもたちのイメージ（募集記事の例） など
詳細はP70、P82、P86、P89に記載。

■ 里親意向を高める情報① 里親制度の内容詳細

本調査では、『里親制度の内容詳細』『里親制度について知りたい事 + 里親の募集記事例の提示』『里親になるために望む条件』の情報・条件について、里親への興味を持つ割合（以降、“興味度”と表記する）と、それらの情報や条件を踏まえた上での里親意向を改めて聴取した。

そして、情報提示後の里親意向にどの要素が影響を与えているのかを分析し導出した。（以降、相関分析の結果を“意向への影響度”と表記する）

情報提示後に里親意向のある人が特に興味を持ち、意向を高めたのは、里親不足の深刻さなど『里親を取り巻く現状』である

情報提示後に里親意向がある人が、どういった情報に対して興味を持ち、意向を高めたのかについて確認した。

<里親制度の内容詳細>において情報提示後に里親意向がある人の“興味度”が高いのは、「世界と比べて日本は里親不足が深刻である（86.0%）」「家庭環境の中で、子どもの健全な成長を促すための制度である（84.6%）」「日本には、里親を必要としている子どもが3万人いる（84.6%）」などである。これらは“意向への影響度”も高い。

他にも「子どもを預かる期間が2か月以内などの短期間でも里親になれる（71.6%）」といった認知度が低かった内容も、“興味度”“意向への影響度”ともにスコアが高めの傾向。

- 情報提示後に里親意向のある人が興味を持つ要素と実際に意向を高めるために重要な要素【情報提示後に里親意向のある人 全体】（Q14～17/P80～90）

里親制度の内容詳細（Q14）

情報提示後に里親意向のある人 全体 N=649

平均よりもスコアが高い	番号	選択肢項目	興味度	意向への影響度
【興味度】 【意向への重要度】	6	世界と比べて日本は里親不足が深刻である	86.0	0.708
	2	家庭環境の中で、子どもの健全な成長を促すための制度である	84.6	0.746
	5	日本には、里親を必要としている子どもが3万人いる	84.6	0.700
	18	受け入れの前に、基本的に子供と一定の交流期間がある	81.5	0.720
	17	マッチングの際、子どもの年齢・性別など相談に応じてくれる	81.0	0.724
	7	経済的に裕福でなくても里親になれる	80.0	0.712
	20	NPO/NGO/行政などの支援を受けられることもある	75.2	0.710
	19	必要に応じて休みをとるための援助制度がある（他の里親や施設に預けられる等）	74.6	0.718
	1	他人の子を家庭で育てる制度である	74.4	0.742
【意向への重要度】	13	子どもを預かる期間が2か月以内などの短期間でも里親になれる	71.6	0.692
	9	共働きでも里親になれる	69.6	0.706
	14	[養育費]子どもの生活費などの養育費が行政から支給される（月約5万円）	68.7	0.692
	10	実子がいても里親になれる	68.4	0.703
	8	結婚していなくても、大人が2人以上住んでいれば里親になれる	66.9	0.690
	3	養子縁組（戸籍上、自分の子どもとする制度）とは異なる	63.6	0.690
	11	研修を受ける必要がある（2日～4日程度）	61.6	0.694
	12	子どもを預かる期間は、最長で子どもが18歳になるまでである（延長するケースもある）	57.8	0.696
-	4	行政に里親登録される	55.8	0.693
	15	[里親手当(1)]養育費以外に、里親手当も支給される（月約8万円）	68.3	0.678
	16	[里親手当(2)]障がいのある子どもを受け入れるなどの専門的な里親には、里親手当が+5万円増額されることがある	58.1	0.665

※“興味度”＝「里親への興味を持つ」＋「どちらかというと、里親への興味を持つ」回答者比率（%）

※“意向への影響度”＝相関係数／1に近いほど影響度が高い項目

※平均スコアとの比較のまとまりごとに“興味度”降順ソート

… 『里親制度の内容詳細』
『里親制度について知りたい事 + 里親の募集記事例の提示』
『里親になるために望む条件』
の3要素（計52項目）の平均以上スコア

■ 里親意向を高める情報② 里親制度について知りたいこと+写真提示

情報提示後に里親意向のある人が特に興味を持ち、意向を高めたのは、『子どもについて知ることができる情報』『具体的な里親のなり方、なってからのサポート』である

前頁同様、情報提示後に里親意向がある人が、どういった情報に対して興味を持ち、意向を高めたのかについて確認した。

〈里親制度について知りたい事+里親の募集記事例の提示〉において、「写真提示/里親の募集記事例（下部の画像を提示）」は情報提示後に里親意向がある人の“興味度”が93.7%と、他要素と比べて突出してスコアが高い。“意向への影響度”も高いスコアで、里親への興味を持たせる効果、意向を高める効果ともに期待できるといえる。

次いで「子どもの背景（これまでの暮らしぶりや里親を必要としている背景など）（87.1%）」や「子どもの人となり（顔写真や好きな事など）（85.1%）」が続き、『子どもについて知ることができる情報』は意向を高めるための重要な要素となっている。

その他、「どのような精神的サポートが受けられるか（相談など）（84.9%）」「具体的な里親のなり方（84.3%）」など『具体的な里親のなり方、なってからのサポート』について伝えることも重要といえる。

里親制度について知りたい事+里親の募集記事例の提示（Q16/17）

情報提示後に里親意向のある人 全体 N=649

平均よりもスコアが高い	番号	選択肢項目	興味度	意向への影響度
【興味度】 【意向への重要度】	写真	写真提示（里親の募集記事の例）	93.7	0.812
	2	子どもの背景（これまでの暮らしぶりや里親を必要としている背景など）	87.1	0.715
	1	子どもの人となり（顔写真や好きな事など）	85.1	0.725
	4	どのような精神的サポートが受けられるか（相談など）	84.9	0.709
	8	具体的な里親のなり方	84.3	0.735
	12	実際に里親に預けられた子どもたちの体験談	83.8	0.706
	11	里親たちの体験談	83.8	0.704
	9	里親になるための留意事項	82.1	0.735
	5	どのくらいの里親を待っている子どもがいるのか	75.5	0.698
	3	どのような物理的サポートが受けられるか（補助金や休暇制度といった支援など）	77.2	0.679
【興味度】 【意向への重要度】	6	日本の受け入れ状況が国際基準と比べてどのくらい遅れているのか	67.3	0.686
-	10	里親になった際の収支モデル	69.5	0.668
-	7	近所にも里親を必要としている子どもがいること	68.4	0.677

※“興味度”＝「里親への興味を持つ」+「どちらかという、里親への興味を持つ」回答者比率（%）

※“意向への影響度”＝相関係数/1に近いほど影響度が高い項目

※平均スコアとの比較のまとまりごとに“興味度”降順ソート

- ... 『里親制度の内容詳細』
- 『里親制度について知りたい事+里親の募集記事例の提示』
- 『里親になるために望む条件』
- の3要素（計52項目）の平均以上スコア

● 【提示素材】里親の募集記事例（Q17/P89）



ゆうくん 3か月
ぶぶぶとした寝かすが、とても可愛い。ゆらゆらと、毎日よくミルクを飲み、定量的に食べるほど。ミルクの時間になるとぐっぐうと泣き出すので、声掛けすると泣き止みます。おっぱいを飲むとよく寝て、すくすくと成長しています。
お母さんと遊ばせ、おもちゃを遊ぶなど元気いっぱいです。抱っこできるのが好きみたいです。お風呂も大好き。お風呂に入ると、お母さんを見て嬉しそうに笑っています。



さくらちゃん 2歳2か月
お母さんが大好きで、よくしゃべります。近所の公園に行くと、お友達と遊ぶのが大好きです。お友達と遊ぶときは、お友達と仲良く遊ぶのが大好きです。お友達と遊ぶときは、お友達と仲良く遊ぶのが大好きです。お友達と遊ぶときは、お友達と仲良く遊ぶのが大好きです。
お友達と遊ぶときは、お友達と仲良く遊ぶのが大好きです。お友達と遊ぶときは、お友達と仲良く遊ぶのが大好きです。お友達と遊ぶときは、お友達と仲良く遊ぶのが大好きです。



ようたくん 3歳11か月
公園遊びが大好きで元気な男の子です。よく泣きます。いつもお友達と一緒に遊ぶのが大好きです。
お友達と遊ぶときは、お友達と仲良く遊ぶのが大好きです。お友達と遊ぶときは、お友達と仲良く遊ぶのが大好きです。お友達と遊ぶときは、お友達と仲良く遊ぶのが大好きです。
お友達と遊ぶときは、お友達と仲良く遊ぶのが大好きです。お友達と遊ぶときは、お友達と仲良く遊ぶのが大好きです。お友達と遊ぶときは、お友達と仲良く遊ぶのが大好きです。

※これらの写真および紹介文は、あくまでイメージであり、実在するお子様ではありません。

■ 里親意向を高める条件 里親になるために望む条件

情報提示後に里親意向のある人が興味を持ち、意向を高める条件は、家族・親族・同居人の理解など『自らの周辺環境』が整うことである。また相談窓口や金銭サポートなど『外部環境』の整備もあがる

情報提示後に里親意向がある人が、こういった条件が整ったら里親に興味を持ち、意向を高めるのかについて確認した。

＜里親になるために望む条件＞において情報提示後に里親意向がある人の“興味度”が高いのは、「家族・親族・同居人の理解が得られれば（82.0%）」「時間に余裕があれば（77.8%）」といった『自らの周辺環境の整備』や、「気軽に相談できる場所・相手がいれば（82.0%）」「行政（児童相談所など）の態度が友好的ならば（73.5%）」「養育費などの金銭面のサポートをさらに得られれば（72.7%）」といった『外部環境の整備』があげられる。これらは、“意向への影響度”も高い。

里親になるために望む条件（Q15）

情報提示後に里親意向のある人 全体 N=649

平均よりもスコアが高い	番号	選択肢項目	興味度	意向への影響度
【興味度】 【意向への重要度】	10	家族・親族・同居人の理解が得られれば	82.0	0.714
	9	気軽に相談できる場所・相手がいれば	82.0	0.712
	3	時間に余裕があれば	77.8	0.690
	18	行政（児童相談所など）の態度が友好的ならば	73.5	0.699
	1	養育費などの金銭面のサポートをさらに得られれば ※現状計 月13万円	72.7	0.687
-	8	里親とチームとなり、リクルート、研修、支援などを一貫して担ってくれる機関があれば	68.4	0.669
	11	「里親会」のような、里親同士のつながりがあれば	67.8	0.685
	13	預かっている子どもでも保育園に預けることができるなら	64.9	0.663
	4	1週間など、短期間でもよければ	64.3	0.618
	17	学校や幼稚園・保育園の理解が得られれば	62.2	0.673
	12	仕事の忙しさが落ち着いたら	60.4	0.656
	2	住居を変えるための補助がもらえれば	56.9	0.616
	6	実子が大きくなったら	54.2	0.594
	14	子育ての知識が増えたら	52.9	0.628
	16	周囲・近所の理解が得られれば	50.2	0.617
	7	退職したら	50.1	0.595
	5	広い住居に住めれば	50.1	0.584
	15	子どもとの相性が良くなかった時に、他の子どもにかえられるなら	46.4	0.596
	19	育児休暇が取れれば	44.2	0.618

※“興味度”＝「里親への興味を持つ」+「どちらかという、里親への興味を持つ」回答者比率（%）

※“意向への影響度”＝相関係数／1に近いほど影響度が高い項目

※平均スコアとの比較のまとまりごとに“興味度”降順ソート

… 『里親制度の内容詳細』
『里親制度について知りたい事+里親の募集記事例の提示』
『里親になるために望む条件』
の3要素（計52項目）の平均以上スコア

■ 「里親意向」を高める要素（まとめ）

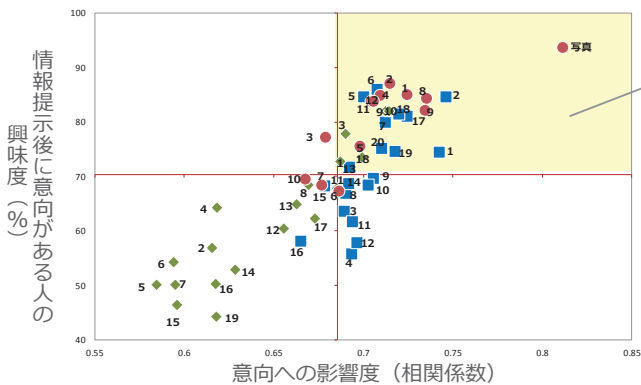
P72～90の『里親制度の内容詳細』『里親制度について知りたい事+里親の募集記事例の提示』『里親になるために望む条件』において、情報提示後に里親意向がある人の“興味度”を縦軸に、“意向への影響度（相関係数）”を横軸に布置した。

「困っている子どもたちの様子」や「里親のなり方」を知ることが里親意向を高める

里親に委託される子どもの様子がわかる「写真提示（里親の募集記事例）」は“興味度”、“意向への影響度”どちらも、他要素と比べてスコアが高く、里親意向を高める要素といえる。

他にも「子どもの健全な成長のために、家庭環境が必要であること（青2番）」「具体的な里親のなり方・留意事項（赤8/9番）」といった情報も比較的スコアが高く、里親意向を高める要素といえる。（他要素は頁下部を参照）

● 情報提示後に里親意向のある人が興味を持つ要素と実際に意向を高めるために重要な要素



情報提示後に里親意向がある人 全体 N=649

【里親意向を高める要素】
興味を持つ人が多く、
意向への影響度も高い

※赤線は「現状詳細」「知りたい事」「写真提示」「望む条件」全項目の平均値

● 情報提示後に里親意向がある人の“興味度”TOP2：70.3%

● “興味度”と情報提示後の里親意向との相関係数
：0.685

※マーカー横にある番号は頁下部の数表およびP72～90の数表と連動している。

※マーカーの凡例は以下

■ 里親制度の内容詳細

● 里親制度について知りたい事+里親の募集記事例の提示

◆ 里親になるために望む条件

● 第一象限（マップ右上：黄色）に位置する里親意向を高める要素

情報提示後に里親意向のある人 全体 N=649

要素	番号	選択肢項目	興味度	意向への影響度
里親制度について知りたい事+里親の募集記事例の提示	写真	写真提示（里親の募集記事の例）	93.7	0.812
里親制度について知りたい事+里親の募集記事例の提示	2	子どもの背景（これまでの暮らしや里親を必要としている背景など）	87.1	0.715
里親制度の内容詳細	6	世界と比べて日本は里親不足が深刻である	86.0	0.708
里親制度について知りたい事+里親の募集記事例の提示	1	子どもの人となり（顔写真や好きな事など）	85.1	0.725
里親制度について知りたい事+里親の募集記事例の提示	4	どのような精神的サポートが受けられるか（相談など）	84.9	0.709
里親制度の内容詳細	2	家庭環境の中で、子どもの健全な成長を促すための制度である	84.6	0.746
里親制度の内容詳細	5	日本には、里親を必要としている子どもが3万人いる	84.6	0.700
里親制度について知りたい事+里親の募集記事例の提示	8	具体的な里親のなり方	84.3	0.735
里親制度について知りたい事+里親の募集記事例の提示	12	実際に里親に預けられた子どもたちの体験談	83.8	0.706
里親制度について知りたい事+里親の募集記事例の提示	11	里親たちの体験談	83.8	0.704
里親制度について知りたい事+里親の募集記事例の提示	9	里親になるための留意事項	82.1	0.735
里親になるために望む条件	10	家族・親族・同居人の理解が得られれば	82.0	0.714
里親になるために望む条件	9	気軽に相談できる場所・相手がいれば	82.0	0.712
里親制度の内容詳細	18	受け入れの前に、基本的に子供と一定の交流期間がある	81.5	0.720
里親制度の内容詳細	17	マッチングの際、子どもの年齢・性別など相談に応じてくれる	81.0	0.724
里親制度の内容詳細	7	経済的に裕福でなくても里親になれる	80.0	0.712
里親になるために望む条件	3	時間に余裕があれば	77.8	0.690
里親制度について知りたい事+里親の募集記事例の提示	5	どのくらいの里親を待っている子どもがいるのか	75.5	0.698
里親制度の内容詳細	20	NPO/NGO/行政などの支援を受けられることもある	75.2	0.710
里親制度の内容詳細	19	必要に応じて休みをとるための援助制度がある（他の里親や施設に預けられる等）	74.6	0.718
里親制度の内容詳細	1	他人の子を家庭で育てる制度である	74.4	0.742
里親になるために望む条件	18	行政（児童相談所など）の態度が友好的ならば	73.5	0.699
里親になるために望む条件	1	養育費などの金銭面のサポートをさらに得られれば ※現状計 月13万円	72.7	0.687
里親制度の内容詳細	13	子どもを預かる期間が2か月以内などの短期間でも里親になれる	71.6	0.692

※“興味度”＝「里親への興味を持つ」+「どちらかというと、里親への興味を持つ」回答者比率（%）

※“意向への影響度”＝相関係数／1に近いほど影響度が高い項目

※“興味度”降順ソートののち、“意向への影響度”降順ソート

■【参考】情報提示後に里親意向のある人が興味を持つ要素の男女差

情報提示後に里親意向がある人において、男性よりも女性のほうが提示された情報に興味を持つ人が多い

里親制度に関する情報に興味を持った人の割合を男女で比較し、差分が10pt以上のもをピックアップしたところ、全項目で女性のほうがスコアが高いという結果だった。男性よりも女性のほうが全般的に興味を持つ人が多い傾向がみられる。

「受け入れの前に、基本的に子供と一定の交流期間がある」「マッチングの際、子どもの年齢・性別など相談に応じてくれる」といった『受け入れに関する具体的な制度内容』や、「日本の受け入れ状況が国際基準と比べてどのくらい遅れているのか」「どのくらいの里親を待っている子どもがいるのか」といった『日本における里親不足の現状』、「行政の態度が友好的ならば」「気軽に相談できる場所・相手がいれば」といった『相談窓口に関する情報』に対して、男性よりも女性のほうが関心を示している。これらの情報を提示したときに、より女性のほうが興味を示しやすいと考えられる。

- 情報提示後に里親意向のある人が興味を持つ要素のうち、男女差があるもの
【情報提示後に里親意向のある人 性別】(Q13~17/P72~90)
※男女の差分が10pt以上のもをピックアップ

		情報提示後に里親意向のある人 男性 N=315	【男性】 興味度	【女性】 興味度	女性-男性 差分
		情報提示後に里親意向のある人 女性 N=334			
里親制度の 内容詳細	18	受け入れの前に、基本的に子供と一定の交流期間がある	72.4	90.1	17.7
	17	マッチングの際、子どもの年齢・性別など相談に応じてくれる	73.3	88.3	15.0
	8	結婚していなくても、大人が2人以上住んでいれば里親になれる	59.7	73.7	14.0
	9	共働きでも里親になれる	62.5	76.3	13.8
	5	日本には、里親を必要としている子どもが3万人いる	77.8	91.0	13.2
	15	[里親手当(1)]養育費以外に、里親手当も支給される(月約8万円)	61.6	74.6	13.0
	19	必要に応じて休みをとるための援助制度がある(他の里親や施設に預けられる等)	68.3	80.5	12.3
	14	[養育費]子どもの生活費などの養育費が行政から支給される(月約5万円)	62.5	74.6	12.0
	13	子どもを預かる期間が2か月以内などの短期間でも里親になれる	66.0	76.9	10.9
	16	[里親手当(2)]障がいのある子どもを受け入れるなどの専門的な里親には、 里親手当が+5万円増額されることがある	52.7	63.2	10.5
里親制度 について 知りたい事 + 里親の 募集記事例 の呈示	10	実子がいても里親になれる	63.2	73.4	10.2
	6	日本の受け入れ状況が国際基準と比べてどのくらい遅れているのか	58.7	75.4	16.7
	5	どのくらいの里親を待っている子どもがいるのか	67.0	83.5	16.5
	7	近所にも里親を必要としている子どもがいること	60.3	76.0	15.7
	4	どのような精神的サポートが受けられるか(相談など)	77.1	92.2	15.1
	8	具体的な里親のなり方	77.1	91.0	13.9
里親に なるために 望む条件	9	里親になるための留意事項	75.9	88.0	12.2
	12	実際に里親に預けられた子どもたちの体験談	78.1	89.2	11.1
	2	子どもの背景(これまでの暮らしぶりや里親を必要としている背景など)	81.9	91.9	10.0
	18	行政(児童相談所など)の態度が友好的ならば	64.1	82.3	18.2
	9	気軽に相談できる場所・相手がいれば	72.7	90.7	18.0
	17	学校や幼稚園・保育園の理解が得られれば	54.6	69.5	14.9
	13	預かっている子どもでも保育園に預けることができるなら	57.8	71.6	13.8
	8	里親とチームとなり、リクルート、研修、支援などを一貫して担ってくれる機関があれば	61.6	74.9	13.3
	10	家族・親族・同居人の理解が得られれば	75.6	88.0	12.5
	14	子育ての知識が増えたら	46.7	58.7	12.0
	4	1週間など、短期間でもよければ	58.1	70.1	12.0
	16	周囲・近所の理解が得られれば	44.1	56.0	11.9
	11	「里親会」のような、里親同士のつながりがあれば	62.5	72.8	10.2

※「興味度」=「(どちらかというと)里親への興味を持つ」回答者比率(%)

※「女性-男性 差分」降順ソート

■ 情報提示後に里親意向を持った人が提示前は意向がなかった理由

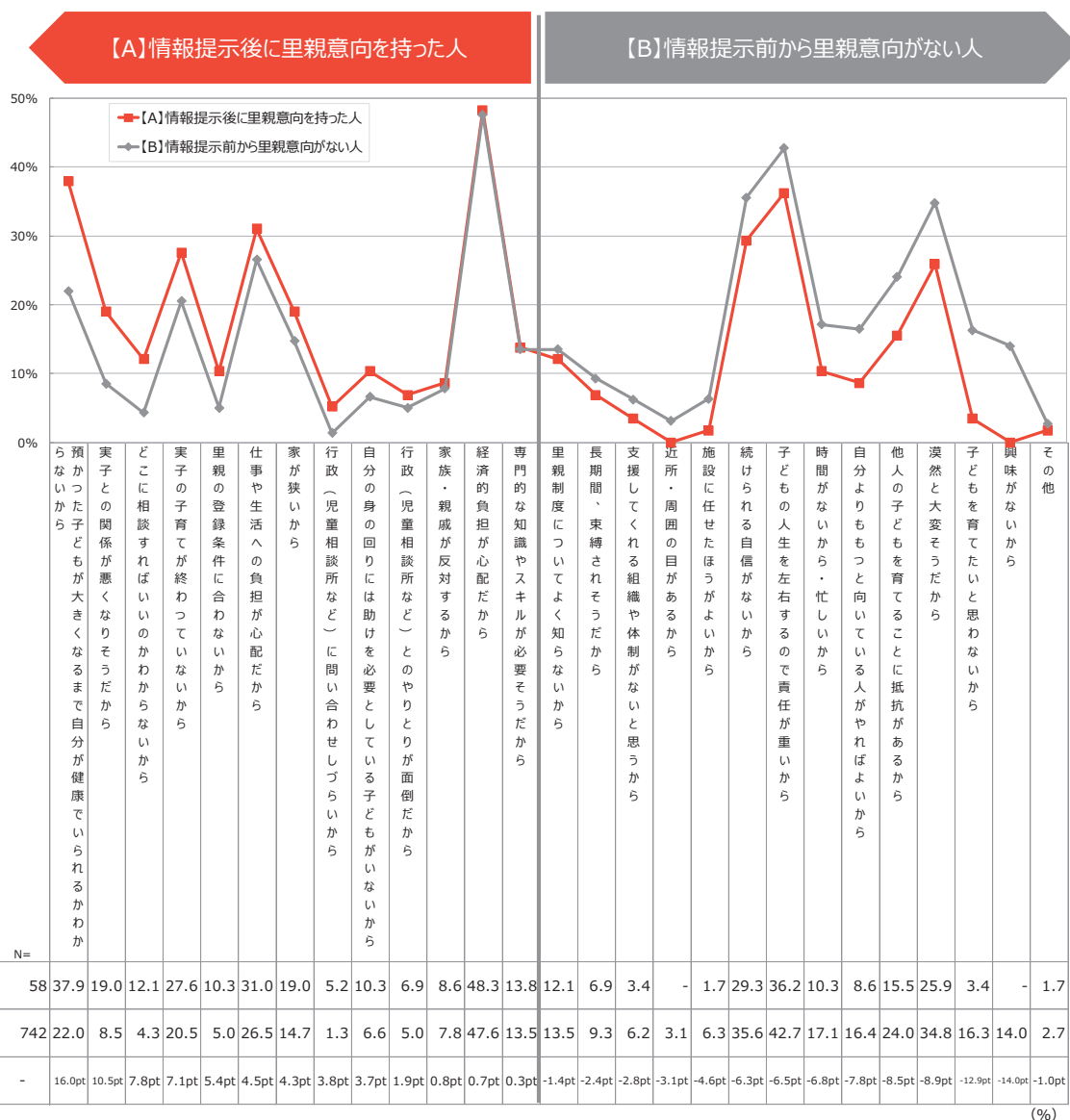
情報提示後に里親意向を持った人が提示前は意向がなかった理由として特徴的なのは、「自分の子育てが終わっておらず、実子との関係が気になる」「子どもが大きくなるまで自分が健康でいられるかわからない」などである

里親意向が低かった理由としてトップにあがるのは「経済的負担が心配だから」であり、情報提示後に里親意向を持った人（以降【A】）、情報提示前から里親意向がない人（以降【B】）ともに4割後半という結果だった。

情報提示によって意向があがった【A】は、【B】と比べて「子どもが大きくなるまで健康でいられるかわからない（37.9%）」「実子との関係が悪くなりそう（19.0%）」「どこに相談すればいいのかわからない（12.1%）」と思っていた人が多いのは特徴といえる。

一方、意向があがらなかった【B】は、子どもや子育てにそもそも興味がない項目のスコアが比較的高い。

● 非意向理由（Q11/P43）



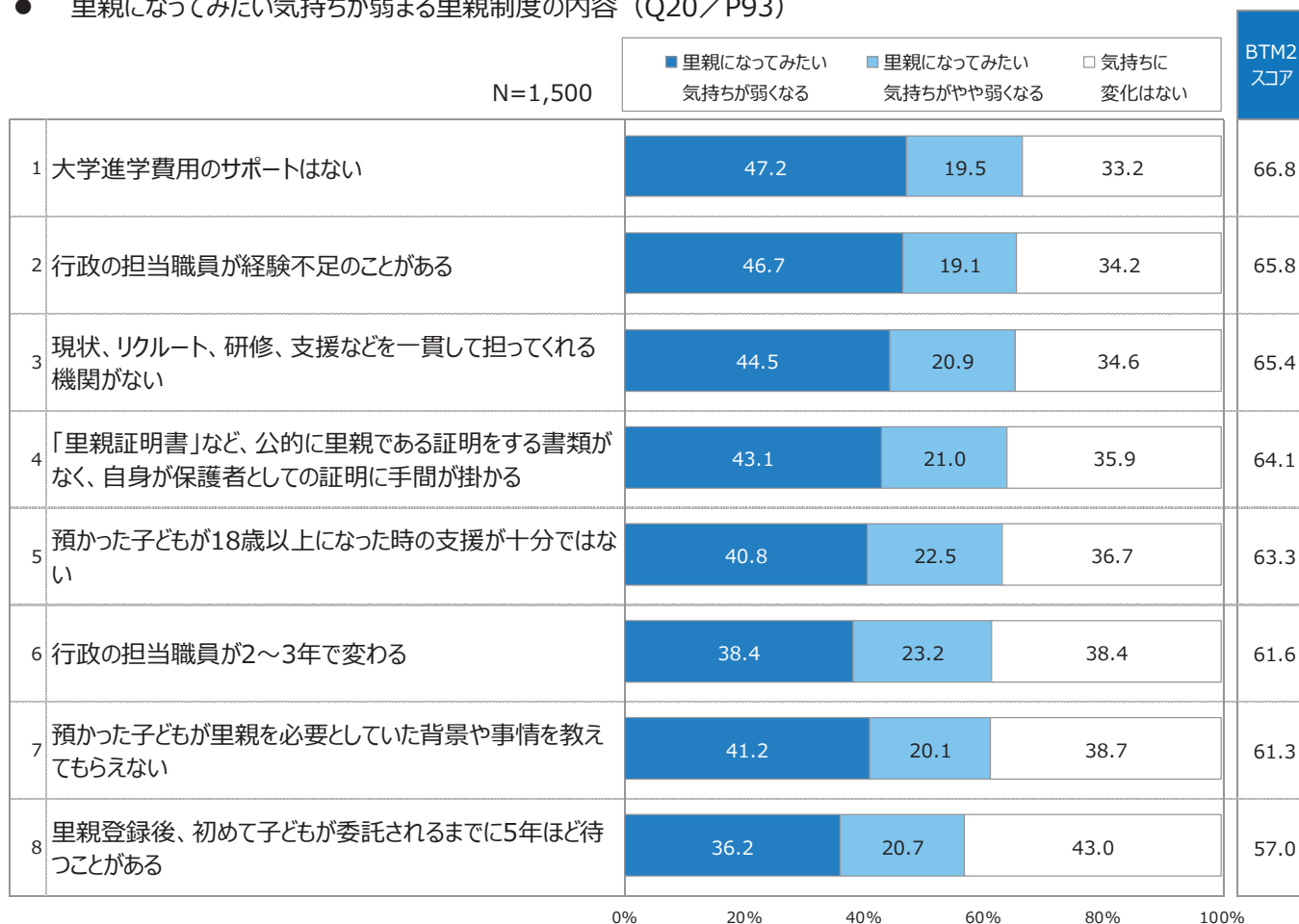
※【A】情報提示後に里親意向を持った人-【B】情報提示前から里親意向がない人 差分】降順ソート

■ 里親意向を弱める要因になること

現在の里親制度において、『費用面のサポート不足』や『行政職員の経験不足』『サポート機関の不足』などは里親意向を弱める要因となる

現状の里親制度において、「里親になってみたい気持ちが弱くなる」と回答した人が多い項目には、「大学進学費用のサポートはない（47.2%）」「行政の担当職員が経験不足のことがある（46.7%）」「現状、リクルート、研修、支援などを一貫して担ってくれる機関がない（44.5%）」などがある。「里親になってみたい気持ちがやや弱くなる」まで含めると、全ての項目で5割～6割以上の人の意向を弱めてしまう危険性があるため、担当職員の教育や他機関との連携、丁寧な説明などが望まれる。

● 里親になってみたい気持ちが弱まる里親制度の内容（Q20/P93）



■ 「情報提示後に里親意向がある人」の特徴

情報提示後に里親意向がある人は、お金や時間に余裕があり、子育てに価値を見出す人

情報提示後に里親意向がある人は、世帯年収・可処分所得・時間が多く、お金・時間に余裕がある人の比率が高い。また、意識面では子育てに価値を見出しており、モノよりも心が豊かな人生、社会に役立つことや活動的に生きることを重視している。

情報提示後に里親意向がある人のうち、情報提示前は意向がなかったが情報提示後に意向を持った人は、情報提示前から意向があった人と比べて、30～40代女性が多く、子あり率も高い。また、世帯年収は比較的低めで、可処分所得・時間も少ない。意識面では、情報提示前から意向がある人ほど、モノよりも心が豊かな人生、社会に役立つことや活動的に生きることを重視しているわけではない。里親のイメージも、もともとそれほど肯定的ではない。しかし、提示された情報に触れて「里親になりたい」という気持ちを強めた。

- 情報提示後に里親意向がある人の特徴（Q番号は表側に記載／4章）

	本調査 回答者全体 (N=1,500)	情報提示後に里親 意向がある人 (N=649)	情報提示後に里親意向がある人 内訳	
			情報提示前から 里親意向がある人 (N=591)	情報提示後に 里親意向を持った人 (N=58)
※ () で単位がついていない項目は全て%				
※全体と比べて5pt以上スコアが 高いものは赤字 / 低いものは青字				
日本全体ボリューム<推計>	—	12.1	5.3	6.8
女性比率	50.2	51.5	50.9	56.9
平均年齢 (才)	49.80	49.03	49.25	46.78
性×年代<上位3位>	— 均等回収	女性30代 (14.0)	女性40代 (13.4)	女性30代 (22.4)
		女性40代 (13.7)	女性30代 (13.2)	男性40代、 女性40代 (17.2)
		男性40代 (12.9)	男性40代、女性50代 (12.5)	女性60代 (13.8)
既婚率	81.2	82.4	81.7	89.7
子あり率	72.3	70.6	69.5	81.0
Q23.末子の学齢<最も比率が高い学齢>	社会人 (26.6)	社会人 (24.3)	社会人 (25.8)	乳児、高校生(20.0)
Q26.エリアイメージ<地方都市>	27.2	22.0	22.7	15.5
世帯年収 (万円)	639	704	707	671
Q28.可処分所得 (円)	25,573	39,733	40,775	29,121
SQ2.職業、宗教等 ※特徴的な 項目のみ掲載	保育士・幼稚園教諭	1.3	3.9	3.6
	宗教を信仰	5.2	8.2	7.8
	相手が肉体労働を伴う職業	4.4	7.9	7.4
Q27.可処分時間 (時間) <平日/休日>	4.0/6.5	4.7/7.7	4.8/7.9	3.4/6.1
Q30.価値観 ※特徴的な 項目のみ掲載	子育てをすることで人間的に成長できる	68.3	88.0	88.2
	モノではなく、ところが豊かな人生を送りたい	62.4	83.8	84.9
	子どもを育てることは生きがい・喜び・希望である	59.1	82.4	82.9
	社会や地域に役立つ人生を送りたい	35.8	72.6	73.6
	活動的・行動的に人生を送りたい	43.3	66.1	67.2
SQ5.「里親」と 聞いたときのイメージ ※特徴的な 項目のみ掲載	あたたかい	23.0	48.8	50.1
	立派な行為	27.4	46.8	47.5
	社会貢献できそう	19.8	45.8	46.9
	優しい	22.5	42.1	43.3
	人間的に成長できそう	10.5	38.2	39.9
	やりがいがありそう	8.1	32.4	33.8
	楽しそう	1.2	7.7	8.1

■ 「情報提示後に里親意向がある人」の意向理由

情報提示後に里親意向がある人の意向理由をみると、『困っている子どもがいる』『（特に経済面の）サポートがある』などを知ることが意向を強めている

情報提示後に里親意向がある人のうち、情報提示前から里親意向がある人は、経済面のサポートや短期でも里親になれるなど、里親になりやすい制度や、里親を支える制度が想像以上に整備されていることで、興味が増したという回答がみられた。

情報提示後に里親意向を持った人は、「里親を必要としている子どもが多くいる」ことや「経済面をはじめとしたサポート」を知ったことが、意向を持つきっかけとなったという回答がみられた。

- 情報提示後の里親意向理由（Q18:自由回答/P92）

情報提示前から 里親意向が ある人

（日本全体ボリューム：
5.3%）

サポート面を知って興味が増したから

- 第二子不妊なため、里親で金銭面でサポートしてもらえるなら興味がある（33才、女性）
- 最初は養子にいれなければならないと思っていましたが、短期でもやれるのであれば少し気軽になる（46才、男性）
- 制度が思ったよりもしっかりしているので、現状難しいが将来的に受け入れたいと思ったから（35才、女性）

里親になれそうだと改めて感じたから

- 可能だし、役に立てるなら（52才、女性）

情報提示後に 里親意向を 持った人

（日本全体ボリューム：
6.8%）

「里親を必要としている子どもが多くいる」ことを知ったから

- 日本が里親制度で遅れている点、困ってるこどもたちがいること（32才、女性）

「経済的補助がでる」ことを知ったから

- 経済的負担が援助により軽減されるから（38才、女性）
- 経済的な負担なく社会貢献できそうなため（40才、男性）

「自分でもできそう」だと感じられたから

- 思ったほどハードルは高く無いかもしれないから（60才、男性）

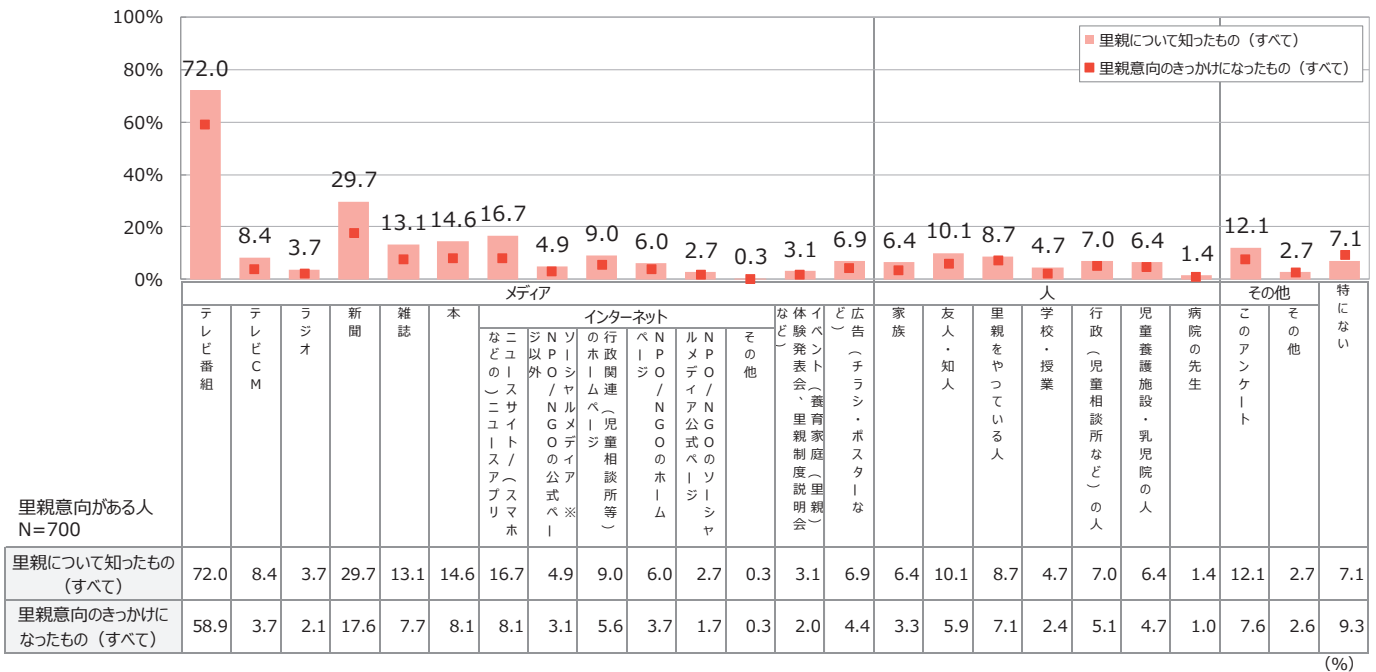
■ 里親に関する現状の情報源

テレビ番組は、里親制度の認知や里親意向を持つきっかけを作る情報源となっている

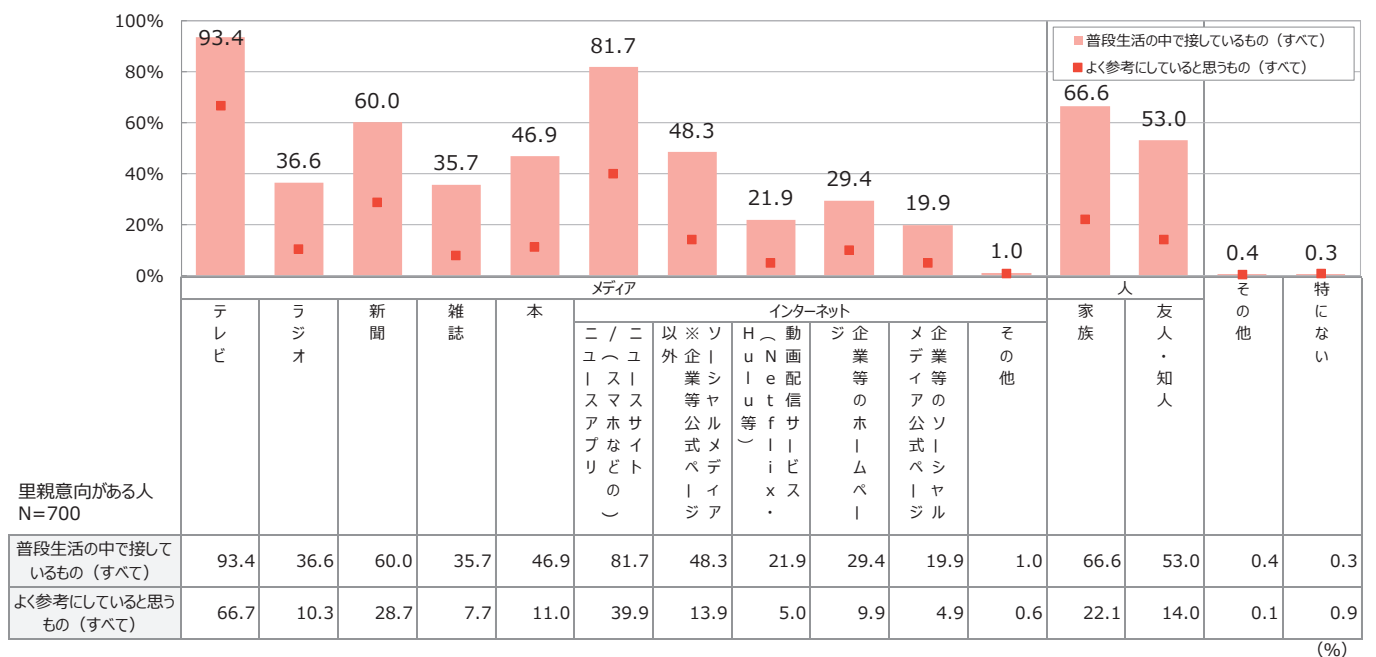
現状、里親意向がある人のうち、72.0%が「テレビ番組」で里親を知ったと回答し、里親意向を持つきっかけになった情報源としても58.9%の人が回答しているため、重要な情報源であるといえる。次いで「新聞」などが認知には効果的だと考えられる。

普段接している情報源や、参考にしてしている情報源をみると「ニュースサイト／（スマホなどの）ニュースアプリ」はテレビに続いてスコアが高いため、媒体としては可能性を持っている。

● 里親を知った情報源・里親意向を持つきっかけとなった情報源（Q4／P97）



● 【参考】普段生活の中で接している情報源・よく参考にしてしている情報源（Q29／P99）



■ <総括> 里親を増やすために伝えるべきことは？

里親意向を高めるために伝えるべき5つのこと

調査の結果、里親に対する意向を高めるために、以下の5つの事柄を伝える必要がある。

- 1 日本における里親不足の現状
- 2 家庭環境で子どもが育つことの重要性
- 3 実際の子どもの背景・プロフィール・体験談
- 4 サポート制度（経済的サポート、短期間でもOKなど）
- 5 里親になれる条件（婚姻状況は不問など）

実際に里親を始めるために伝えるべき2つのこと

また、実際に里親になるアクションをとってもらうためには、さらに以下2つを伝える必要がある。

- 6 具体的な里親のなり方・留意事項
- 7 気軽に相談できる場所・相手がいること

■ <総括> 誰に、どのように伝えるのか？

次の2種類の「情報提示後に里親意向を持つ人」に伝える。

情報提示前から里親意向がある人	
こんな人	性別・年代は幅広い。お金・時間に余裕がある。意識面では子育てに価値を見出しており、モノよりも心が豊かな人生、社会に役立つことや活動的に生きることを重視している。
こんなメディアで	テレビ、本、雑誌、その他のメディアで（普段の情報接点は幅広い）
情報提示後に里親意向を持った人	
こんな人	30～40代女性が多く、子ありも多い。世帯年収・可処分所得・時間も少なめ。上記の情報提示前から里親意向がある人ほど、社会的に意義ある行動を重視しているわけではない。しかしながら、リアルな現実を知り、自分事化できると心が動く。
こんなメディアで	テレビ、ニュースサイト、スマホなどのニュースアプリで

＜コラム2＞ 調査結果から今後の里親リクルート、里親養育支援への示唆

長野大学社会福祉学部 上鹿渡和宏

欧米諸国に比べて圧倒的に里親委託率の低い日本は、それらの国とは文化も宗教も異なるので里親を増やすことは難しいという声がかつてきた。しかし、里親委託率30%を目指した取り組みが各地で始まり、現状としてはすでにその目標に到達し、さらに40～50%を超える自治体もある。今回の調査により里親委託率向上はわが国においても可能であり、今後どのような方法で里親リクルート等を進めるべきか多くのことが明瞭に示された。

2016年児童福祉法改正後、家庭養育優先原則に基づいた様々な施策が国から打ち出されているが、長野県にある「うえだみなみ乳児院」は新しい社会的養育の中で子どもの最善の利益を保障する新たな役割を担うべく施設の多機能化・機能転換を図っている（詳細はホームページnyujiin.keiroen.or.jpを参照）。新たな役割の一つがフォスティング（里親養育包括支援）機関としての取り組みである。NPO法人キアセットのコンサルティングを受けながら保育士を里親リクルーターとして、乳幼児を対象とする短期の養育里親を募集し始めた。最初にリクルートに必須のチラシ・ポスター作りが、キアセットのリクルート担当者の助言を受け、県とも協議しながら進められた。作成されたチラシには今回の調査結果の〈総括〉で示された「里親を増やすために伝えるべき5つのこと」がほぼ含まれている。A4カラー刷りのチラシの表面は赤ちゃんの写真が紙面の半分を占め、そこに『「施設」から『家庭』の暮らしへ』『0～2歳の赤ちゃんを短期間（数日～数か月程度）ご自宅で預かってくださる方を募集します。』という言葉が示されている。裏面には長野県の現状として「30年4月時点県内で実親から離れて乳児院で暮らす乳幼児の数46人」が大きく示され、この子どもたちを地域・家庭で育てるために『フォスターホーム（うえだみなみ乳児院とチーム養育で協働する養育里親の名称）』として協働してほしいことや、養育サポート体制、経済的サポートについて、またフォスターホームになるための条件やその流れが端的に示されている。

このチラシを市内全戸回覧や全戸配布としたうえ、コンビニやレストラン、スーパー、郵便局等に設置した。チラシの目的はこれまで里親に全く関心を持つことのなかった人たちが、最低限必要

- 配布されたうえだみなみ乳児院のチラシ（左：表面／右：裏面）



(効果的) な情報を得て、里親・フosterホームに関心を持ち事務所に連絡してもらったことであった。チラシだけでなくすべてを理解してもらおうとするのではなく、一目で理解できて関心を持ってもらえるよう工夫がなされた。調査の(総括)で示された「実際に里親を始めるために伝えるべき2つのこと」については、チラシとは別に作成されたパンフレットで示され、またチラシの内容についてもさらに詳細が書かれてある。問い合わせのあった方へパンフレット送付後は、希望があれば訪問または面談で直接の説明も試みることで、里親に少しでも関心を持った人の中からさらに先に進むようとする人を見つけていく。これまでのように、もともと里親に関心を持ち社会貢献の意識の高い人が自ら応募してきてくれるのを待つだけの「里親募集」では潜在的な里親候補者に出会えないことを今回の調査結果は示している。もともと里親について何も知らず関心もなかった人に、子どもの置かれている状況を具体的に伝えニーズを理解してもらい、それに応えるための様々なサポート体制等も示すことで、里親養育に関心を持ち「私にも何かできるかもしれない」という気持ちで、つながってくれる機会を積極的に作り出す「里親リクルート」が必要なことが、この調査結果で示されている。情報提示後に里親意向を持った人として、30～40代女性、実子もいる人が多かったという結果は、「うえだみなみ乳児院」の里親リクルートでの反応と一致している。これまで里親候補者となる人が少なかった人たちが

● リクルート活動の様子



つながり始めている。

このようなリクルートでつながった里親候補者についてはこれまでとは違うアセスメント、登録前研修を経て登録される必要がある。また、チラシに書かれた委託の形（0～2歳赤ちゃんの短期間委託等）、養育のサポートやスーパービジョンがしっかりと実施できるようフォスティング機関として取り組むことや、児童相談所もフォスティング機関のチームの一員として、これまでとは違う里親への対応が必要になる。今回の調査の際に示された「現状の里親制度詳細」のなかでも、〈子どもを預かる時のサポートについて〉や〈里親になっている間のサポートについて〉の項目は、現状では実施不十分な地域もあると考えられる。このようなサポートがなければ里親になろうと思う人は出てこない。これから各地で立ち上げられるフォスティング機関はこれを補う役割を担うものである。リクルートの際に示されるこれらの

サポートをしっかりと実施できるよう機関自体の体制を整え、県や児童相談所、市町村との連携体制を新たに構築していく必要がある。

今回の調査結果は、わが国における本格的な家庭養育移行を前に、現状を把握し目指すべき地点へ到達するための戦略を練るにあたって、貴重な情報を提供してくれている。これまでの方法や経験のみに基づいて新たな計画を策定するのではなく、今回提供された情報を十分取り入れて、各都道府県の実情に合わせた家庭養育推進計画が検討され、フォスターホームの設置が進み、子どもの最善の利益保障に向けた取り組みが展開されることを期待する。

- リクルート活動の様子（2018.2.19／上田郵便局内 フォスターホーム）



- リクルート活動の様子（2018.10.7／青木村 道の駅あおき 農産物直売所前 フォスターホーム）



本編

1章 里親市場の現状把握 (認知・経験・意向)

■SQ3.「里親」の認知

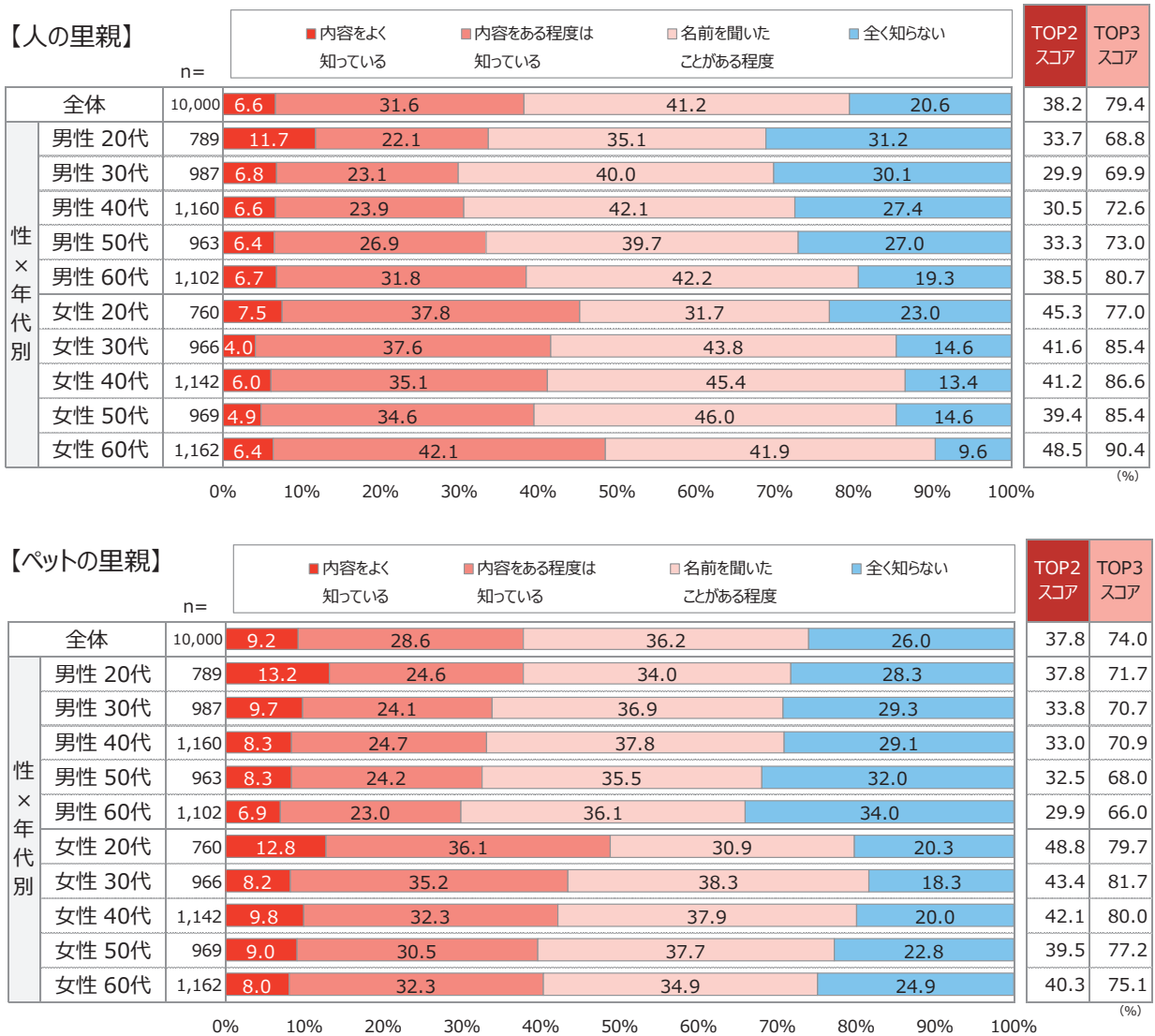
事前調査 全体

事前調査全体（N=10,000）の【人の里親】を認知している度合をみると、「名前を聞いたことがある程度」が最も高く41.2%、次いで「内容のある程度は知っている」が31.6%、「全く知らない」が20.6%だった。「内容をよく知っている」は6.6%と最も低い。

TOP2スコア（「内容をよく知っている」+「内容のある程度は知っている」）を性年代別で比較すると、各年代で男性よりも女性のほうが高い。またTOP3スコア（「内容をよく知っている」+「内容のある程度は知っている」+「名前を聞いたことがある程度」）は、男女いずれも60代が高い傾向がみられる。

事前調査全体（N=10,000）の【ペットの里親】を認知している度合をみると、TOP2スコアは37.8%、TOP3スコアは74.0%であり、【人の里親】の認知度合とほぼ同程度である。

SQ3.あなたは次の里親について、どの程度知っていますか。あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。（単一回答_表形式）



※TOP2・・・「内容をよく知っている」+「内容のある程度は知っている」

※TOP3・・・「内容をよく知っている」+「内容のある程度は知っている」+「名前を聞いたことがある程度」

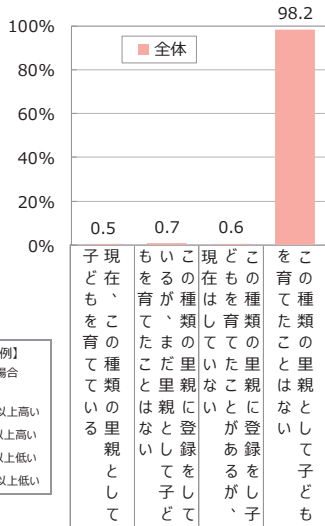
■SQ6.「里親」の経験

事前調査 全体

事前調査全体（N=10,000）の【養育里親（専門里親を含む）】【養子縁組里親】【親族里親】の経験者比率をみると、いずれも「この種類の里親として子どもを育てたことはない」が98.2%と最も高い。里親経験者である「現在、この種類の里親として子どもを育てている」や、里親登録者である「この種類の里親に登録しているが、まだ里親として子どもを育てたことはない」、里親過去経験者である「この種類の里親に登録した子どもを育てたことがあるが、現在はしていない」はいずれも0.4%～0.7%と、1%に満たない。

SQ6.あなたは、これらの里親制度を通して子どもを育てた経験がありますか。あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。（単一回答_表形式）

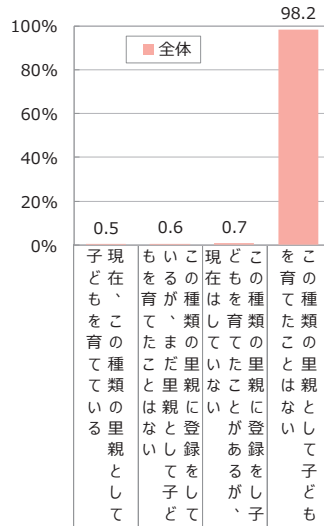
【養育里親（専門里親を含む）】



【数表の凡例】
※n≧30の場合
全体よりも
...10pt以上高い
...5pt以上高い
...5pt以上低い
...10pt以上低い

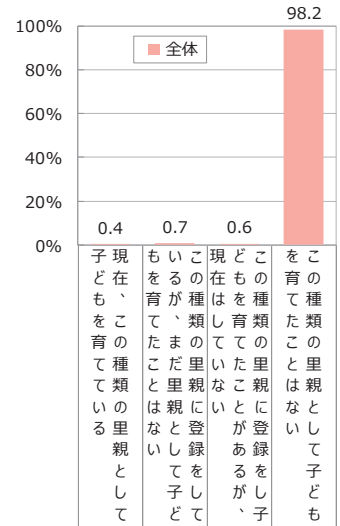
		n=				
		10,000	0.5	0.7	0.6	98.2
性 × 年 代 別	全体	10,000	0.5	0.7	0.6	98.2
	男性 20代	789	2.5	2.7	1.6	93.2
	男性 30代	987	0.9	1.1	1.2	96.8
	男性 40代	1,160	0.5	1.1	0.6	97.8
	男性 50代	963	0.2	0.6	1.0	98.1
	男性 60代	1,102	0.4	0.3	0.5	98.9
	女性 20代	760	0.5	1.1	0.4	98.0
	女性 30代	966	0.2	0.4	0.3	99.1
	女性 40代	1,142	-	0.3	0.1	99.6
	女性 50代	969	0.1	0.1	0.1	99.7
	女性 60代	1,162	-	-	0.4	99.6

【養子縁組里親】



		n=				
		10,000	0.5	0.6	0.7	98.2
性 × 年 代 別	全体	10,000	0.5	0.6	0.7	98.2
	男性 20代	789	2.4	2.4	2.0	93.2
	男性 30代	987	0.8	1.0	1.6	96.6
	男性 40代	1,160	0.5	0.8	1.1	97.6
	男性 50代	963	0.3	0.5	1.2	97.9
	男性 60代	1,102	0.3	0.3	0.4	99.1
	女性 20代	760	0.5	0.4	1.1	98.0
	女性 30代	966	0.2	0.5	0.1	99.2
	女性 40代	1,142	0.1	0.3	-	99.6
	女性 50代	969	0.2	0.1	0.1	99.7
	女性 60代	1,162	-	0.1	0.3	99.7

【親族里親】



		n=				
		10,000	0.4	0.7	0.6	98.2
性 × 年 代 別	全体	10,000	0.4	0.7	0.6	98.2
	男性 20代	789	2.3	2.7	1.8	93.3
	男性 30代	987	0.6	1.3	1.2	96.9
	男性 40代	1,160	0.6	0.8	0.7	97.9
	男性 50代	963	-	1.1	0.6	98.2
	男性 60代	1,102	0.5	0.3	0.5	98.7
	女性 20代	760	0.5	0.5	1.2	97.8
	女性 30代	966	0.2	0.5	0.2	99.1
	女性 40代	1,142	-	0.2	-	99.8
	女性 50代	969	-	0.2	0.1	99.7
	女性 60代	1,162	0.1	-	0.5	99.4

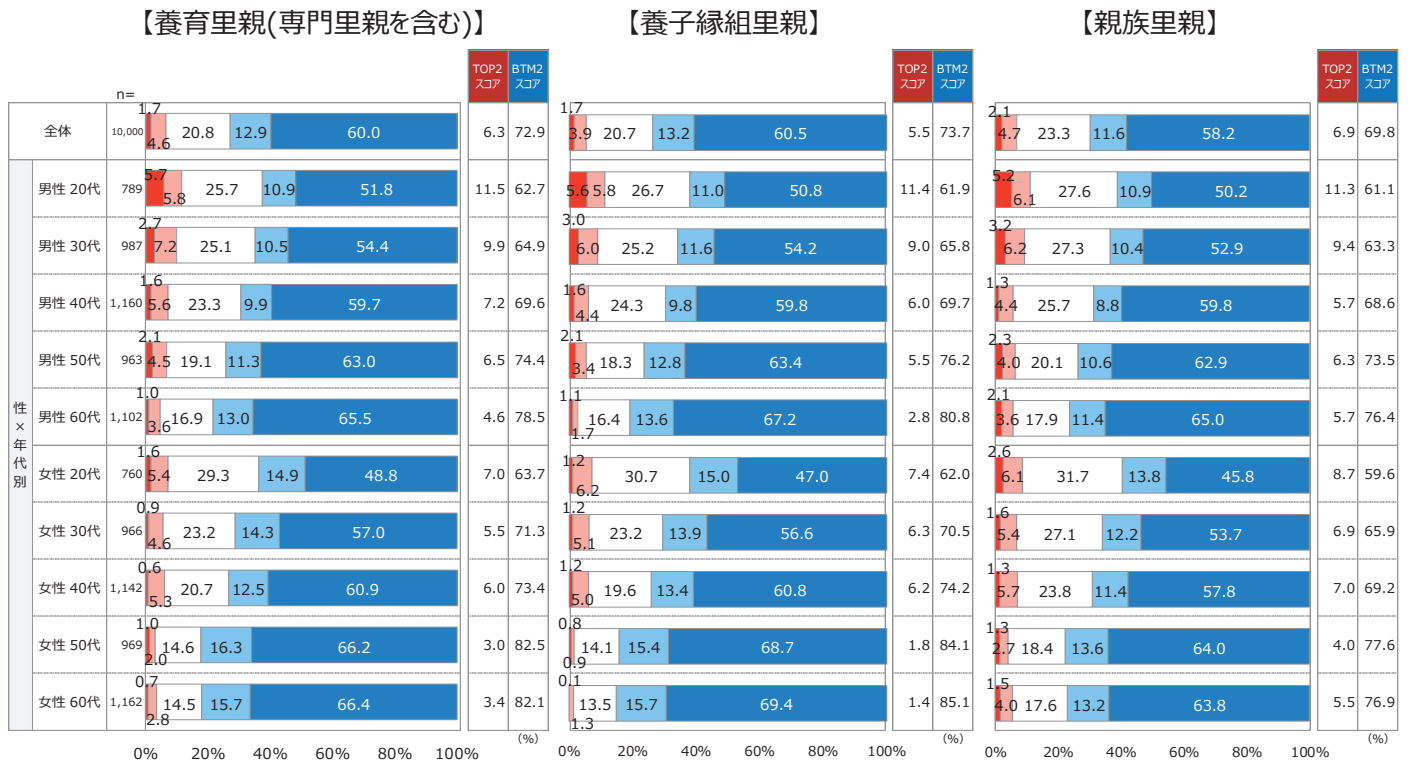
■SQ7.里親意向

事前調査 全体

事前調査全体 (N=10,000) のうち、【養育里親 (専門里親を含む)】において「里親になってみたい」+「どちらかという
と、里親になってみたい」と回答した人は6.3%である。【養子縁組里親】では5.5%、【親族里親】では6.9%である。
一方、「里親になってみたいと思わない」+「どちらかという、里親になってみたいとは思わない」と回答した人 (BOTTOM2ス
コア) は、【養育里親 (専門里親を含む)】では72.9%、【養子縁組里親】では73.7%、【親族里親】では69.8%である。ま
た、性年代別で比較すると、どの里親の種類においても、男女いずれも高年層でBOTTOM2スコアは高くなる傾向がみられる。

SQ7.あなたは、里親になってみたいと思いますか。里親になったことがある方は、今後もなりたいと思うかお答えください。
里親の種類ごとに、あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。(単一回答_表形式)

■ 里親になってみたい ■ どちらかという、里親になってみたい □ どちらとも いえない ■ どちらかという、里親に になってみたいとは思わない ■ 里親になってみたい とは思わない



※TOP2・・・「里親になってみたい」+「どちらかという、里親になってみたい」

※BOTTOM2・・・「里親になってみたいとは思わない」+「どちらかという、里親になってみたいとは思わない」

■ Q3.里親意向がある人の里親になってみたいタイミング

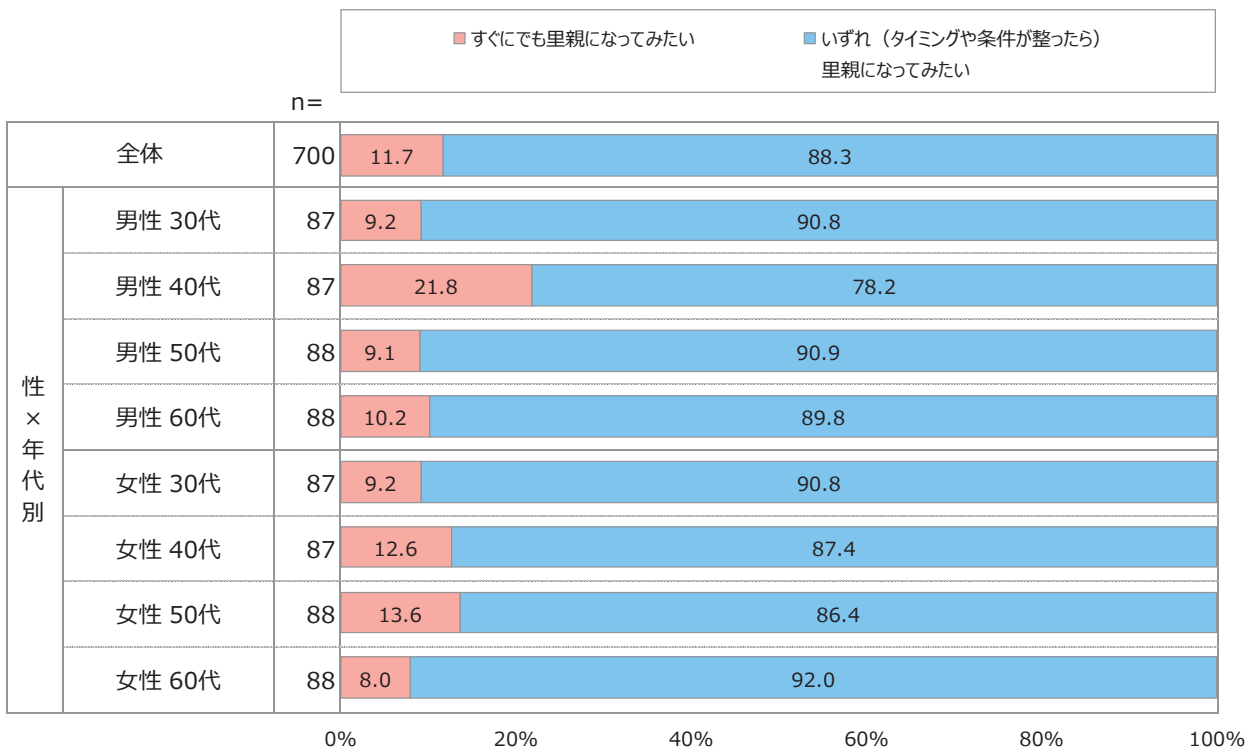
本調査
里親意向がある人 全体

里親意向のある人（N=700）のうち、88.3%の人が「いずれ（タイミングや条件が揃ったら）里親になってみたい」と回答した。

「すぐにでも里親になってみたい」と回答した人は11.7%である。性年代別でみると『男性40代』が21.8%と特に高く、次いで『女性50代』の13.6%、『女性40代』の12.6%が高い。

Q3.事前アンケートで「里親になってみたい」とお答えになった方にお聞きます。

あなたは、どのタイミングで里親になってみたいと思いますか。あてはまるものを一つお選びください。(単一回答)



2章 里親のイメージ

■SQ4.「里親」に対するイメージ

事前調査 全体

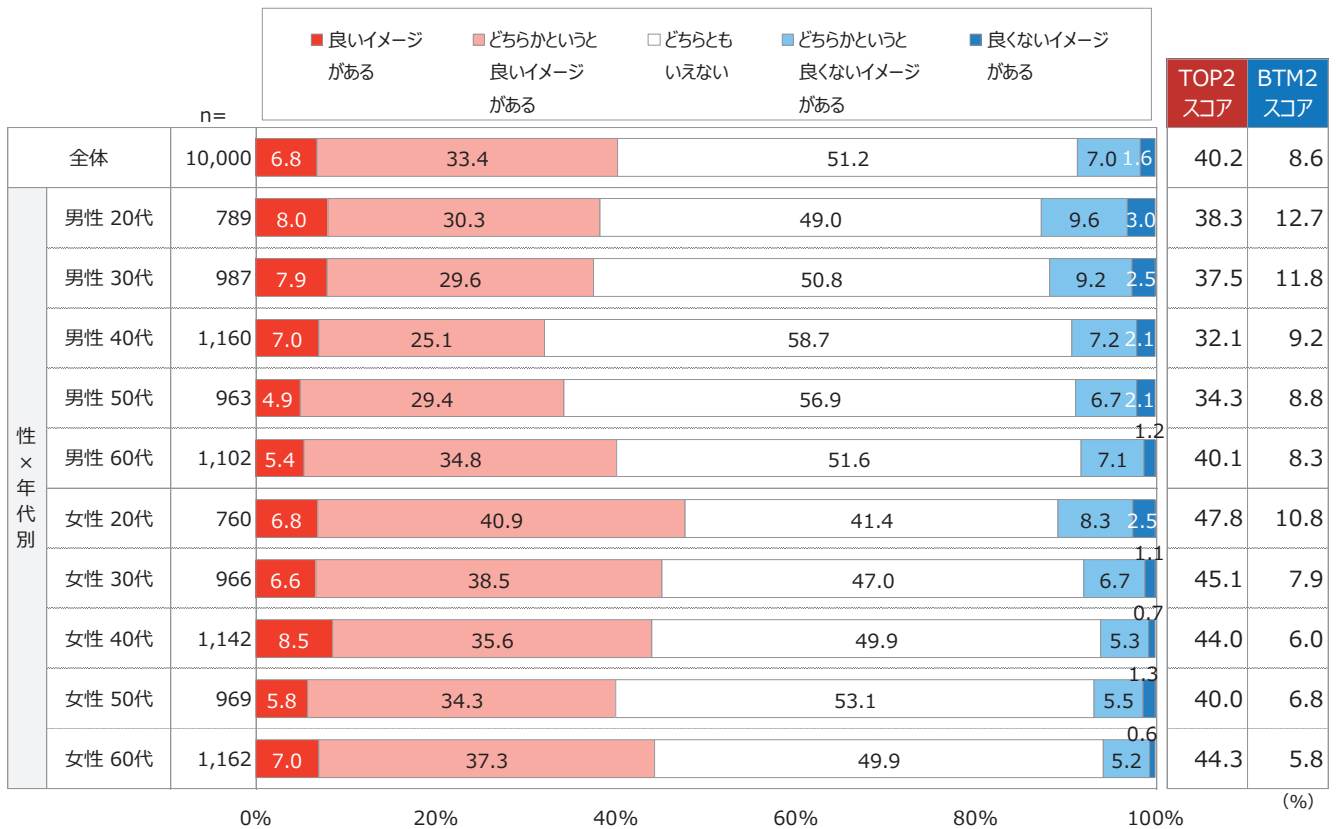
事前調査全体（N=10,000）でみると、51.2%の人が「里親」に対するイメージとして「どちらともいえない」と回答しており、「良いイメージがある」が6.8%、「どちらかというの良いイメージがある」が33.4%である。ポジティブなイメージの比率は40.2%でネガティブなイメージは8.6%という状況である。

性×年代でみると、男性よりも女性の方がポジティブなイメージを持っている人が多く、特に『女性 20代』で47.8%に達する一方、『男性 40代』でポジティブなイメージを持っている人が最も少なく、32.1%である。

SQ4.あなたは「里親」という言葉を聞いた時に、人の里親についてどのようなイメージを持ちますか。
最も近いものを一つお選びください。(単一回答)

※TOP2・・・「良いイメージがある」+「どちらかというの良いイメージがある」

※BOTTOM2・・・「良くないイメージがある」+「どちらかという良くないイメージがある」



■SQ5.「里親」という言葉に対するイメージ詳細

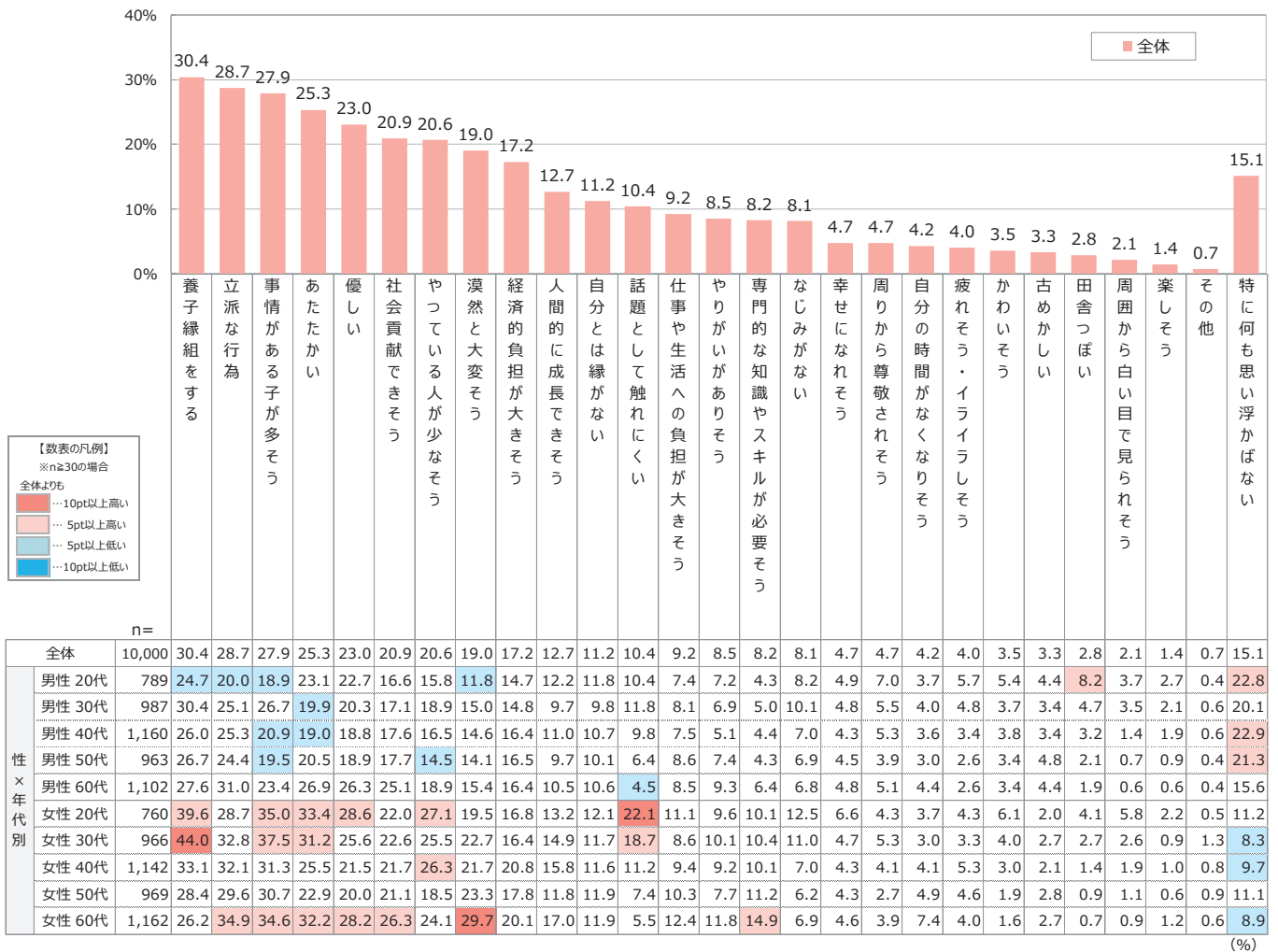
事前調査 全体

事前調査全体（N=10,000）でみると、「養子縁組をする」が30.4%でトップ、次いで「立派な行為」が28.7%、「事情がある子が多そう」が27.9%、「あたたかい」が25.3%、「優しい」が23.0%で続く。

全体で上位の「養子縁組をする」「事情がある子が多そう」「あたたかい」は『女性 20代』『女性 30代』で高い。特に「養子縁組をする」は『女性 30代』で44.0%と、最も高い。また『女性 60代』で「漠然と大変そう」が29.7%と、他年代と比べてスコアが高い。『男性』は『女性』と比べて、「特に何も思い浮かばない」と回答している人が多めである。

SQ5.あなたは「里親」という言葉を聞いた時に、どのようなことを思い浮かべますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

※全体の降順ソート



■Q1.「里親をする人」のイメージ

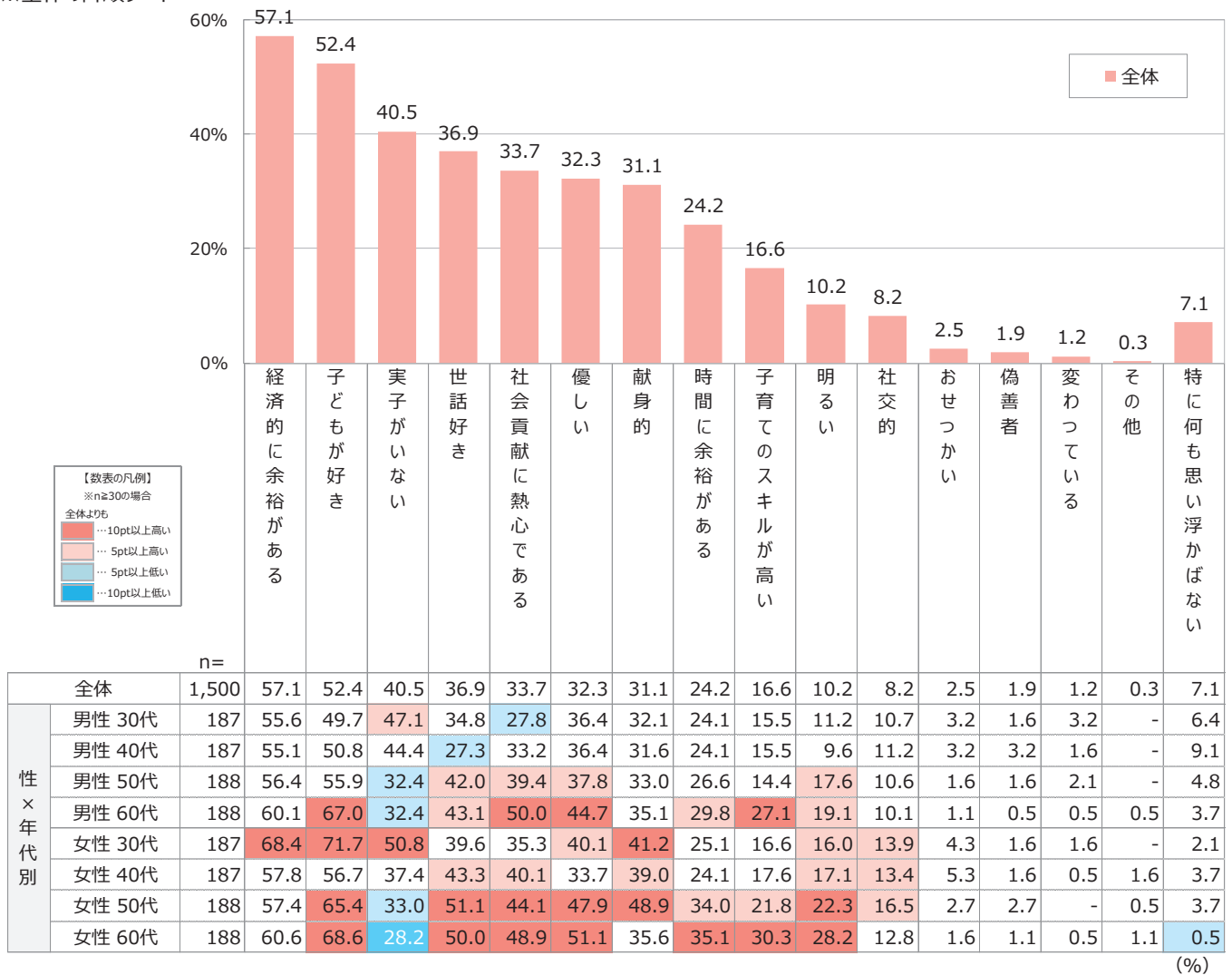
事前調査 全体

本調査全体（N=1,500）でみると、「経済的に余裕がある」が57.1%、「子どもが好き」が52.4%で特に高く、次いで「実子がない」が40.5%、「世話好き」が36.9%、「社会貢献に熱心である」が33.7%で続く。

性×年代別でみると、項目全般に男性よりも女性で高く、『女性 50代』『女性 60代』で顕著に高い項目が多い。上位の「経済的に余裕がある」「子どもが好き」のほか「実子がない」は『女性 30代』で特徴的に高い。

Q1.「里親をする人」はどのような人だと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答_表形式)

※全体の降順ソート



■ Q2.「里親に委託される子ども」のイメージ

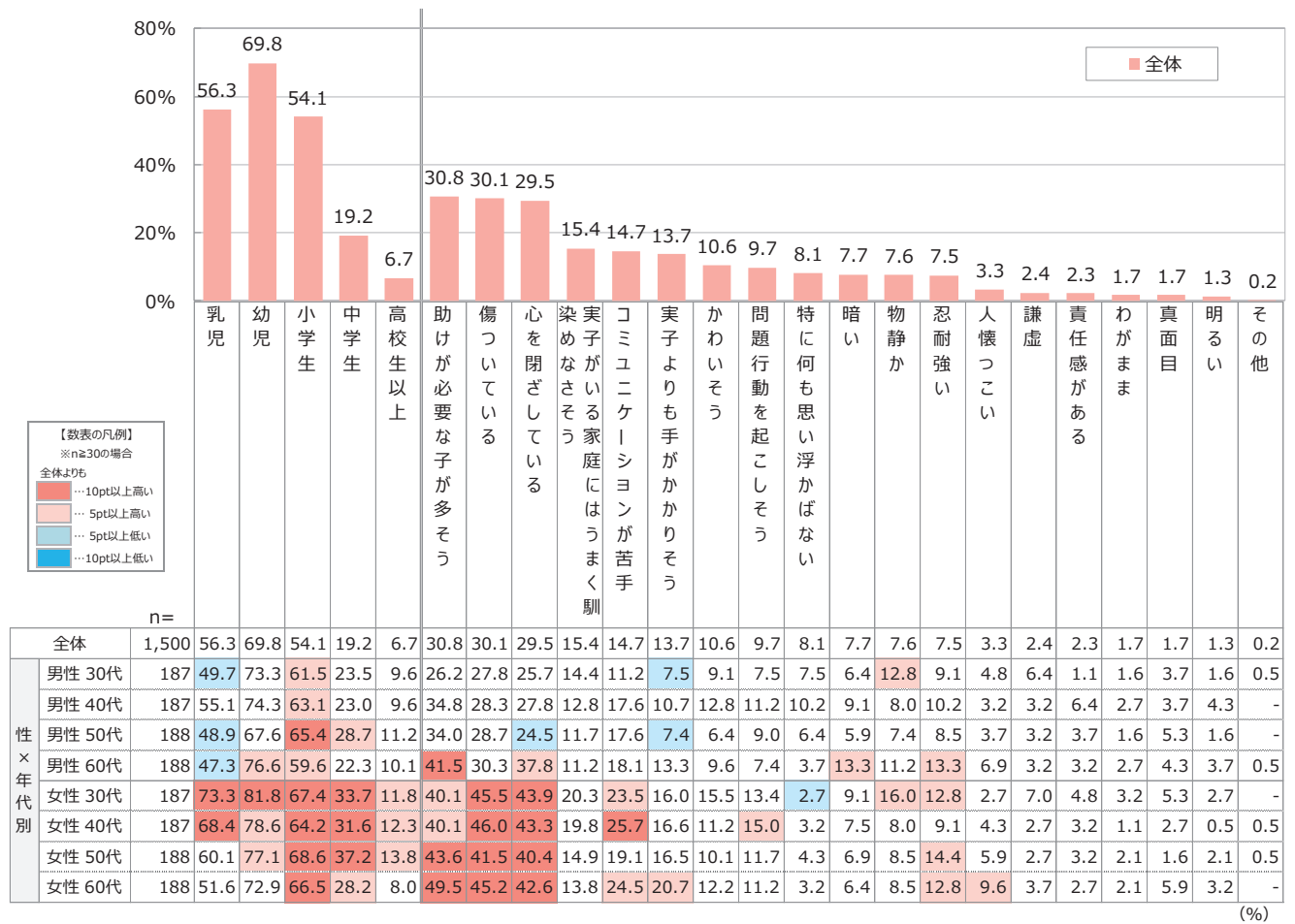
事前調査 全体

事前調査全体（N=1,500）でみると、「幼児」が69.8%、「乳児」が56.3%、「小学生」が54.1%などの『学齢イメージ』が特に高いほか、「助けが必要な子が多そう」が30.8%、「傷ついている」が30.1%、「心を閉ざしている」29.5%が続く。

概ね男性よりも女性の方がスコアが高い。「小学生」のほか、「助けが必要な子が多そう」「傷ついている」「心を閉ざしている」は、女性の各年代でスコアが平均して高めている。

Q2.「里親に委託される子ども」のイメージとして、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答_表形式)

※学齢を除き、全体の降順ソート



＜コラム3＞ 里親意向調査に期待するもの

千葉県里親家庭支援センター 木ノ内博道

社会的養護を施設から家庭に、という流れが始まった。と言っても、まだ方針が示されたばかりで、ほんとうにそんなに里親を増やすことができるのか、と言った声も聞かれる。実は、外部の声だけでなく、里親家庭を増やしていこうとしている人たちの間にもそうした気持ちはめぐえない。

どうしたら里親を増やすことができるのか、里親を希望する人たちはどんな意識を持っているのかなど、里親開拓に関する実証研究はこれまでほとんどなされてこなかったから、それも当然と言える。そういう意味で、今回の日本財団の里親意向調査は、その着眼として画期的であったと言える。

里親開拓以前に、親元を離れて生活せざるを得ない子どもたちを家庭に迎え入れて共に暮らす里親制度があること、制度を必要としている子どもたちがいることを社会全体が知ることだろう。これまで、社会的養護は児童養護施設や乳児院など施設養護が中心だった。施設の多くは郊外にあって、それは保護を必要とする子どもたちを社会から切り離し遠ざける機能をもっていた。そのせいもあって、市民がこの問題を共有できなかったように思う。改めて、あるべき社会的養護の姿を社会全体が共有し、里親の必要性を感じていただきたい。

調査結果をみて、最初の驚きは、若者の間に社会貢献への熱い思いがあるということが分かった点だ。日本社会は自然災害などを経て、困っている人の役に立ちたいという思いが強くなってきている。こうした人たちがすぐ里親になってくれるかと言えば、少しハードルは高くなる。たぶん、里親になってほしいというだけでなく、里親を支える、もっと言えば制度を利用せざるを得ない子どもたちへの支援の広がりを市民に期待したい、ということだろうか。

日本の社会的養護の特徴として、当事者である子どもたちの声を聴こうとしないこと、支援の広がりが希薄なこと、があげられる。里親になる、ならないではなく、社会に広く厚い支援の活動が作られることが重要だ。この調査が、そうした動きの一助になればいい。

この調査が、社会的養護に関わる行政の皆さん、新たにスタートするフォスティング機関の皆さんの手引きとなることを期待したい。

3章 里親意向のトリガー (意向理由・条件)

■ Q7.意向理由

本調査 里親意向がある人 全体

本調査里親意向者（N=700）の“あてはまるものすべて”でみると、「家庭を必要とする子どもを助けたいから」が70.7%で圧倒的に高い。そのほか「子どもが好きだから」が47.6%、「社会貢献をしたいから」が38.7%、「実子の子育てが終わったから」が29.0%で続く。

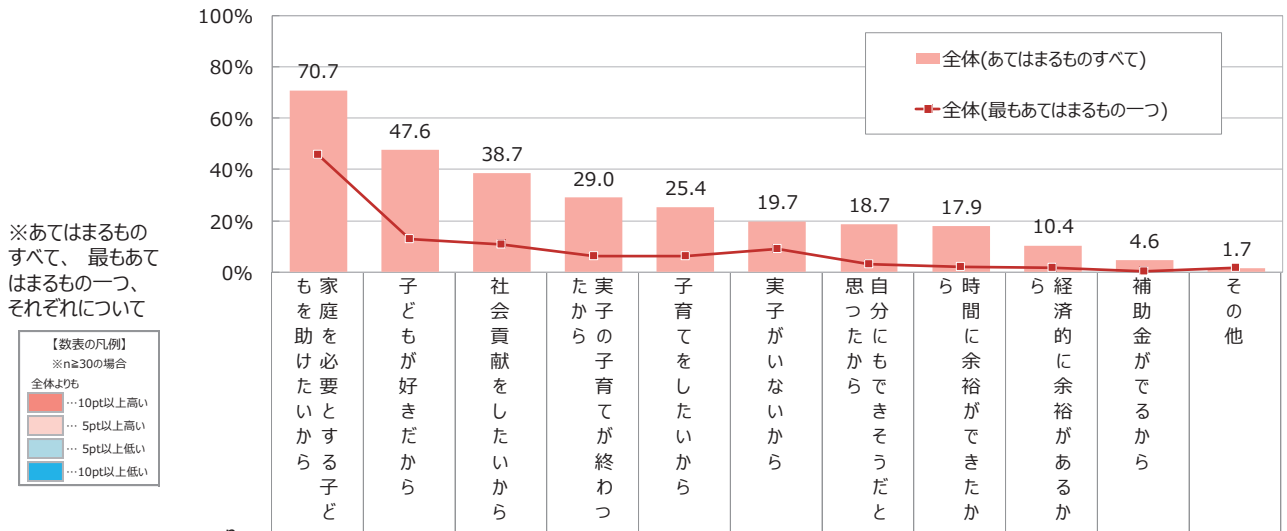
“あてはまるものすべて”を性×年代別でみると、『男女 60代』で「実子の子育てが終わった」のほか「自分にもできそうだったから」「時間的に余裕ができたから」が高めである。一方、『女性 30・40代』で「子育てをしたいから」「実子がないから」が高めである点が注目される。

Q7.事前アンケートで「里親になってみたい」とお答えになった方にお聞きます。

里親になってみたい理由として、あてはまるものをすべてお選びください。また最もあてはまるものを一つお選びください。
(複数回答/単一回答_表形式)

※里親意向ありベース

※「あてはまるものすべて」全体の降順ソート



※あてはまるものすべて、最もあてはまるもの一つ、それぞれについて



		n=700											
里親意向あり	あてはまるものすべて	全体	70.7	47.6	38.7	29.0	25.4	19.7	18.7	17.9	10.4	4.6	1.7
		性×年代別	700	70.7	47.6	38.7	29.0	25.4	19.7	18.7	17.9	10.4	4.6
あてはまるものすべて	男性 30代	87	49.4	52.9	41.4	5.7	24.1	24.1	16.1	6.9	9.2	8.0	1.1
	男性 40代	87	64.4	47.1	40.2	8.0	26.4	26.4	23.0	6.9	9.2	6.9	1.1
	男性 50代	88	65.9	47.7	38.6	34.1	28.4	20.5	20.5	14.8	12.5	8.0	2.3
	男性 60代	88	77.3	53.4	52.3	60.2	17.0	6.8	29.5	42.0	21.6	1.1	-
	女性 30代	87	79.3	46.0	32.2	3.4	33.3	26.4	6.9	11.5	2.3	3.4	1.1
	女性 40代	87	77.0	46.0	34.5	16.1	32.2	27.6	11.5	6.9	5.7	5.7	4.6
	女性 50代	88	70.5	42.0	34.1	39.8	27.3	19.3	12.5	23.9	10.2	1.1	1.1
	女性 60代	88	81.8	45.5	36.4	63.6	14.8	6.8	29.5	29.5	12.5	2.3	2.3
最もあてはまるもの一つ	全体	700	45.9	13.0	10.9	6.3	6.1	9.0	3.3	2.0	1.6	0.4	1.6
	男性 30代	87	29.9	17.2	17.2	1.1	12.6	9.2	5.7	1.1	3.4	1.1	1.1
	男性 40代	87	36.8	18.4	13.8	1.1	1.1	16.1	4.6	4.6	1.1	1.1	1.1
	男性 50代	88	40.9	10.2	10.2	11.4	6.8	9.1	3.4	2.3	2.3	1.1	2.3
	男性 60代	88	38.6	17.0	20.5	10.2	3.4	2.3	3.4	3.4	1.1	-	-
	女性 30代	87	56.3	14.9	1.1	-	6.9	13.8	1.1	2.3	2.3	-	1.1
	女性 40代	87	56.3	11.5	4.6	1.1	6.9	12.6	1.1	1.1	-	-	4.6
	女性 50代	88	51.1	9.1	10.2	12.5	5.7	8.0	2.3	-	1.1	-	-
女性 60代	88	56.8	5.7	9.1	12.5	5.7	1.1	4.5	1.1	1.1	-	2.3	

(%)

■ Q6.意向理由（自由記述回答）

本調査 里親意向がある人 全体

本調査里親意向者の里親をやってみたい理由を聴取したところ、「子どもを授かることができない」「同性愛者のため」など子どものいる家庭を築きたいという思いから手を挙げている人がみられた。「かわいそうな子どもたちに心が痛む」「助けてあげたい」といった思いから、里親になってみたいという人も一定数いた。中には、「養子縁組は重大な決断だが、ある程度の期間子どもをサポートするなら可能かも」という意見もみられた。

Q6.あなたは事前アンケートで、養育里親について「SQ7S1回答選択肢 表示」とお答えになりましたが、それはなぜですか。その理由を、できるだけ具体的にお答えください。（自由記述回答）

カテゴリ	里親になってみたいと思う理由
子供のいる家庭を築きたい	不妊が原因で子どもが持てない可能性があるので、里親になって子どもと触れ合いたい。 配偶者が子どもが好きなので。
	同性愛者なので、自分の子供を持てるか分からない。その一方で、助けることができる子供がいれば支援したい。
	子どもが好きなことや、私自身が家庭に恵まれていなかったため同じような境遇の子を少しでも温かい環境で育てあげることが出来たら良いなと思ったため。
子どもが好きだから	第一に子供が好きだから。損得なしに、血縁関係のない子供でも自分の子供と同様に育ててみたいし、その経験を通して自分も成長したいから。
社会貢献の一環として支援したい	自分に初めて孫ができてまわりから愛されている。そんなのをみると親から愛されることなく、育児放棄、虐待に胸が痛みます。無邪気なこの子達を一人でも救ってやりたいと日頃思っている
	子供を2人そだてて今は子供と孫と同居してるが、近くに家を建て出ていく。里親になって社会に貢献したい。
	若い日本人や子供達が起こす事件が毎日のように報道するのを見て若い人々が病んでいると思いついてその解決策です
生活に時間的/精神的な余裕ができたから	子供が大きくなり、空き部屋があることと退職して時間の余裕が出来たこと
	自分の子供には余裕がなくてあげられなかった事が今ならできそうな気がするから
補助などの制度があることで自身も関わると感じた	補助金を頂けるので、その子にかかる金銭的な心配がなく育てられるということを聞いたので。来てもらったのに、経済的なことで悲しいとか不憫な思いをさせたくなかった心配が解消されたので。 子供は2人いるが、分けへだてなく賑やかに育てたい。大変なことももちろんあるだろうが、一緒に楽しく過ごしたい。
	親族関係として養子縁組を結ぶのは、重大な決断なので、軽々しく引き受けることではないが、ある程度の期間子どもをサポートするのは可能かもしれないと思うから

■ Q8.意向があるのに実施していない理由

本調査 里親意向がある人 全体

本調査里親意向者（N=700）の“あてはまるものすべて”でみると、「経済的負担が心配だから」が38.6%、「子どもの人生を左右するので責任が重いから」が33.7%、「預かった子どもが大きくなるまで自分が健康でいられるかわからないから」が26.0%、「里親制度についてよく知らないから」が24.7%、「どこに相談すればいいのかわからない」が24.1%などが上位にあがる。

“あてはまるものすべて”を性×年代別でみると、「経済的負担が心配だから」や「実子の子育てが終わっていないから」は『女性 30・40代』で、「子どもの人生を左右するので責任が重いから」「預かった子どもが大きくなるまで自分が健康でいられるかわからないから」は『男女 60代』で特徴的に高い。

Q8.事前アンケートで「里親になってみたい」が、「里親になった経験がない」とお答えになった方にお聞きます。

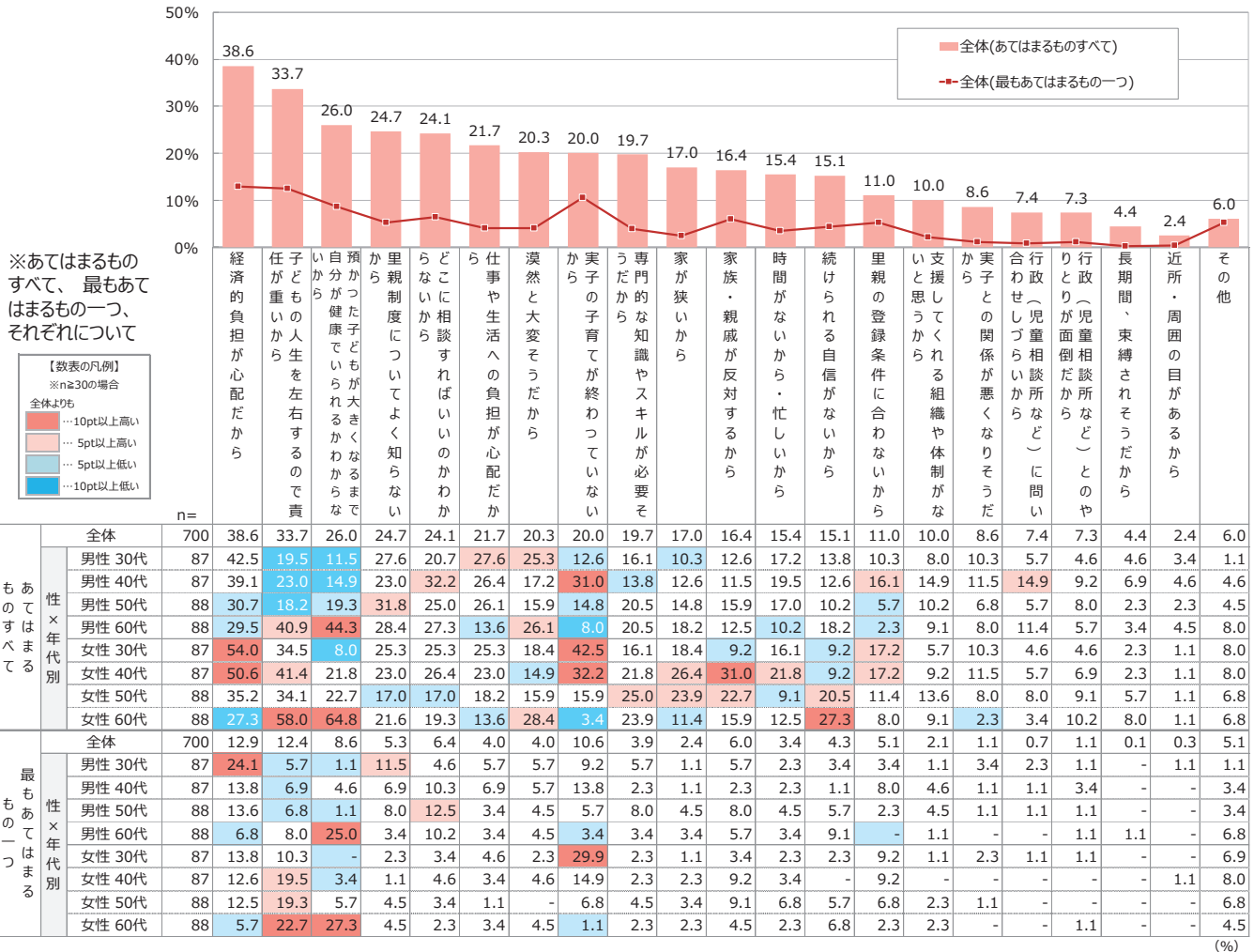
里親になってみたいにもかかわらず、まだ里親になっていないのはなぜですか。

その理由として、あてはまるものをすべてお選びください。また最もあてはまるものを一つお選びください。

(複数回答/単一回答_表形式)

※里親意向ありベース

※「あてはまるものすべて」全体の降順ソート



■ Q19. 養育里親が増えない理由

本調査 全体

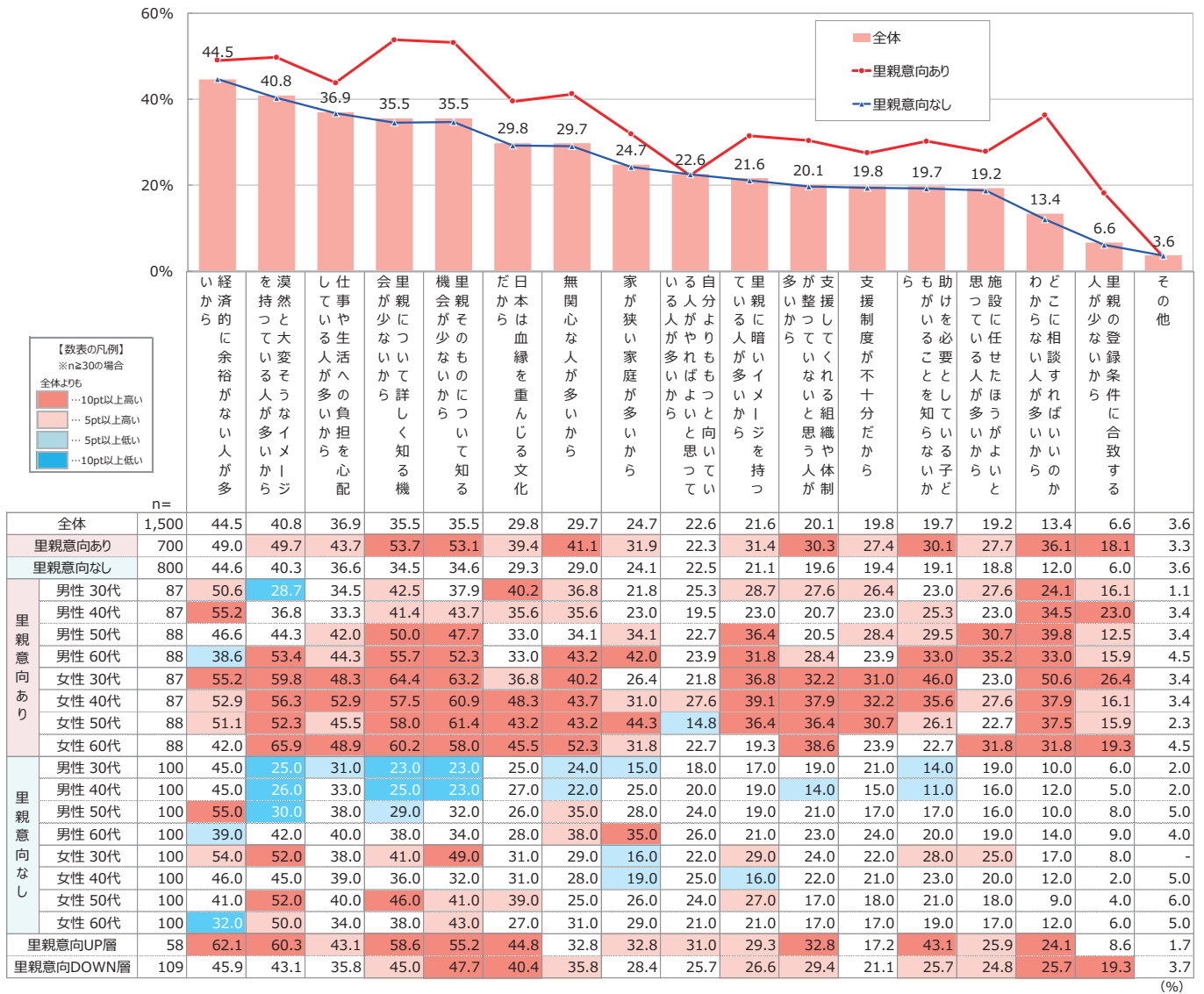
本調査全体 (N=1,500) でみると、「経済的に余裕がない人が多いから」が44.5%と最もスコアが高かった。里親意向の有無別にみると、上位だった「経済的に余裕がない人が多いから」は『里親意向あり』が49.0%、『里親意向なし』が44.6%だった。

項目全般に『里親意向層』が『里親非意向層』を大きく上回る。特に大きな差がみられる項目は「里親について詳しく知る機会が少ない」「里親そのものについて知る機会が少ない」「どこに相談すればいいのかわからない人が多い」といった「里親に対する理解不足」である。

「里親そのものについて知る機会が少ない」は、『里親意向あり_女性30代』が64.4%で最も高い。

Q19. 現在、日本では、『里親の数が少ない』と言われています。その理由はなぜだと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

※全体の降順ソート



■ Q11.非意向理由

本調査 里親意向がない人 全体

本調査里親意向なし (N=800) の【あてはまるものすべて】を全体でみると、「経済的負担が心配だから」が47.6%、「子どもの人生を左右するので責任が重いから」が42.3%、「続けられる自信がないから」が35.1%、「漠然と大変そうだから」が34.1%、などが上位にあがる。

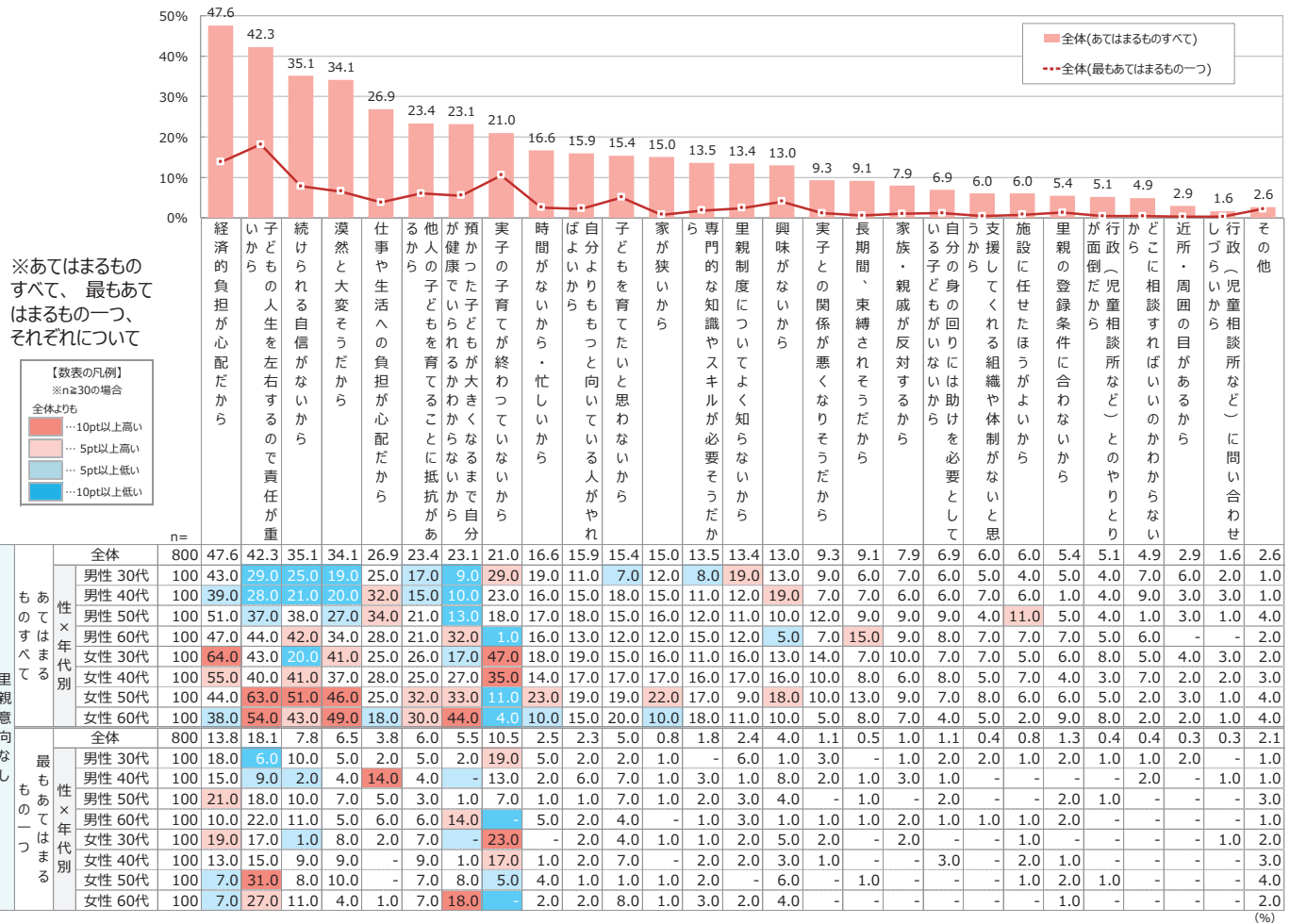
「子どもの人生を左右するので責任が重いから」「続けられる自信がないから」「漠然と大変そうだから」は『女性 50・60代』でスコアが高い。また、『女性 30・40代』で「実子の子育てが終わっていないから」が特徴的に高い。

Q11.事前アンケートで「里親になってみたいとは思わない」「どちらともいえない」とお答えになった方にお聞きます。

里親になってみたいとは思わない理由として、あてはまるものをすべてお選びください。
また最もあてはまるもの一つお選びください。(複数回答/単一回答_表形式)

※里親意向なしベース

※【あてはまるものすべて】全体の降順ソート



※あてはまるものすべて、最もあてはまるもの一つ、それぞれについて

【数表の凡例】※n≥30の場合
全体よりも
...10pt以上高い
...5pt以上高い
...5pt以上低い
...10pt以上低い

意向	性別×年代別	n	理由																											
			経済的負担が心配だから	子どもの人生を左右するので責任が重いから	続けられる自信がないから	漠然と大変そうだから	仕事や生活への負担が心配だから	他人の子どもを育てることに抵抗があるから	預かった子どもが大きくなるまで自分が健康でいられるかわからないから	実子の子育てが終わっていないから	時間がないから・忙しいから	ばよいかもともと向いている人がやればよいから	子どもを育てたいと思わないから	家が狭いから	専門的な知識やスキルが必要そうだから	里親制度についてよく知らないから	興味がないから	実子との関係が悪くなりそうだから	長期間、束縛されそうだから	家族・親戚が反対するから	自分の身の回りには助けを必要としていない子どもがいらないから	支援してくれる組織や体制がないと思えるから	施設に任せたいから	里親の登録条件に合わないから	が面倒だから	行政(児童相談所など)とのやりとり	どこに相談すればいいのかわからない	近所・周囲の目があるから	しづらから	行政(児童相談所など)に問い合わせ
あてはまるものすべて	全体	800	47.6	42.3	35.1	34.1	26.9	23.4	23.1	21.0	16.6	15.9	15.4	15.0	13.5	13.4	13.0	9.3	9.1	7.9	6.9	6.0	6.0	5.4	5.1	4.9	2.9	1.6	2.6	
	男性 30代	100	43.0	29.0	25.0	19.0	25.0	17.0	9.0	29.0	19.0	11.0	7.0	12.0	8.0	19.0	13.0	9.0	6.0	7.0	6.0	5.0	4.0	5.0	4.0	7.0	6.0	2.0	1.0	
	男性 40代	100	39.0	28.0	21.0	20.0	32.0	15.0	10.0	23.0	16.0	15.0	18.0	15.0	11.0	12.0	19.0	7.0	7.0	6.0	6.0	7.0	6.0	1.0	4.0	9.0	3.0	3.0	1.0	
	男性 50代	100	51.0	37.0	38.0	27.0	34.0	21.0	13.0	18.0	17.0	18.0	15.0	16.0	12.0	11.0	10.0	12.0	9.0	9.0	9.0	4.0	11.0	5.0	4.0	1.0	3.0	1.0	4.0	
	男性 60代	100	47.0	44.0	42.0	34.0	28.0	21.0	32.0	1.0	16.0	13.0	12.0	12.0	15.0	12.0	5.0	7.0	15.0	9.0	8.0	7.0	7.0	7.0	7.0	5.0	6.0	-	-	2.0
	女性 30代	100	64.0	43.0	20.0	41.0	25.0	26.0	17.0	47.0	18.0	19.0	15.0	16.0	11.0	16.0	13.0	14.0	7.0	10.0	7.0	7.0	5.0	6.0	8.0	5.0	4.0	3.0	2.0	
	女性 40代	100	55.0	40.0	41.0	37.0	28.0	25.0	27.0	35.0	14.0	17.0	17.0	17.0	16.0	17.0	16.0	10.0	8.0	6.0	8.0	5.0	7.0	4.0	3.0	7.0	2.0	2.0	3.0	
女性 50代	100	44.0	63.0	51.0	46.0	25.0	32.0	33.0	11.0	23.0	19.0	19.0	22.0	17.0	9.0	18.0	10.0	13.0	9.0	7.0	8.0	6.0	6.0	5.0	2.0	3.0	1.0	4.0		
女性 60代	100	38.0	54.0	43.0	49.0	18.0	30.0	44.0	4.0	10.0	15.0	20.0	10.0	18.0	11.0	10.0	5.0	8.0	7.0	4.0	5.0	2.0	9.0	8.0	2.0	2.0	1.0	4.0		
最もあてはまるもの一つ	全体	800	13.8	18.1	7.8	6.5	3.8	6.0	5.5	10.5	2.5	2.3	5.0	0.8	1.8	2.4	4.0	1.1	0.5	1.0	1.1	0.4	0.8	1.3	0.4	0.4	0.3	0.3	2.1	
	男性 30代	100	18.0	6.0	10.0	5.0	2.0	5.0	2.0	19.0	5.0	2.0	2.0	1.0	-	6.0	1.0	3.0	-	1.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	2.0	-	1.0	
	男性 40代	100	15.0	9.0	2.0	4.0	14.0	4.0	-	13.0	2.0	6.0	7.0	1.0	3.0	1.0	8.0	2.0	1.0	3.0	1.0	-	-	-	-	2.0	-	-	1.0	
	男性 50代	100	21.0	18.0	10.0	7.0	5.0	3.0	1.0	7.0	1.0	1.0	7.0	1.0	2.0	3.0	4.0	-	1.0	-	2.0	-	-	2.0	1.0	-	-	-	3.0	
	男性 60代	100	10.0	22.0	11.0	5.0	6.0	6.0	14.0	-	5.0	2.0	4.0	-	1.0	3.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	2.0	-	-	-	-	1.0	
	女性 30代	100	19.0	17.0	1.0	8.0	2.0	7.0	-	23.0	-	2.0	4.0	1.0	1.0	2.0	5.0	2.0	-	2.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	1.0	2.0
	女性 40代	100	13.0	15.0	9.0	9.0	-	9.0	1.0	17.0	1.0	2.0	7.0	-	2.0	2.0	3.0	1.0	-	-	3.0	-	-	2.0	1.0	-	-	-	-	3.0
女性 50代	100	7.0	31.0	8.0	10.0	-	7.0	8.0	5.0	4.0	1.0	1.0	1.0	2.0	-	6.0	-	1.0	-	-	-	-	1.0	2.0	1.0	-	-	-	4.0	
女性 60代	100	7.0	27.0	11.0	4.0	1.0	7.0	18.0	-	2.0	2.0	8.0	1.0	3.0	2.0	4.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	2.0	

■ Q6.非意向理由（自由記述回答）

本調査 里親意向がない人 全体

本調査里親意向なしでみると、実子がいることがバリアとなっている人は一定数いる様子であり、また子育て経験者だからこそ“難しい”と感じている人がみられた。「様々な背景をもった子どもたちを育てられるか自信がない」という声もあり、手をあげる障壁となっている。

Q6.あなたは事前アンケートで、養育里親について「SQ7S1回答選択肢 表示」とお答えになりましたが、それはなぜですか。その理由を、できるだけ具体的にお答えください。（自由記述回答）

カテゴリ	里親になってみたいと思わない理由
実子を考えて 難しいと思う	実子がいるので、分け隔てなく育てる自信がない。
	まだ里親について知っている情報が少ない、また実子の妊娠が望めるうちは実子がほしいため。
	我が子を育てて、子育ての大変さは痛感し、今の社会で子育てすることの難しさを、考えると、そういう気持ちにはなれない。
里子をしっかり養育できる 自信が持てない	自分の子供も育てたことはないし、どんな子供が来るのか不安。
	見知らぬ子供を家に入れることはできない。
	子供として育てたい気持ちと、育てられるだろうかという心配と、育てて行けば可愛くなるだろうし、いつか別れがあると思うと辛いし、そんな割り切った思いの中で、冷静に対応できるかが懸念材料です。
	複雑なバックボーンを持つ子供たちを、責任持って養育できる自信が無い事と、近所の好奇の目が心配。
生活/体力的な余裕がない	自分がまともな職に就いていないのに里親なんてとてもじゃないができないから。
	本当はすぐにもなりたかったが、自分の子供また孫に手がかかり、今となっては年がいきすぎて、体力精神力が持たないかもと自信がなくなっています
	難しかった未子が独立して一応・やっと子育ての一区切りが付いたこと 年齢的に老齢になっていること
周囲/家族の理解が 得られるか分からない	関心があるが、自分ができるかまた家族の協力が得られるかが心配だから

■ Q9.受け入れたい子どもの条件（学齢）

本調査 里親意向がある人 全体

本調査里親意向あり（N=700）の【受け入れたい学齢の下限】を全体で見ると、「乳児」が40.9%でトップ、次いで「幼稚園児・保育園児」が23.6%で続く。

また【受け入れたい学齢の上限】を全体で見ると、「小学校低学年」が27.1%でトップ、次いで「幼稚園児・保育園児」が22.3%で続く。

【受け入れたい学齢の下限】を性×年代別で見ると、『女性 30・40代』で「乳児」が高め。また『男性 60代』で『幼稚園児・保育園児』が特に高い。

【受け入れたい学齢の上限】を性×年代別で見ると、『男性 60代』で「小学校低学年（1～3年生）」が37.5%で特に高い。

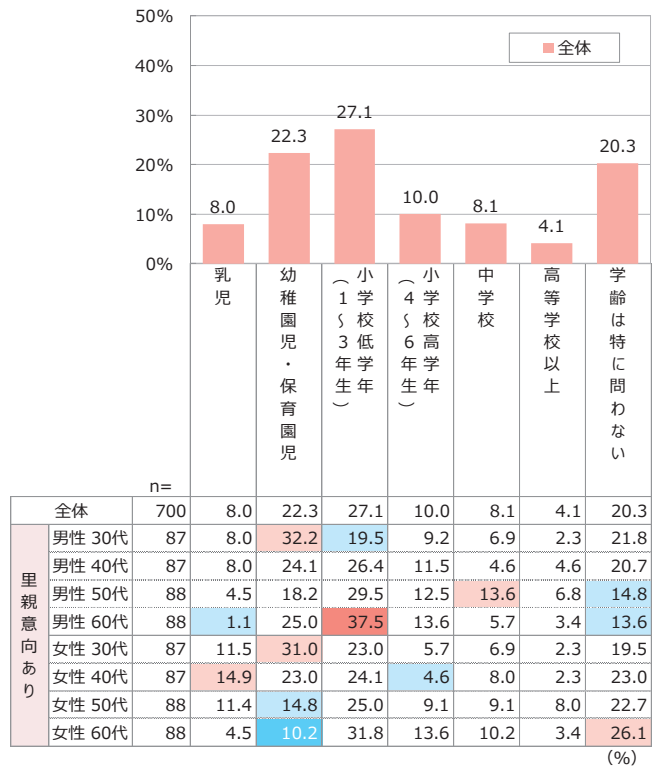
Q9.事前アンケートで「里親になってみたい」とお答えになった方にお聞きます。

里親になるとしたら、子どもの学齢について受け入れたい条件はありますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

【受け入れたい学齢の下限】



【受け入れたい学齢の上限】



■ Q10.受け入れたい子どもの条件（期間）

本調査 里親意向がある人 全体

本調査里親意向あり（N=700）の【受け入れたい期間の下限】を全体で見ると、「期間は特に問わない」が55.1%で最も高く、次いで「1年以上～5年未満」が15.1%で続く。

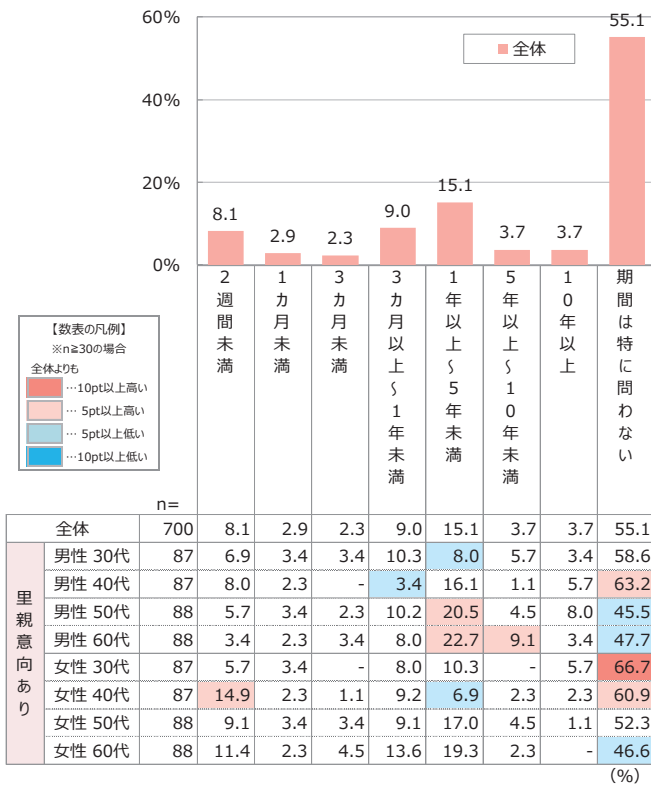
また【受け入れたい期間の上限】を全体で見ても、「期間は特に問わない」が55.1%で最も高く、次いで「1年以上～5年未満」が15.3%で続く。

【受け入れたい期間の下限】と【受け入れたい学齢の上限】いずれも、「期間は特に問わない」は『女性 30代』で特に高い。【受け入れたい学齢の上限】の「1年以上～5年未満」は、概ね、男女いずれも高年層ほど高くなる。

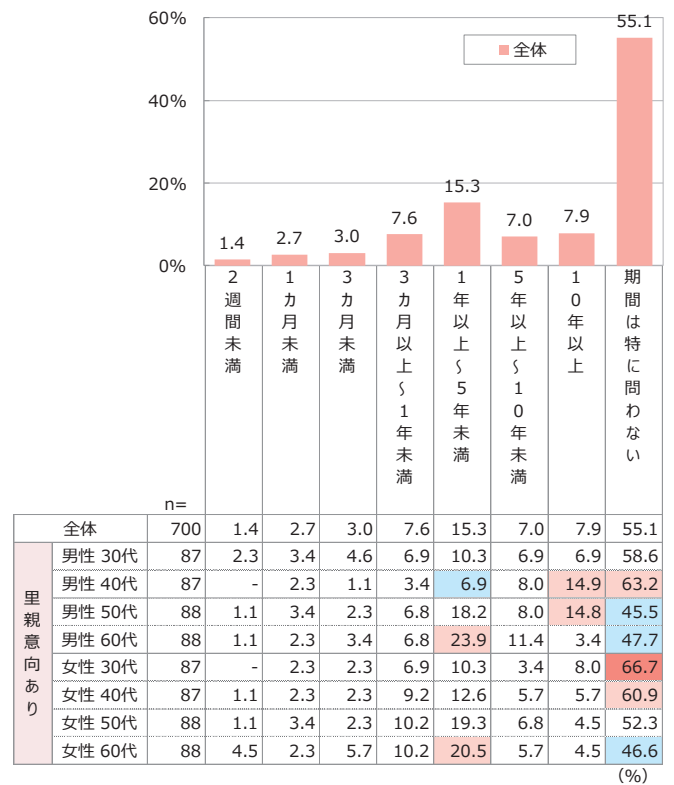
Q10.【事前アンケートで「里親になってみたい」とお答えになった方にお聞きします。

里親になるとしたら、期間について受け入れたい条件はありますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

【受け入れたい期間の下限】



【受け入れたい期間の上限】



4章 里親意向の有無と属性の特徴

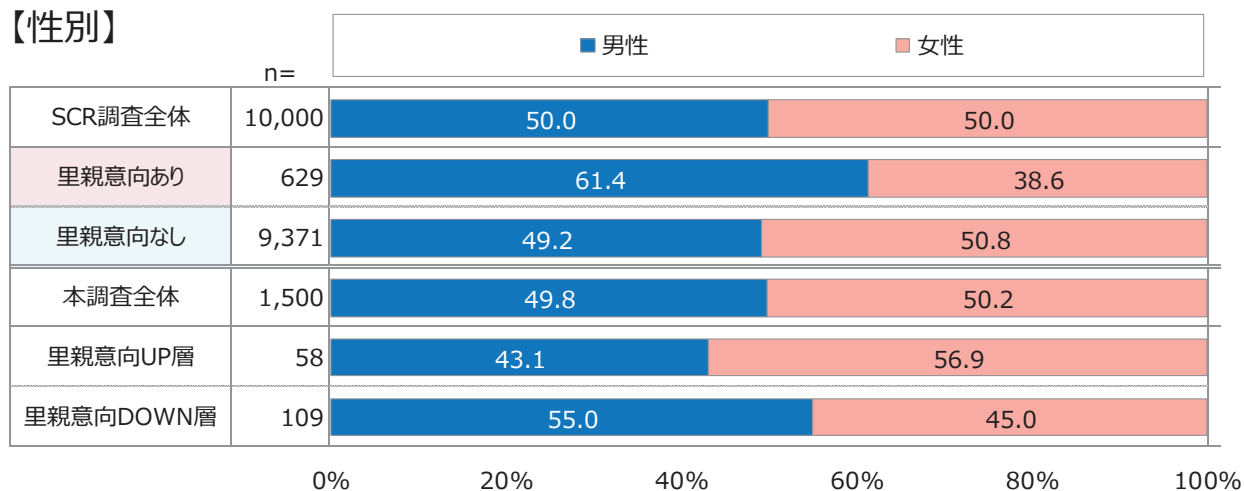
■ デモグラフィック属性（性別/年代）

事前調査 全体

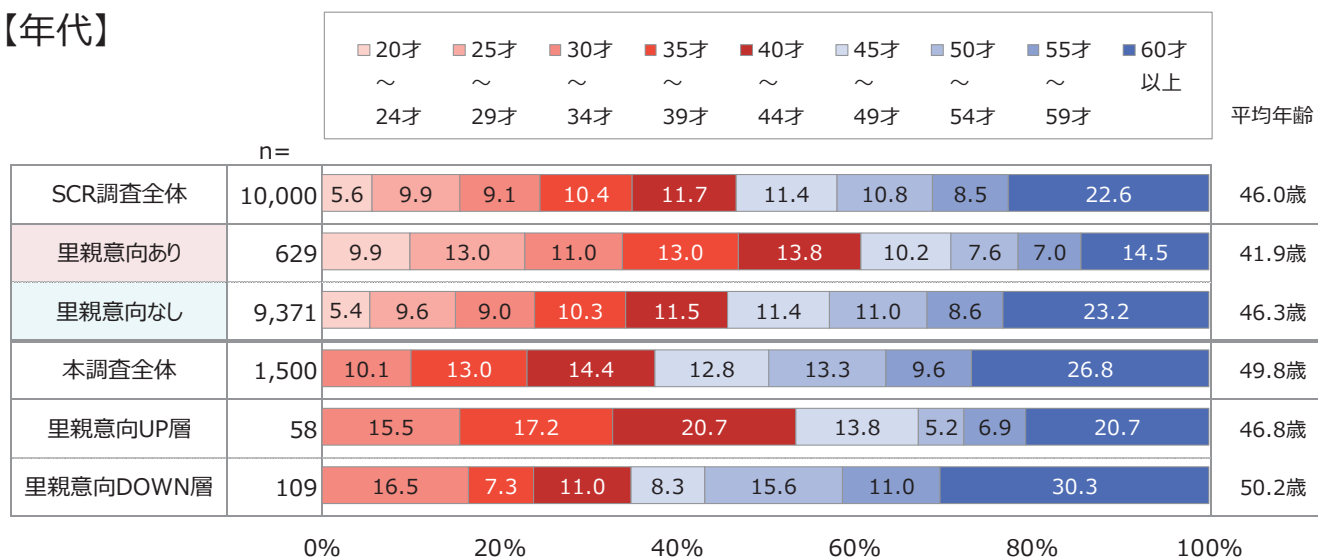
事前調査では、『里親意向あり』は『里親意向なし』と比べて、「男性」が多く、平均年齢で4.4歳若い。
本調査の『里親意向UP層』は『里親意向DOWN層』に比べ、「女性」が多く、平均年齢で3.5歳若い。

※モニター登録時情報(単一回答/数量回答)

【性別】



【年代】



※性別/年代に関するクロス軸は重複するため、割愛した

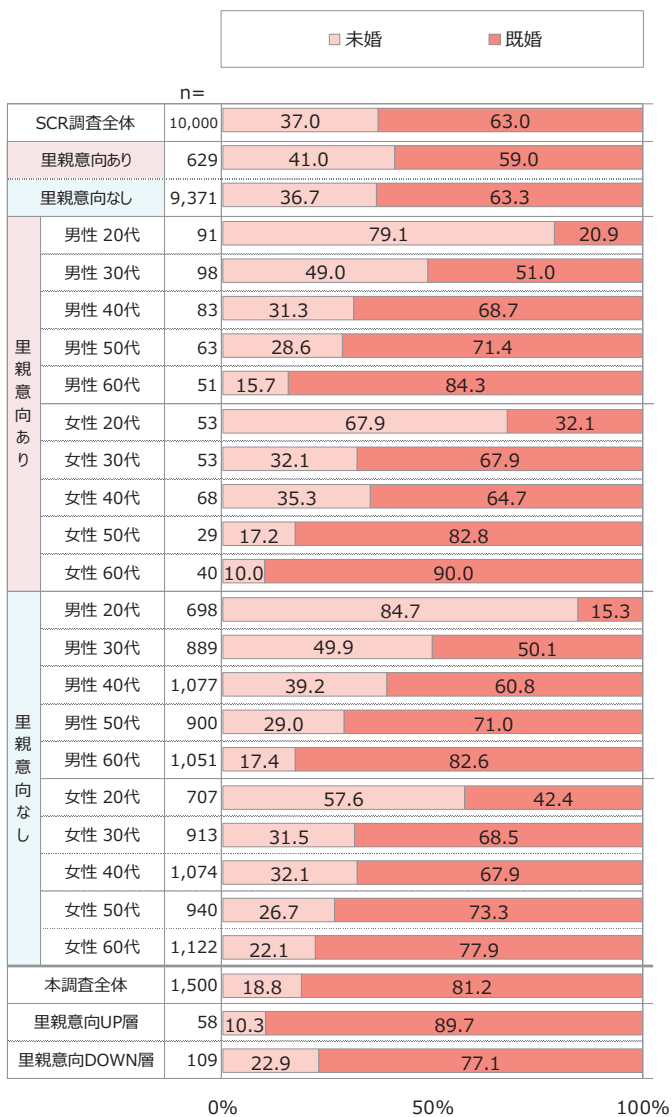
■ デモグラフィック属性（未既婚/子ども有無）

事前調査 全体

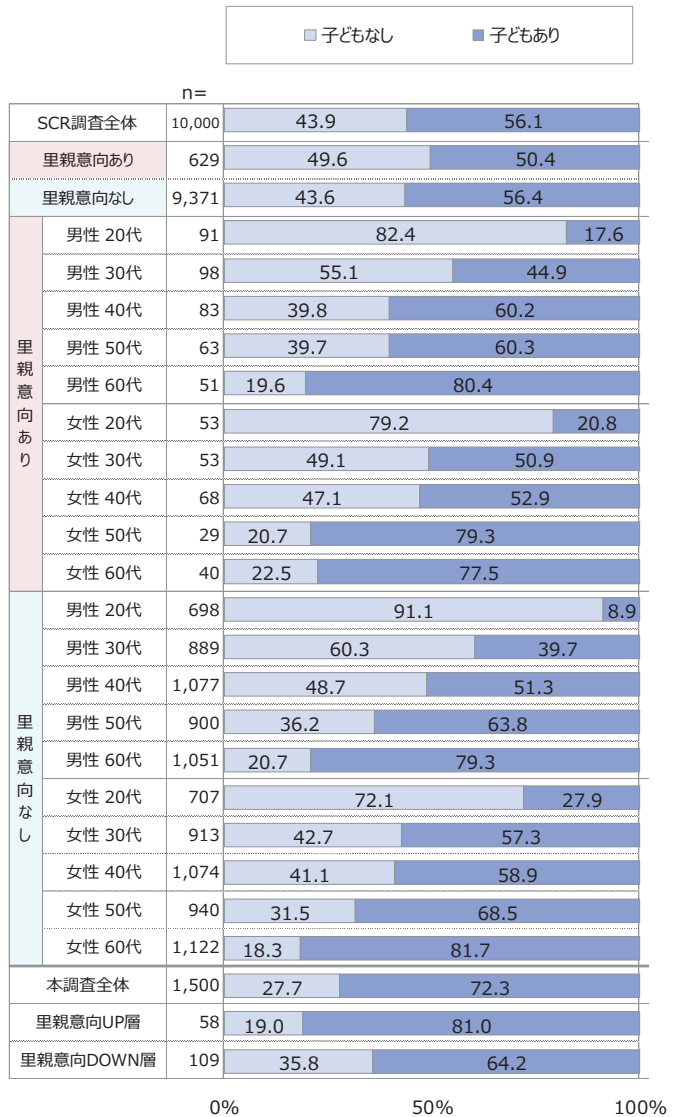
事前調査では、『里親意向あり』は『里親意向なし』と比べて、「未既婚」が4.3ポイント、「子どもなし」が6.0ポイント多い。
本調査の『里親意向UP層』は『里親意向DOWN層』に比べ、「既婚」および「子どもあり」の比率が高い。

※モニター登録時情報(単一回答)

【未既婚】



【子ども有無】



■ デモグラフィック属性 (SQ1.同居人/成人の同居人)

事前調査 全体

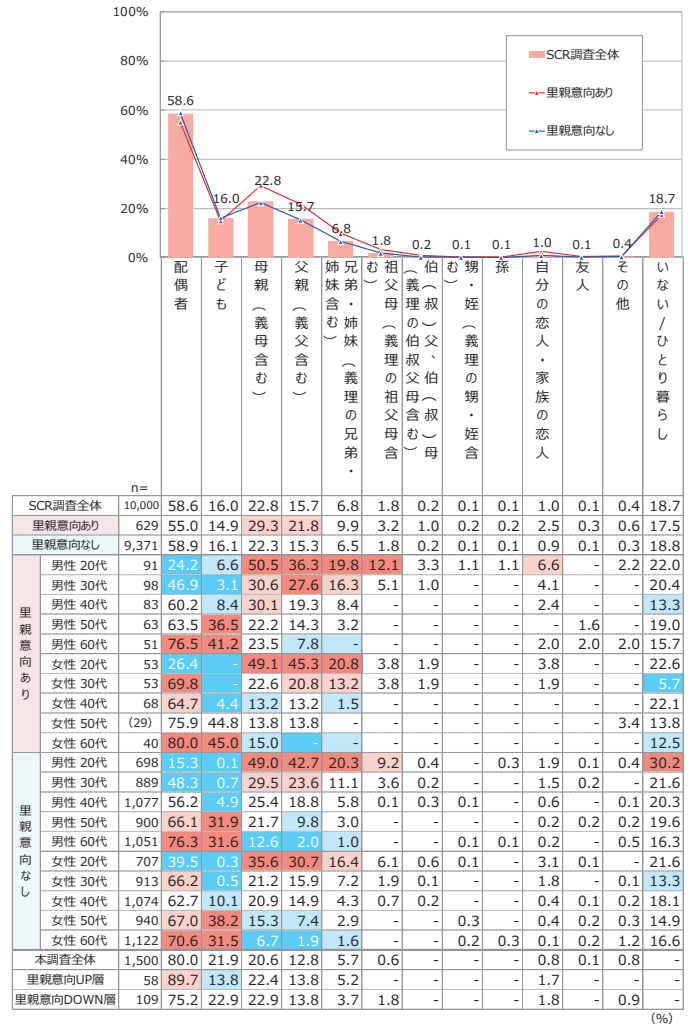
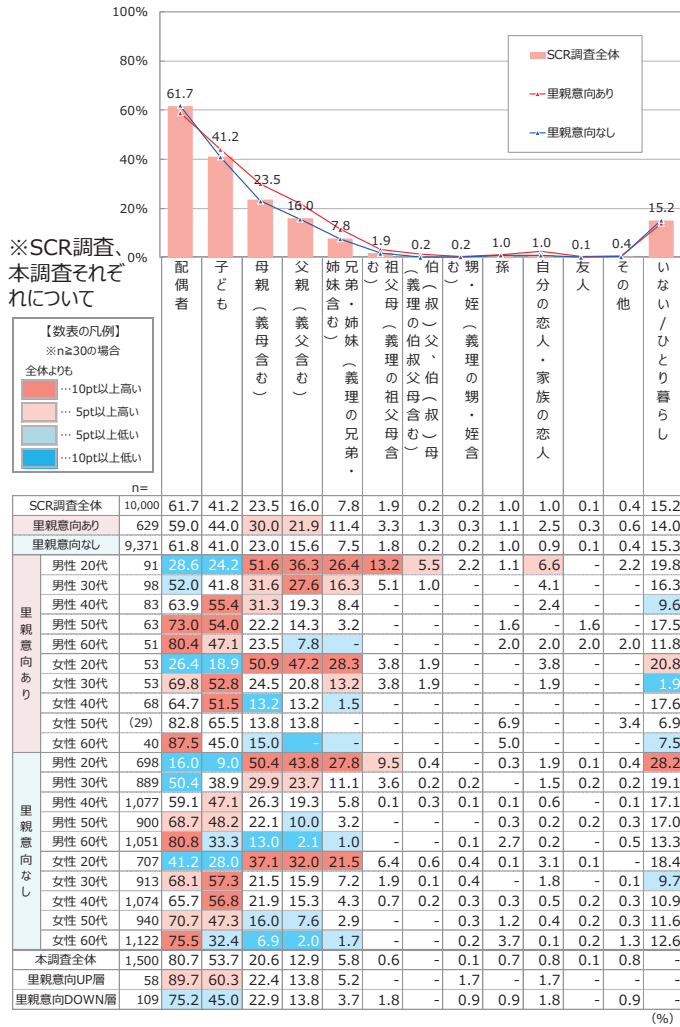
事前調査では、『里親意向あり』は『里親意向なし』と比べて、「母親」が約7ポイント、「父親」が約6ポイント多い。
本調査の『里親意向UP層』は『里親意向DOWN層』に比べ、「配偶者」および「子ども」の比率が高い。

SQ1. 現在あなたが同居されている方をすべてお選びください。
また、そのうち成人（20歳以上）の方をすべてお選びください。（複数回答_表形式）

※n<30は参考値

【同居人】

【成人の同居人】



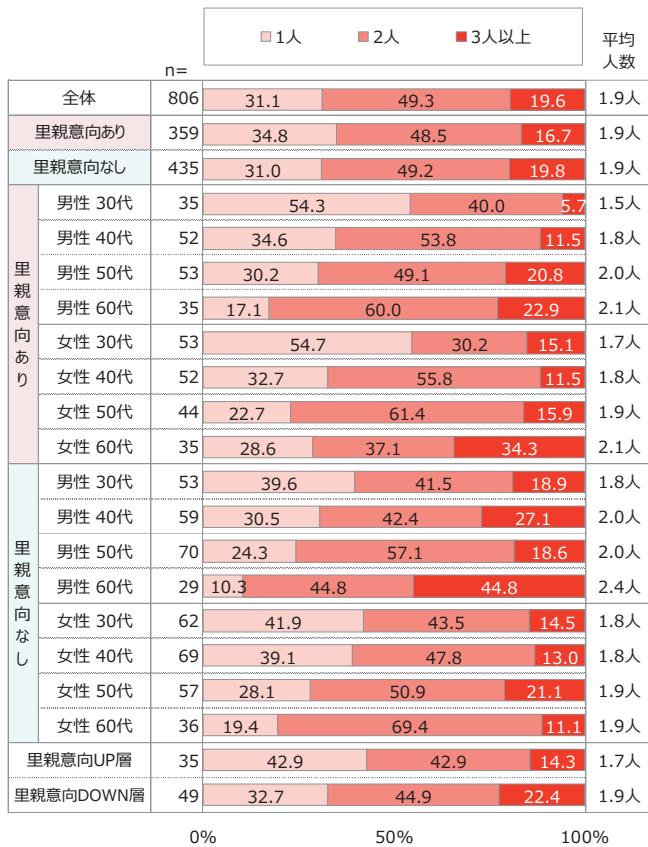
■ デモグラフィック属性 (Q22.子どもの人数/同居している子どもの人数)

本調査における子どもあり者全体(N=806)でみると、『里親意向あり』および『里親意向UP層』では、子どもが「1人」のスコアがわずかに高く、一方『里親意向なし』および『里親意向DOWN層』は、子どもが「2人」「3人以上」のスコアが若干高めである。

Q22.あなたの「お子様」の人数と、現在同居している「お子様」の人数をお答えください。(数量回答)

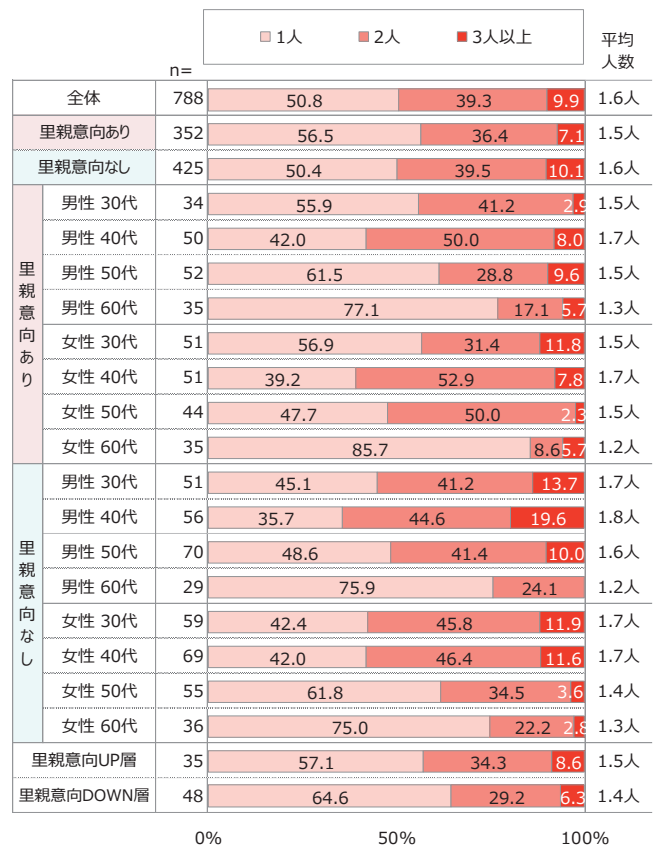
【子どもの人数】

※子どもありベース



【同居している子どもの人数】

※子どもありベース



■ デモグラフィック属性 (Q23.末子の学齢)

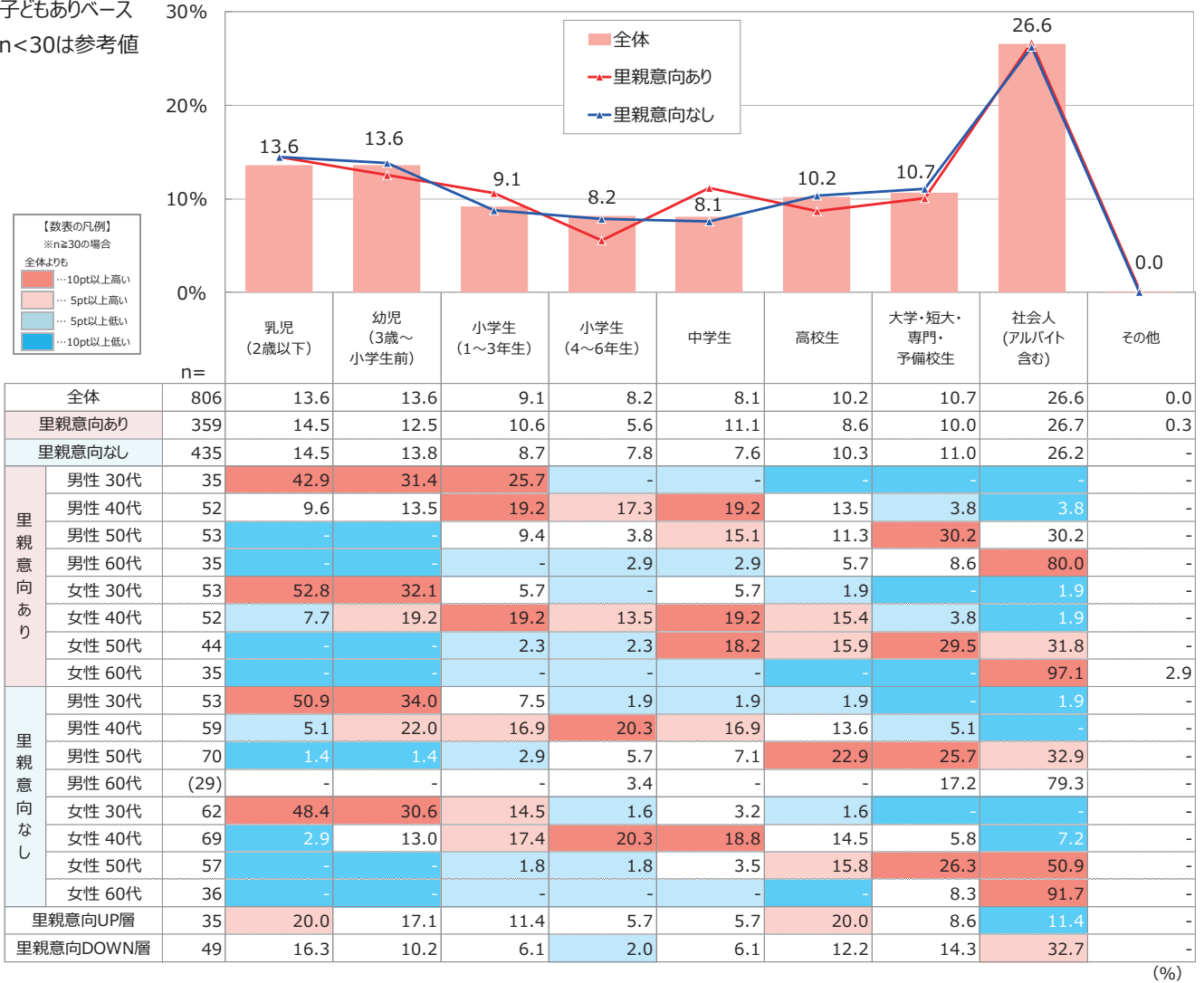
本調査 子どもあり

本調査における子どもあり者全体(N=806)でみると、『里親意向あり』と『里親意向なし』の全体では、末子の学齢の分布に大きな差はみられない。

『里親意向UP層』は『里親意向DOWN層』に比べ「社会人」比率が低い。

Q23.お子様がいらっしゃる方にお聞きます。末子の学齢をお答えください。(単一回答)

※子どもありベース
※n<30は参考値



■ デモグラフィック属性 (世帯年収/個人年収)

事前調査 全体

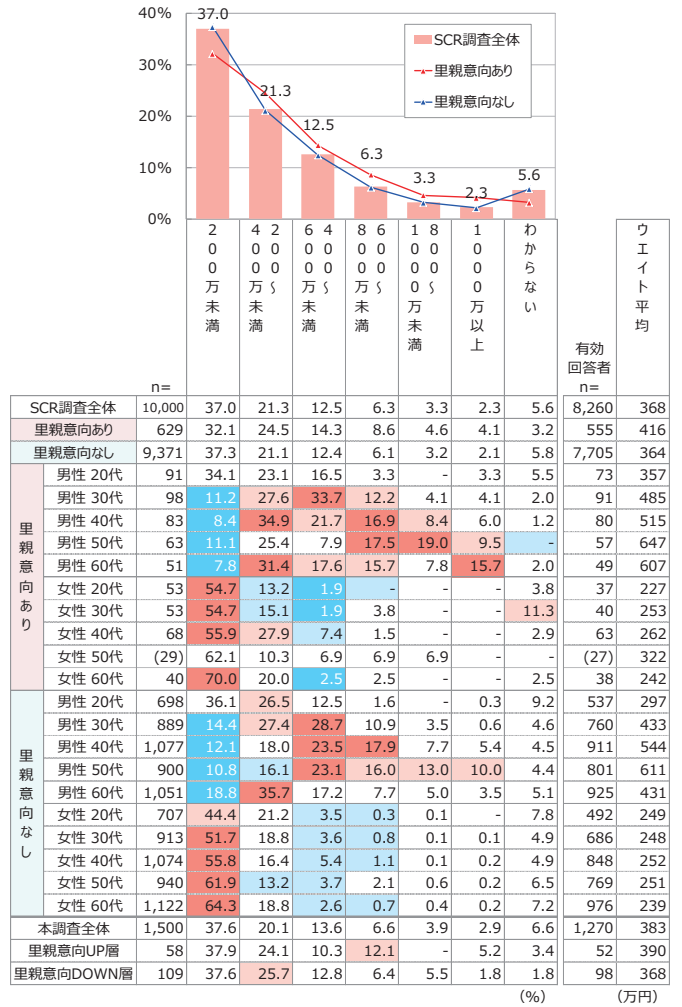
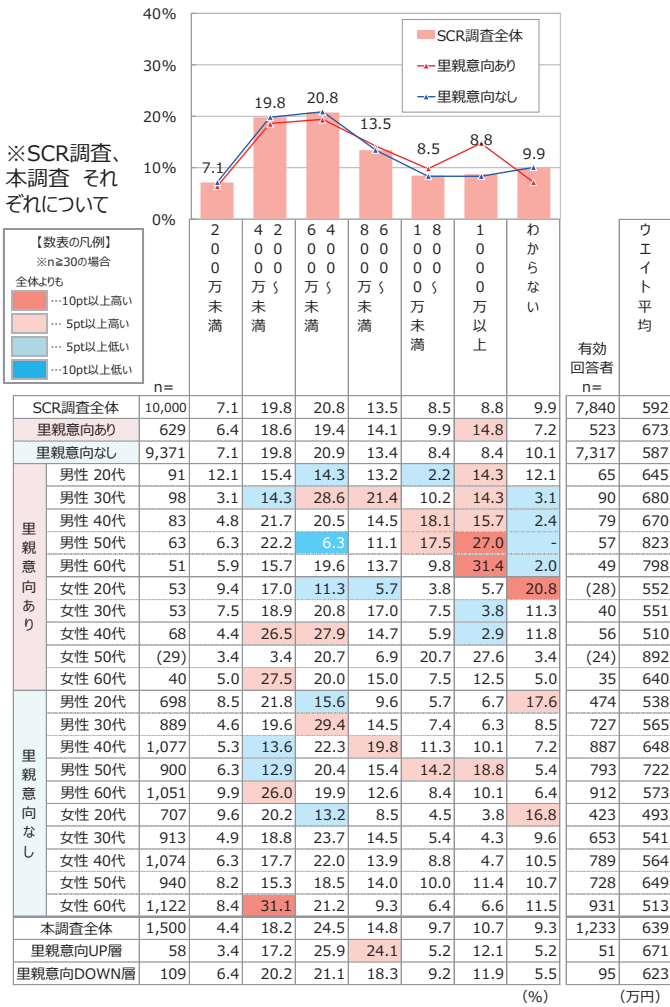
事前調査では、『里親意向あり』は『里親意向なし』に対し、平均世帯年収/平均個人年収のいずれも上回る。
 本調査の『里親意向UP層』は『里親意向DOWN層』よりも、平均世帯年収/平均個人年収が高い。

※モニター登録時情報(単一回答)

※n<30は参考値

【世帯年収】

【個人年収】

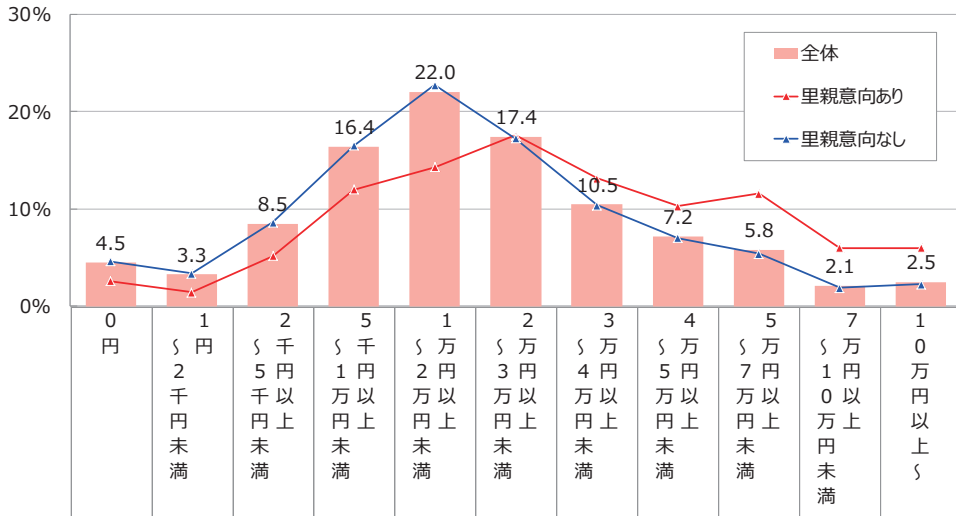


■ デモグラフィック属性 (Q28.可処分所得)

本調査 全体

本調査では、『里親意向あり』は『里親意向なし』と比べて、平均可処分所得が1万4千円も多い。
 全ての性×年代で、『里親意向あり』の平均可処分所得が『里親意向なし』を上回る
 『里親意向UP層』は『里親意向DOWN層』よりも、平均可処分所得がやや高い。

Q28.あなたが一か月あたり自由に使えるお金の金額をお答えください。
 (最低限の衣食住居費、光熱費、家族のための生活費などを除く)(単一回答)



【数表の凡例】
 ※n≥30の場合
 全体よりも
 ...10pt以上高い
 ...5pt以上高い
 ...5pt以上低い
 ...10pt以上低い

n=		0円	1万円未満	1万円以上2万円未満	2万円以上3万円未満	3万円以上4万円未満	4万円以上5万円未満	5万円以上6万円未満	6万円以上7万円未満	7万円以上8万円未満	8万円以上9万円未満	9万円以上10万円未満	10万円以上	有効回答者 n=	ウエイト平均
全体	1,500	4.5	3.3	8.5	16.4	22.0	17.4	10.5	7.2	5.8	2.1	2.5	1,500	25,573	
里親意向あり	700	2.6	1.4	5.1	12.0	14.3	17.6	13.1	10.3	11.6	6.0	6.0	700	38,759	
里親意向なし	800	4.6	3.4	8.6	16.5	22.8	17.3	10.4	7.0	5.4	1.9	2.3	800	24,773	
里親意向あり	男性 30代	87	1.1	1.1	3.4	10.3	17.2	16.1	12.6	6.9	14.9	6.9	9.2	87	42,517
	男性 40代	87	6.9	-	2.3	9.2	12.6	18.4	13.8	8.0	13.8	8.0	6.9	87	42,897
	男性 50代	88	1.1	-	4.5	10.2	4.5	13.6	14.8	13.6	22.7	6.8	8.0	88	49,392
	男性 60代	88	-	1.1	1.1	5.7	9.1	10.2	21.6	17.0	13.6	12.5	8.0	88	53,205
	女性 30代	87	5.7	8.0	9.2	18.4	21.8	17.2	5.7	5.7	1.1	3.4	3.4	87	23,621
	女性 40代	87	4.6	1.1	11.5	19.5	18.4	13.8	9.2	6.9	10.3	4.6	-	87	24,523
	女性 50代	88	1.1	-	6.8	12.5	15.9	21.6	12.5	11.4	11.4	1.1	5.7	88	35,040
	女性 60代	88	-	-	2.3	10.2	14.8	29.5	14.8	12.5	4.5	4.5	6.8	88	38,631
里親意向なし	男性 30代	100	2.0	5.0	2.0	12.0	28.0	19.0	15.0	7.0	6.0	2.0	2.0	100	26,170
	男性 40代	100	4.0	4.0	6.0	19.0	21.0	22.0	9.0	6.0	7.0	2.0	-	100	22,075
	男性 50代	100	7.0	1.0	6.0	10.0	16.0	15.0	18.0	9.0	10.0	5.0	3.0	100	32,220
	男性 60代	100	2.0	4.0	8.0	15.0	14.0	18.0	10.0	14.0	6.0	3.0	6.0	100	34,995
	女性 30代	100	6.0	6.0	11.0	19.0	31.0	14.0	3.0	4.0	2.0	2.0	2.0	100	18,770
	女性 40代	100	7.0	6.0	12.0	25.0	14.0	11.0	12.0	7.0	3.0	-	3.0	100	22,355
	女性 50代	100	7.0	-	14.0	17.0	32.0	12.0	7.0	5.0	4.0	1.0	1.0	100	19,515
	女性 60代	100	2.0	1.0	10.0	15.0	26.0	27.0	9.0	4.0	5.0	-	1.0	100	22,085
里親意向UP層	58	1.7	-	15.5	15.5	17.2	19.0	5.2	13.8	3.4	5.2	3.4	58	29,121	
里親意向DOWN層	109	4.6	2.8	4.6	15.6	13.8	25.7	16.5	7.3	2.8	3.7	2.8	109	27,826	

(%) (円)

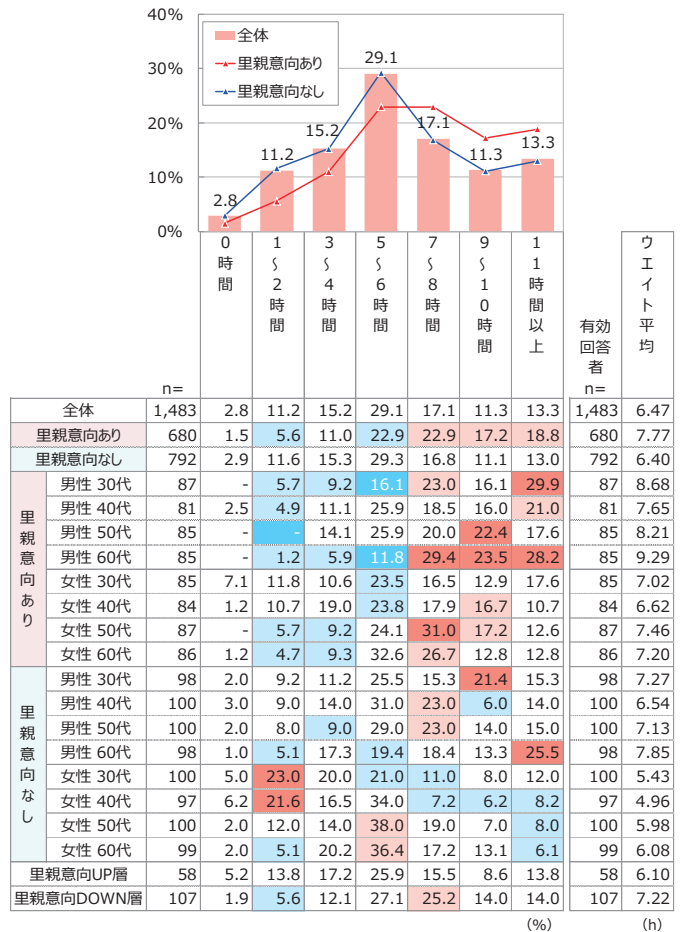
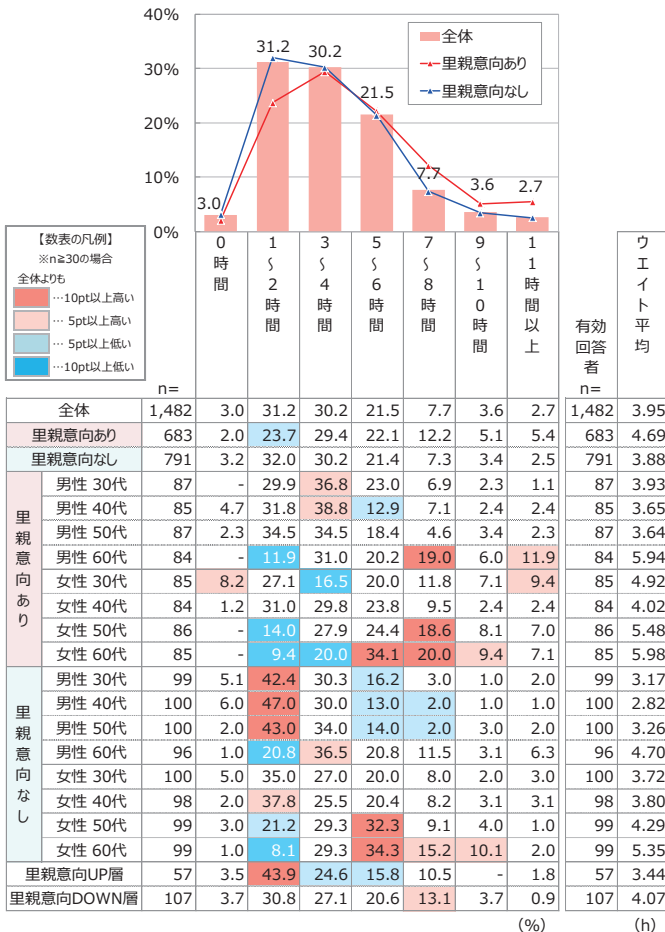
■ デモグラフィック属性 (Q27.自由に使える時間 (平日/休日))

本調査では、『里親意向あり』は『里親意向なし』と比べて、平日/休日ともに自由に使える時間が約1時間長い。全ての性×年代で、『里親意向あり』の自由に使える時間（平日/休日いずれも）が『里親意向なし』を上回る。『里親意向UP層』は『里親意向DOWN層』よりも、自由に使える時間（平日/休日いずれも）が短い。

Q27. 1日のうち、あなたが自由に使える時間をお答えください。（平日・休日、それぞれお答えください。）
（睡眠や食事、風呂などの拘束時間は除く）※月～金曜日を平日、土日祝日を休日としてお答えください。（数量回答）

【平日】

【休日】



※データクリーニング（外れ値は回答削除）を行った

■ 居住環境（居住地）

事前調査 全体

事前調査では、『里親意向あり』と『里親意向なし』では、居住地に大きな違いは見受けられない。

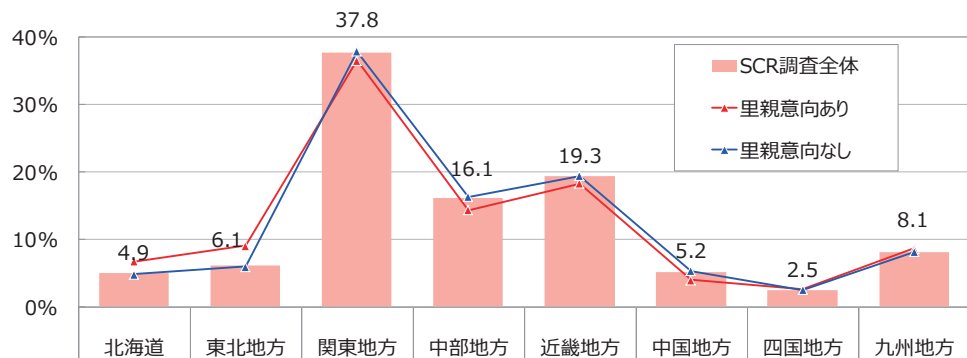
『里親意向あり_男性 60代』で、「関東地方」居住者が54.9%と特に高い。

『里親意向UP層』は『里親意向DOWN層』よりも「関東地方」居住者が少なく、「近畿地方」「九州地方」の居住者が多い。

※モニター登録時情報(単一回答)

※n<30は参考値

※SCR調査、本調査 それぞれについて



		n=	北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方
SCR調査全体		10,000	4.9	6.1	37.8	16.1	19.3	5.2	2.5	8.1
里親意向あり		629	6.7	9.1	36.6	14.3	18.3	4.0	2.5	8.6
里親意向なし		9,371	4.8	5.9	37.9	16.3	19.4	5.3	2.5	8.1
里親意向あり	男性 20代	91	6.6	5.5	39.6	12.1	18.7	3.3	1.1	13.2
	男性 30代	98	6.1	10.2	31.6	13.3	22.4	5.1	3.1	8.2
	男性 40代	83	3.6	12.0	42.2	8.4	21.7	3.6	-	8.4
	男性 50代	63	7.9	4.8	27.0	27.0	25.4	1.6	3.2	3.2
	男性 60代	51	7.8	5.9	54.9	11.8	7.8	2.0	5.9	3.9
	女性 20代	53	3.8	5.7	30.2	22.6	18.9	7.5	1.9	9.4
	女性 30代	53	11.3	20.8	30.2	15.1	5.7	3.8	1.9	11.3
	女性 40代	68	8.8	7.4	36.8	11.8	13.2	4.4	2.9	14.7
	女性 50代	(29)	3.4	-	44.8	10.3	27.6	3.4	6.9	3.4
女性 60代	40	7.5	17.5	32.5	12.5	20.0	5.0	2.5	2.5	
里親意向なし	男性 20代	698	3.3	6.9	37.0	16.2	19.9	4.9	3.7	8.2
	男性 30代	889	5.2	5.2	38.0	16.5	18.0	6.1	2.7	8.3
	男性 40代	1,077	5.0	6.0	38.9	16.2	19.4	5.4	2.2	6.9
	男性 50代	900	3.4	6.7	42.0	17.2	16.9	4.0	2.4	7.3
	男性 60代	1,051	4.5	4.9	38.5	17.8	18.5	5.5	2.4	7.9
	女性 20代	707	4.2	8.3	34.5	16.1	18.8	4.8	2.5	10.6
	女性 30代	913	4.5	6.1	35.0	17.4	20.3	5.6	2.5	8.5
	女性 40代	1,074	6.0	6.0	37.7	13.9	18.9	5.6	2.5	9.5
	女性 50代	940	6.1	4.9	38.1	16.2	20.1	4.7	2.2	7.8
女性 60代	1,122	5.0	5.1	37.6	15.5	22.5	5.7	1.8	6.8	
本調査全体	1,500	6.4	5.6	33.7	17.6	20.6	4.7	2.3	9.0	
里親意向UP層	58	3.4	1.7	24.1	15.5	27.6	8.6	1.7	17.2	
里親意向DOWN層	109	4.6	3.7	45.0	11.9	17.4	2.8	6.4	8.3	

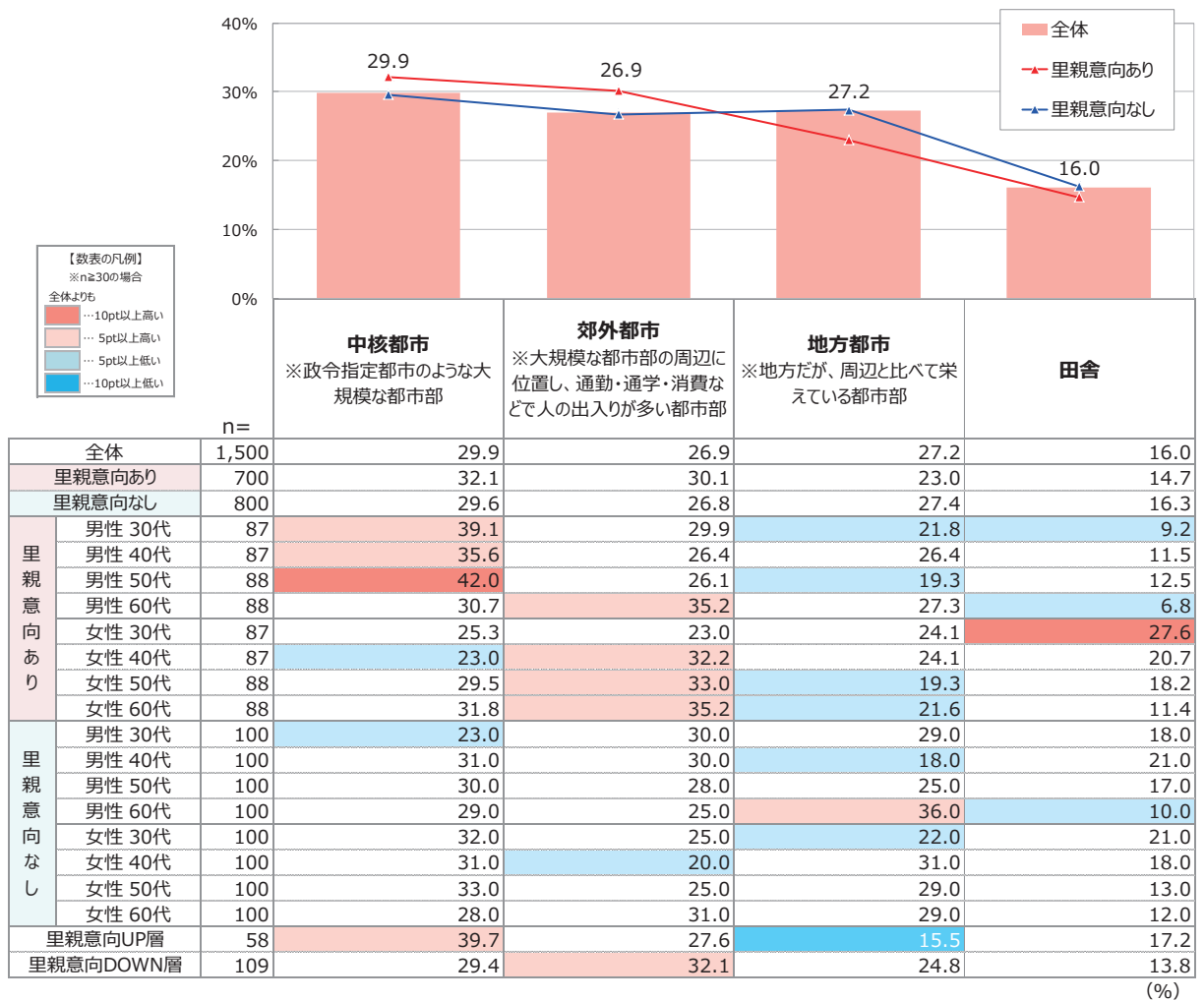
(%)

■ 居住環境（Q26.お住まいのエリア）

本調査 全体

本調査では、『里親意向あり』は『里親意向なし』よりも、「中核都市」や「郊外都市」の居住者比率がやや高い。
 『里親意向あり_男性30～50代』で「中核都市」居住者が、『里親意向あり_女性 40～60代』で「郊外都市」居住者が多め。
 『里親意向UP層』は『里親意向DOWN層』よりも「中核都市」居住者比率が高く、「郊外都市」「地方都市」居住者比率が低い。

Q26.あなたが現在お住まいのエリアは、全国的にみてどのようなエリアだと思いますか。
 あてはまるものを一つお選びください。(単一回答)

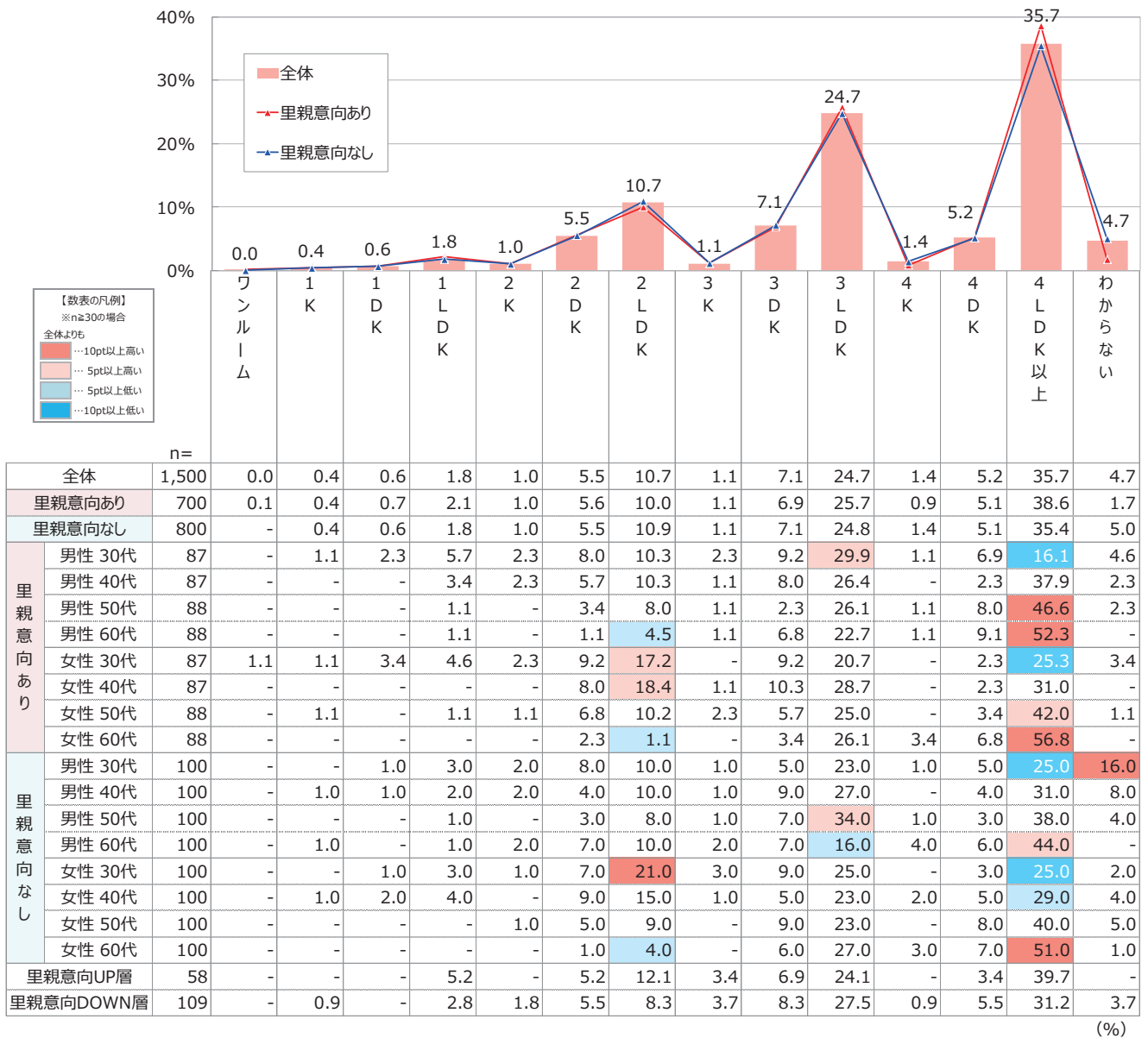


■ 居住環境 (Q24.住居形態 (間取り))

本調査 全体

本調査では、『里親意向あり』と『里親意向なし』では住居形態 (間取り) の傾向に差がみられない。
『里親意向あり_男女 50~60代』で「4LDK以上」といった間取り数の多い住居の比率が高い。『里親意向なし_女性 30代』で「2LDK」が21.0%で特徴的に高い。

Q24.あなたの家の間取りを教えてください。(単一回答)



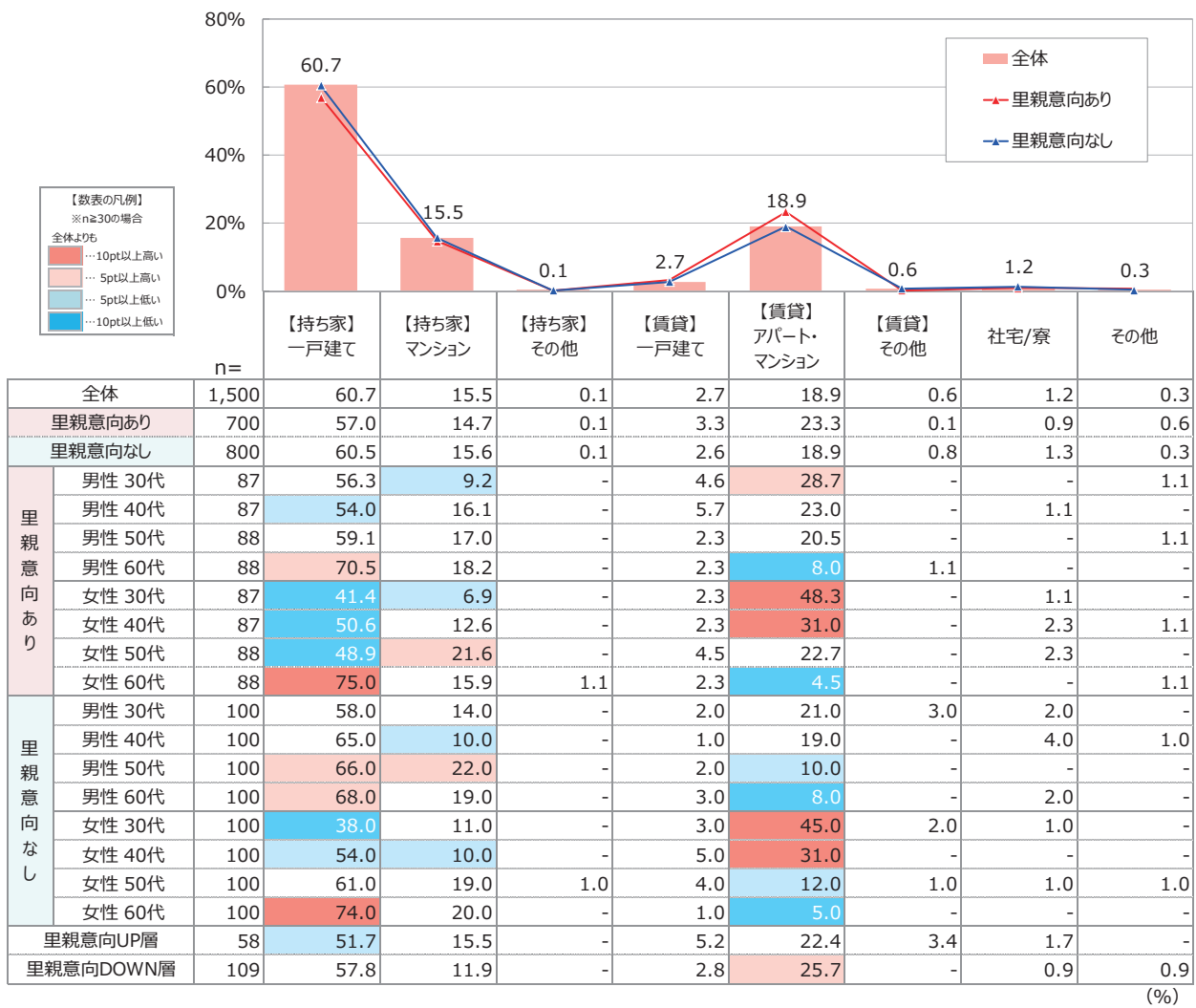
■ 居住環境（Q25.住居形態（住居の種類））

本調査 全体

本調査では、『里親意向あり』は『里親意向なし』よりも「【賃貸】アパート・マンション」の比率がやや高く、「【持ち家】一戸建て」の比率がやや低い。

「【賃貸】アパート・マンション」は『里親意向あり_女性 30～40代』で高め。『里親意向なし_女性 30代』で「【賃貸】アパート・マンション」が45.0%で突出して高い。

Q25.あなたの住居の種類を教えてください。(単一回答)



■ 職業・経歴 (Q21.本人の職業/配偶者の職業)

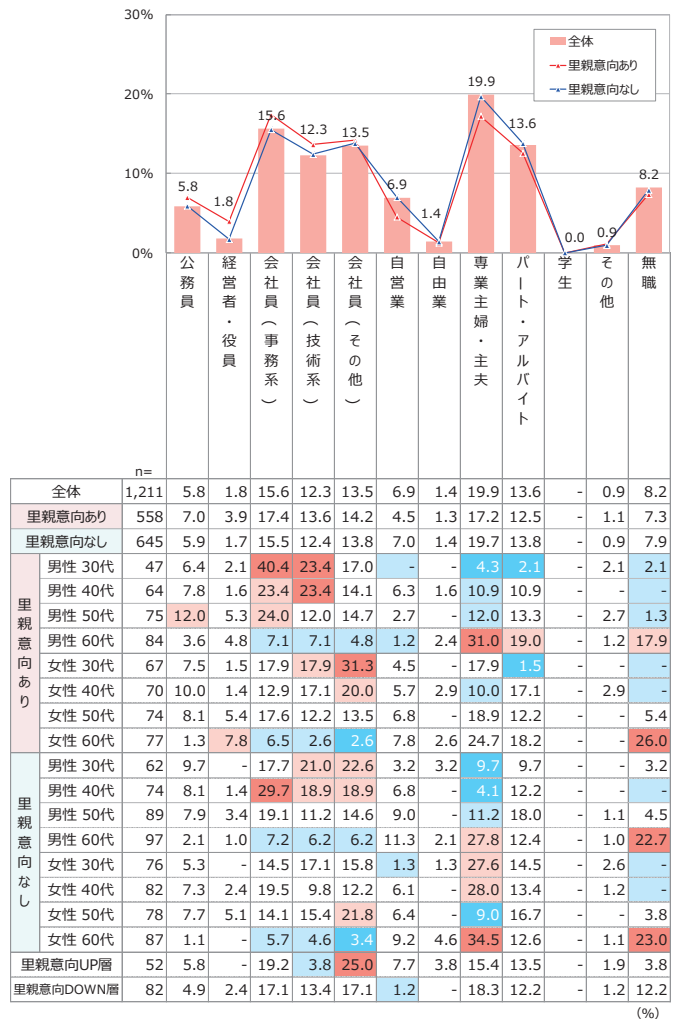
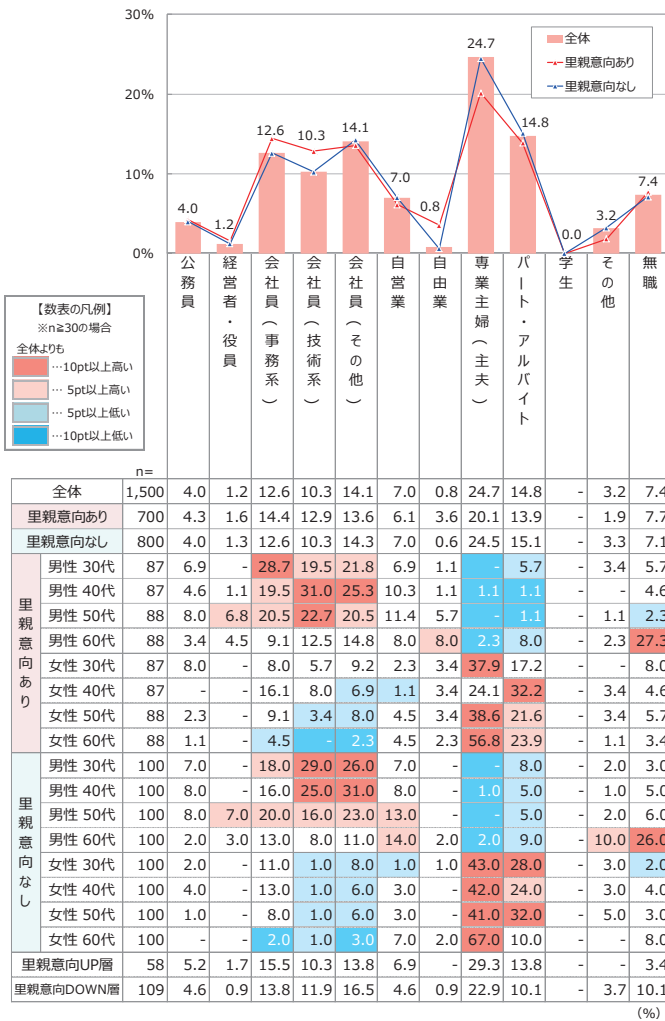
本調査 全体

本調査では、『里親意向あり』の本人/配偶者は、『里親意向なし』よりも「勤め人」の比率が高く、「専業主婦（主夫）」の比率が低い。

Q21.あなたの配偶者の職業をお答えください。(単一回答)

【本人の職業】

【配偶者の職業】 ※配偶者ありベース



■職業・経歴 (SQ2.排他条件/本人)

事前調査 全体

事前調査では、『里親意向あり』は『里親意向なし』に比べ「福祉職」をはじめとして、提示した経歴にあてはまる方が多い。
『里親意向あり』は「肉体労働を伴う職業」をしている人も9.7%と他項目と比べてスコアが高め。

『里親意向UP層』は『里親意向DOWN層』に比べて、「保育士・幼稚園教諭である/だった」人や「宗教を信仰している/していた」人が多い。

SQ2-1.あなたと同居されている方について、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答_表形式)

※ファミリーサポート・・・地域において育児や介護を援助を受けたい人で行いたい人が会員となり助け合う組織

【本人】

※n<30は参考値

※SCR調査、本調査それぞれについて

【数表の凡例】
※n≧30の場合
全体より
...10pt以上高い
...5pt以上高い
...5pt以上低い
...10pt以上低い



n=		10,000	629	9,371	91	98	83	63	51	53	53	68	(29)	40	698	889	1,077	900	1,051	707	913	1,074	940	1,122	1,500	58	109				
		SCR調査全体	里親意向あり	里親意向なし	里親意向あり										里親意向なし						本調査全体	里親意向UP層	里親意向DOWN層								
	現在、生活保護を受けている	0.9	0.4	0.2	0.2	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
	現在、要介護者である	0.4	1.3	0.4	2.2	2.2	2.4	3.2	2.0	1.9	-	-	-	-	-	0.6	0.3	0.2	0.7	1.0	0.1	0.1	0.4	0.4	-	-	-	-	-		
	犯罪歴(子どもが被害者となる)	0.2	1.1	0.1	3.3	1.0	2.4	1.6	-	-	-	-	-	-	0.3	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-		
	等(建築・肉体的労働を伴う職業)	5.1	9.7	4.8	16.5	15.3	16.9	12.7	5.9	-	-	5.9	-	2.5	7.2	10.8	9.8	10.8	4.9	1.6	1.0	1.3	1.0	0.4	4.5	3.4	8.3	3.4	8.3		
	だ(保育士・幼稚園教諭である/)	1.8	4.0	1.7	3.3	4.1	2.4	-	-	7.5	9.4	4.4	-	5.0	0.4	0.8	-	0.2	0.1	1.6	3.7	3.8	2.4	2.2	1.3	3.7	3.7	3.7	3.7		
	だ(小・中・高校 教師である/)	2.2	5.1	2.0	5.5	4.1	4.8	4.8	9.8	5.7	1.9	1.5	3.4	3.4	1.0	1.9	0.8	1.1	3.1	0.7	1.2	0.7	2.3	4.1	2.2	3.4	3.4	2.8	5.2	5.2	
	介(介護職である/だった)	2.6	5.9	2.3	11.0	6.1	1.2	4.8	2.0	7.5	7.5	7.4	13.8	7.5	1.7	2.2	0.8	1.1	1.1	3.5	2.7	2.6	3.7	2.6	2.1	5.2	2.8	2.8	2.8	2.8	
	福(福祉職である/だった)	2.6	7.8	2.2	7.7	11.2	7.2	7.9	5.9	7.5	7.5	5.9	6.9	7.5	1.3	2.7	1.1	1.1	1.4	3.3	3.3	0.4	2.6	2.3	1.4	3.4	5.5	3.4	5.5	5.5	
	医(医師である/だった)	0.3	1.3	0.3	2.2	1.0	2.4	1.6	-	1.9	-	-	-	2.5	0.1	0.3	0.3	0.3	0.8	0.1	4.1	0.4	0.3	-	0.4	-	1.8	0.3	1.8	1.8	
	看(看護師である/だった)	1.6	2.7	1.6	5.5	1.0	1.2	-	-	5.7	3.8	2.9	10.3	-	0.4	0.7	0.5	0.1	0.3	0.1	4.1	3.1	3.4	2.6	1.4	1.4	2.8	2.8	2.8	2.8	
	農(農業をしている/していた)	1.5	4.9	1.3	5.5	6.1	4.8	9.5	9.8	3.8	-	2.9	-	2.5	1.1	2.2	1.5	1.8	2.3	0.6	0.7	0.7	0.5	1.1	1.3	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	
	い(いる側として登録している/して)	0.8	4.0	0.6	4.4	6.1	2.4	-	-	1.9	1.9	2.9	-	17.5	1.1	0.1	-	0.3	0.1	0.4	0.6	0.8	1.1	0.9	0.9	-	-	-	-	-	
	フ(ファミリーサポート※に援助す)	0.3	2.1	0.2	4.4	1.0	1.2	4.8	3.9	1.9	1.9	-	-	2.5	0.1	0.1	-	0.3	0.3	0.6	0.3	0.3	0.1	0.1	0.3	5.2	12.1	6.4	6.4	6.4	
	宗(宗教家である/だった(教会の))	0.3	8.6	3.5	8.8	9.2	6.0	17.5	13.7	5.7	5.7	5.9	3.4	7.5	1.9	3.6	2.5	3.4	4.4	2.3	3.6	2.9	4.4	4.4	5.2	12.1	6.4	6.4	6.4	6.4	
	宗(宗教を信仰している/していた)	3.8	8.6	3.5	8.8	9.2	6.0	17.5	13.7	5.7	5.7	5.9	3.4	7.5	1.9	3.6	2.5	3.4	4.4	2.3	3.6	2.9	4.4	4.4	5.2	12.1	6.4	6.4	6.4	6.4	
	あ(あてはまるものはない)	80.7	62.2	81.9	59.3	56.1	63.9	60.3	62.7	66.0	71.7	70.6	62.1	50.0	85.7	78.5	82.7	77.8	83.0	82.5	82.4	83.0	82.3	81.8	81.3	69.0	66.1	66.1	66.1	66.1	66.1

■職業・経歴（SQ2.排他条件/同居の方）

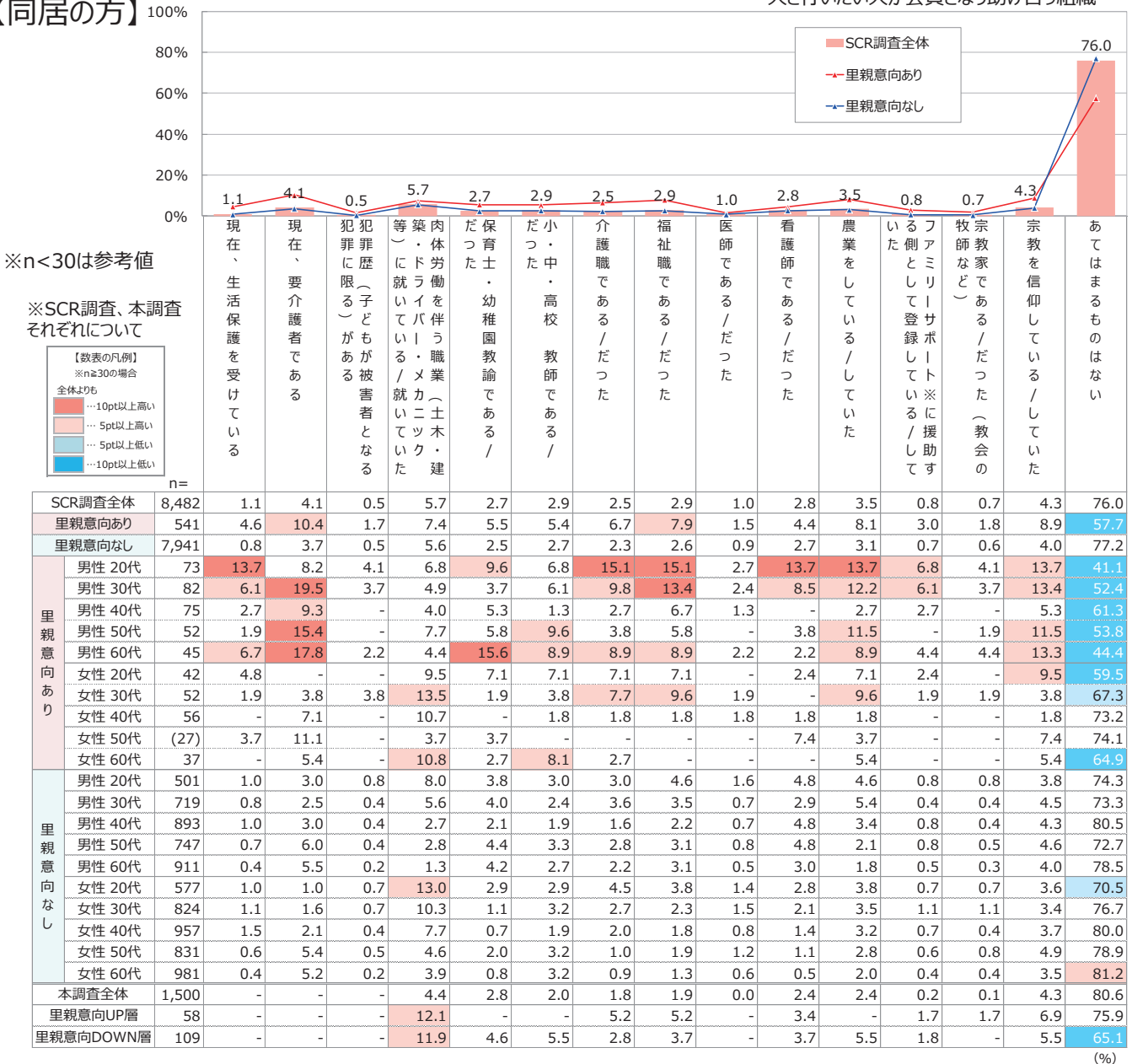
事前調査 全体

事前調査では、『里親意向あり』は『里親意向なし』に比べ同居人に「福祉職」や「要介護者」が多く、「農業従事者」や「宗教を信仰している/していた」人もやや多い。

SQ2-2.あなたと同居されている方について、あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答_表形式）

※ファミリーサポート・・・地域において育児や介護を援助を受けたい人と行いたい人が会員となり助け合う組織

【同居の方】



■意識・イメージ

(Q30.自分自身/生活に対する意識・子育て観)

本調査 全体

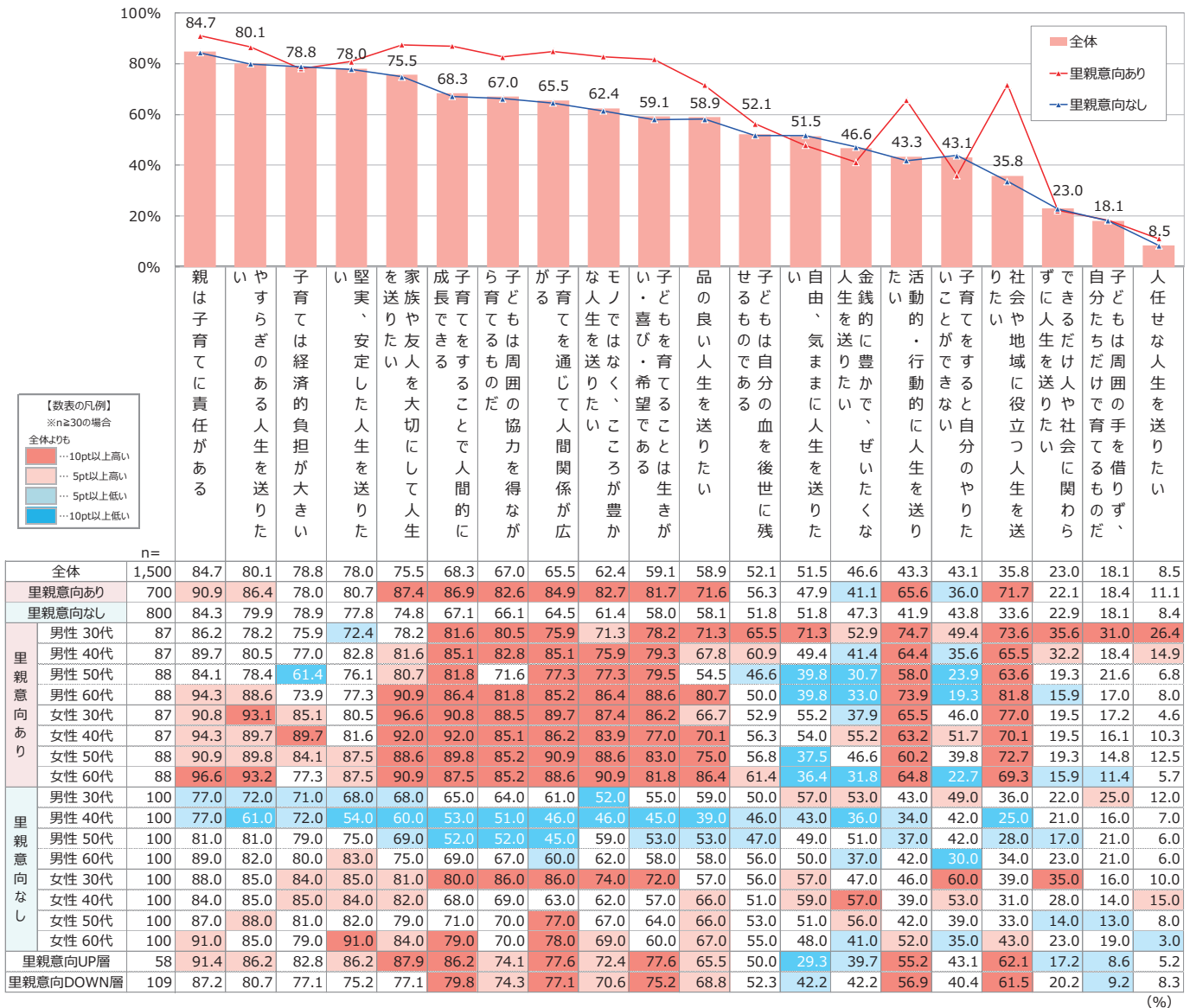
本調査では、『里親意向あり』は『里親意向なし』に対し、「社会や地域に役立つ人生を送りたい」のほか「子どもを育てることは生きがい・喜び・希望である」「活動的・行動的に人生を送りたい」などで大きく上回る。

『里親意向なし_女性 30代』で「子育てをすることで人間に成長できる」が80.0%、「子どもは周囲の協力を得ながら育てるものだ」が86.0%、「子育てを通じて人間関係が広がる」が86.0%、「モノではなく、こころが豊かな人生を送りたい」が74.0%、「子どもを育てることは生きがい・喜び・希望である」が72.0%で高めである点が特徴的である。

Q30.あなたの生活に対する意識についてうかがいます。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。(単一回答_表形式)

※スコアは「あてはまる」+「ややあてはまる」

※全体の降順ソート



■意識・イメージ（SQ4.「里親」に対するイメージ）

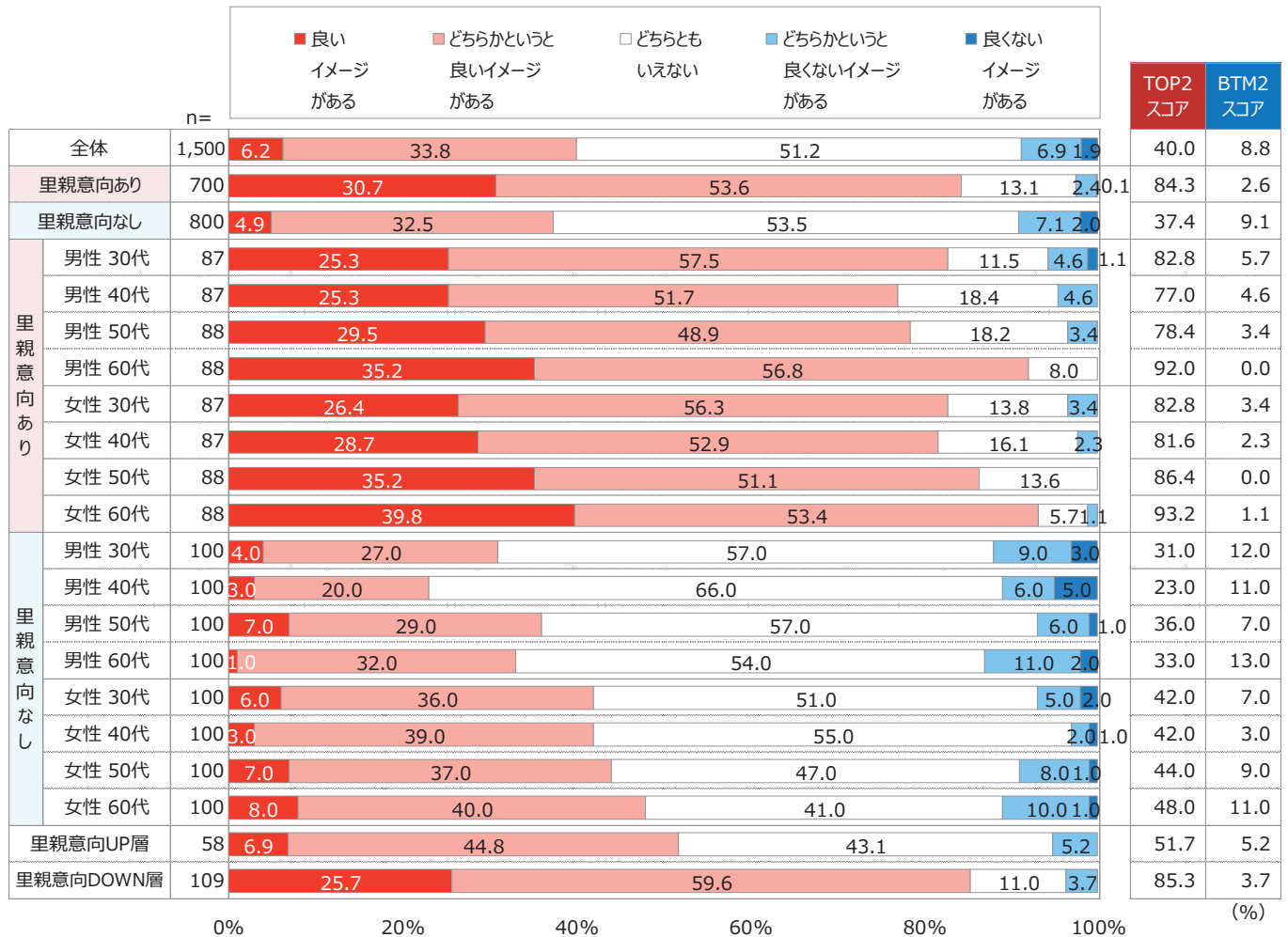
本調査 全体

本調査では、里親に対するポジティブイメージ（「良いイメージがある」+「どちらかという良いイメージがある」）は、『里親意向あり』が『里親意向なし』を大きく上回る。

『里親意向あり』を性×年代別でみると、『里親意向あり_男女 60代』でポジティブイメージが特に高い。『里親意向なし』を性×年代別でみると、女性は高年層ほどポジティブイメージが高まる。

SQ4.あなたは「里親」という言葉を聞いた時に、人の里親についてどのようなイメージを持ちますか。
最も近いものを一つお選びください。（単一回答_表形式）

※TOP2・・・「良いイメージがある」+「どちらかといえば良いイメージがある」
※BOTTOM2・・・「良くないイメージがある」+「どちらかといえば良くないイメージがある」



■意識・イメージ

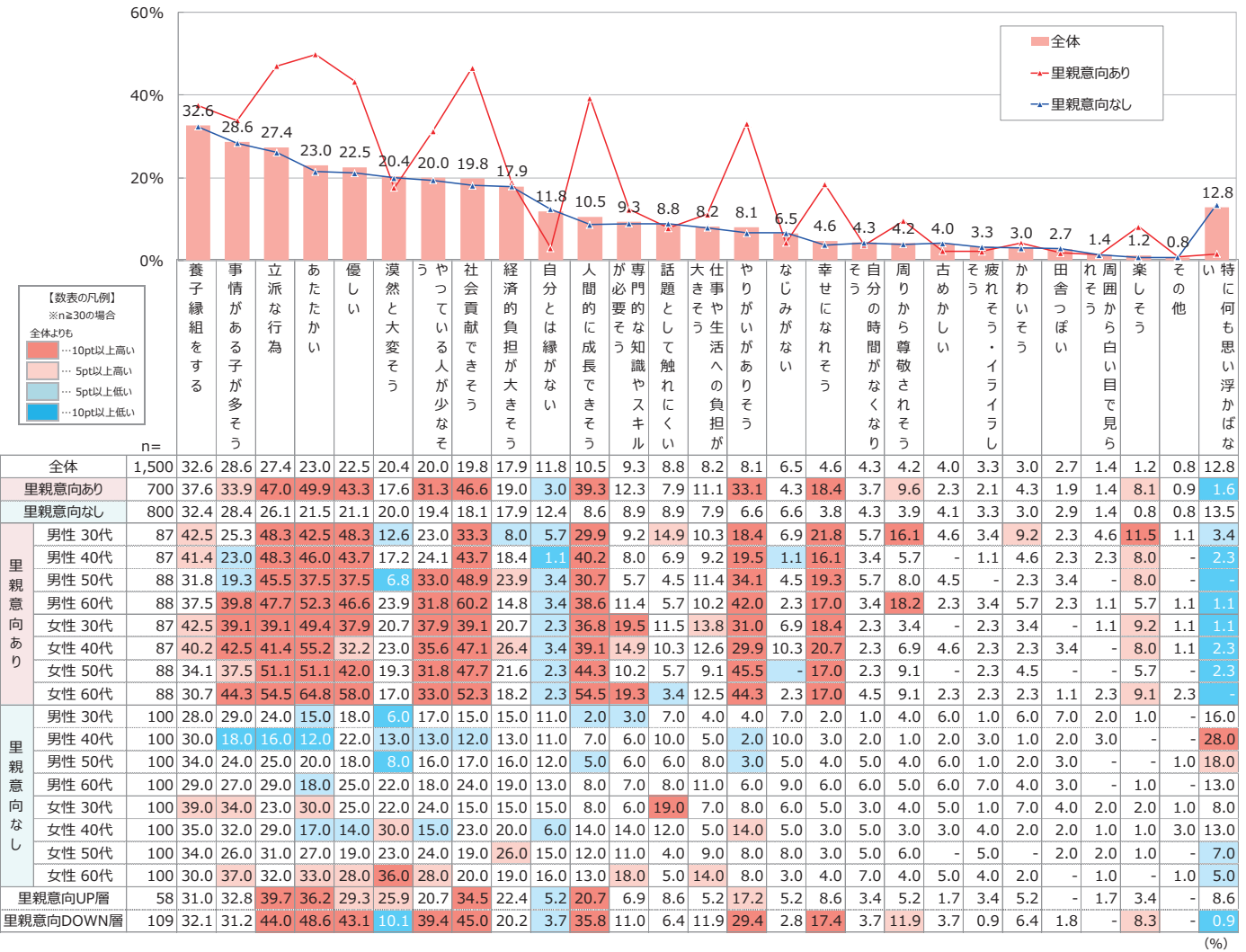
(SQ5.「里親」という言葉に対するイメージ詳細)

本調査 全体

本調査では、『里親意向あり』は『里親意向なし』に対し、特に「人間的に成長できそう」「社会貢献できそう」「あたたかい」「やりがいがありそう」「優しい」「立派な行為」で大きく上回る。
『里親意向なし_女性 30代』で「あたたかい」が30.0%でやや高めである。

SQ5.あなたは「里親」という言葉を聞いた時に、どのようなことを思い浮かべますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

※全体の降順ソート



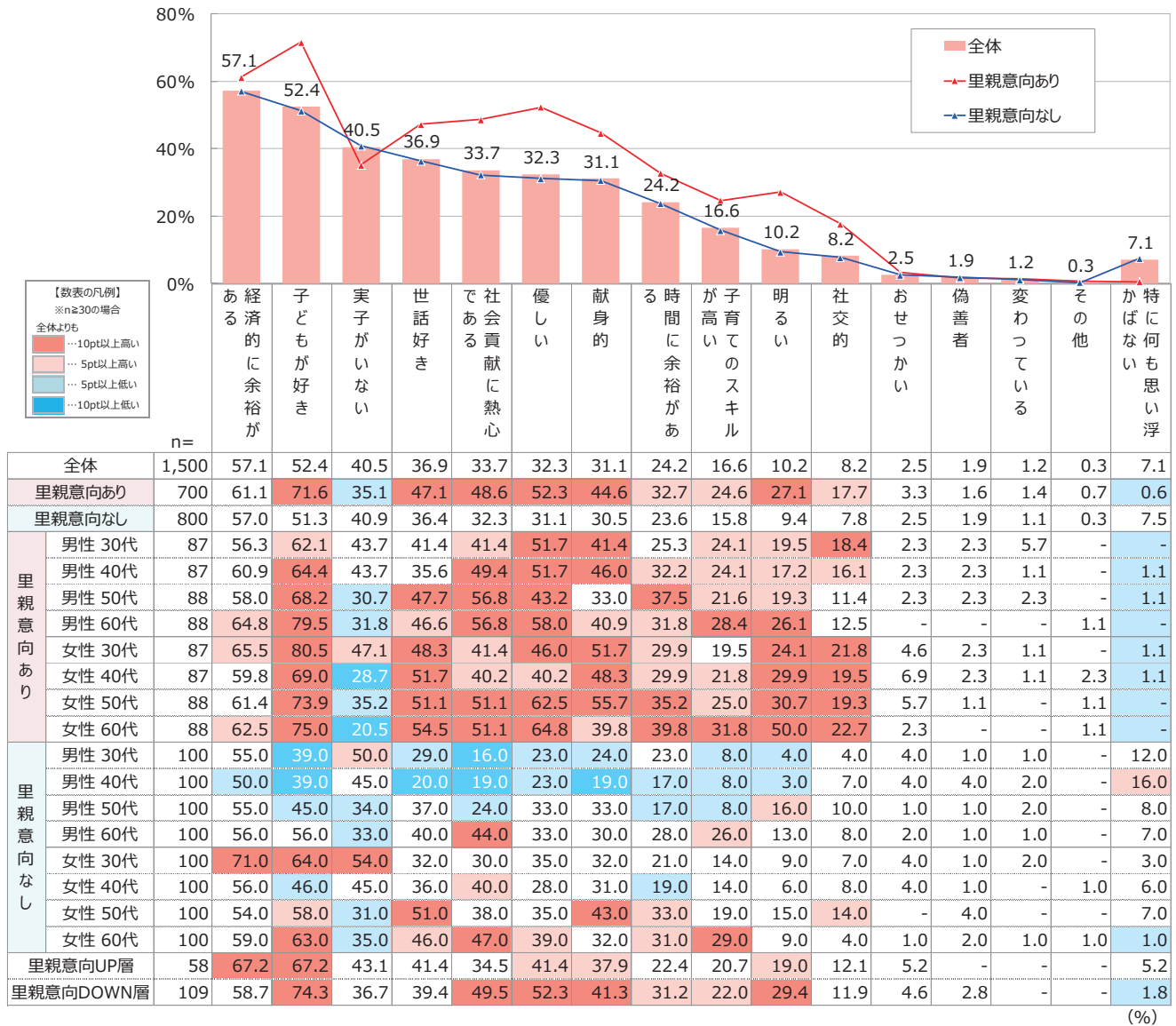
■意識・イメージ (Q1.「里親をする人」のイメージ)

本調査 全体

本調査では、『里親意向あり』は『里親意向なし』に対し、特に「優しい」「子どもが好き」「明るい」「社会貢献に熱心である」「献身的」などで大きく上回る。『里親意向なし_女性 30代』で「経済的に余裕がある」が71.0%、「子どもが好き」が64.0%、のほか、「実子がない」が54.0%で高めである点が注目される。

Q1. 「里親をする人」はどのような人だと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

※全体の降順ソート



■意識・イメージ（Q2.「里親に委託される子ども」のイメージ）

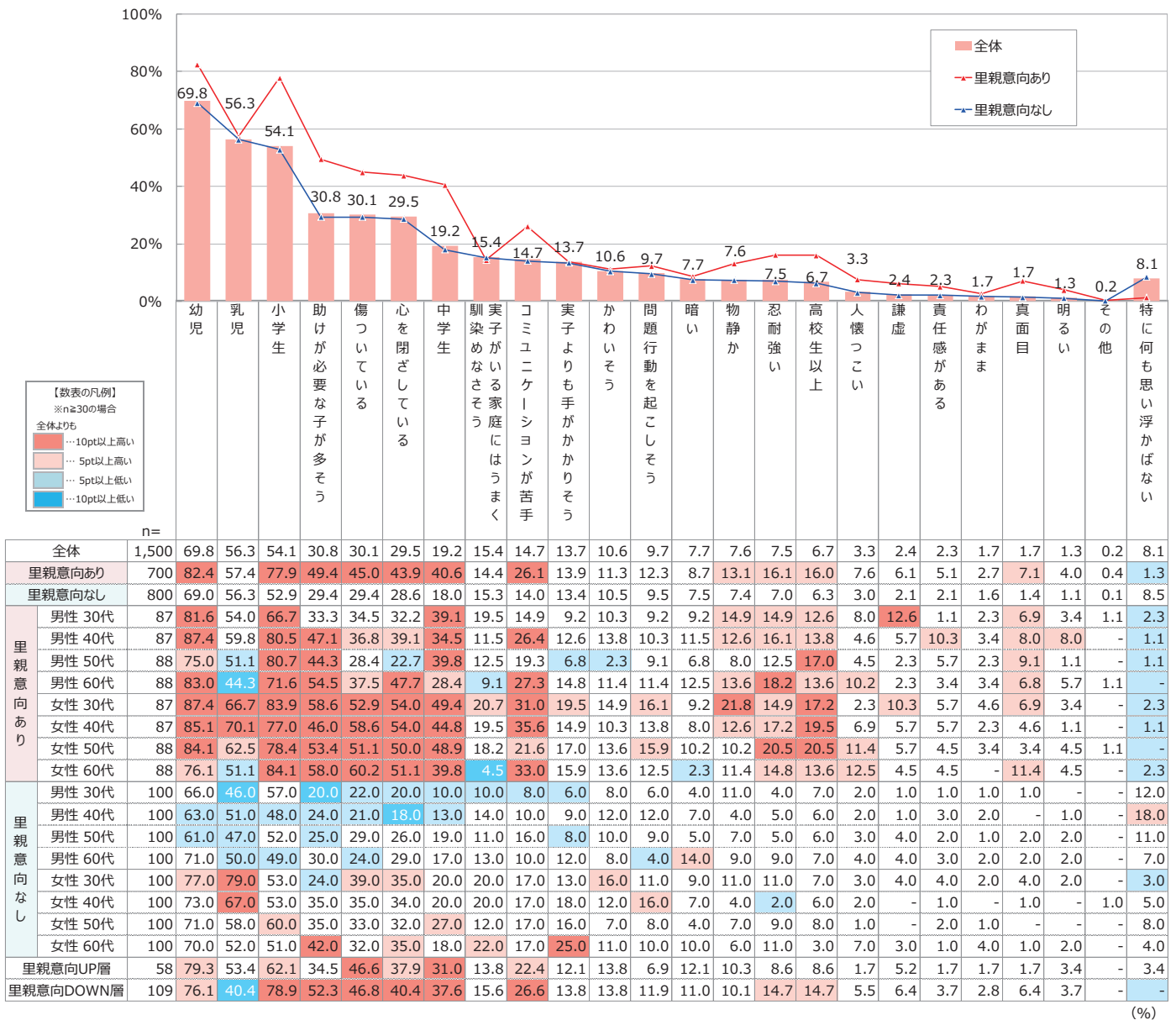
本調査 全体

本調査では、『里親意向あり』は『里親意向なし』に対し、特に「小学生」「中学生」「助けが必要な子が多そう」「傷ついている」「心を閉ざしている」などのイメージで大きく上回る。

『里親意向なし_女性 30代』で「幼児」が77.0%、「乳児」が79.0%、のほか「傷ついている」が39.0%、「心を閉ざしている」が35.0%、「かわいそう」が16.0%などがやや高めである。

Q2.「里親に委託される子ども」のイメージとして、あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

※全体の降順ソート



<コラム4> 「里親」に関する意識・実態調査報告書から学ぶこと

特定非営利活動法人キーアセット代表 渡邊守

社会的養護のなかにいる子どもと若者のために、育ちの場の選択肢が増える可能性が示された、ポジティブな調査結果です。潜在的な里親の候補者数は、現在の社会的養護の質の向上をめざすに十分です。

この報告書から、主に2つの学ぶべきことがあります。ひとつは、里親の新しいなり手は十分に確保できるポテンシャルがあること、もうひとつは、これまでの里親制度の促進の手法には見直しの必要性がある、ということです。

まず、この調査結果によって、先入観で里親のなり手の少なさを嘆いていた過去に終止符を打つことができます。これは画期的なことです。なり手は確実にいるのです。そして、これからは子どものために候補者を見つけだし、登録まで導き、養育につながるまえから最後まで、里親を孤立させないソーシャルワークの担い手が、質量ともに求められます。

次に、これまでの里親制度促進も見直す必要があることがわかります。過去何十年も“里親を知ってください”と全国各地で里親普及啓発を繰り返してきましたが、今回の結果を見る限り、それが成果につながっているのかは不明です。多くの人々が、未だに里親について情報をもっていません。このことから、規模や手法について見直しが必要なことは明らかです。また、里親の候補者の獲得についても、これまでのアプローチが的確だったとは言えません。里親になる意向のあるグループのトップ3が、30代女性、40代女性、そして40代男性であることや、そのグループの7割以上に実子がいることなどを見る限り、現在子どもの養育を担ってくださっている里親家庭の主流グループとは異なります。調査で明らかになったメインターゲットグループから、期待される成果が出ていないということからも、推進の戦略に見直しが必要であることは間違いないでしょう。里親になってみたい理由のトップ3；「家庭を必要とする子どもを助けたい」「子どもが好きだから」「社会貢献がしたいから」；をみても、里親になるという“生き方”が選択肢として、多くの（特に30代からの若い世帯）世帯に選ばれるような戦略が必要になります。社会に必要とされる生き方やポジティブな生き方として里親を理解してもらおうと同時に「里親のなりかた」についてもターゲットグループに情報を届けることも、同じく重要であることがわかります。

今回の調査結果は、国の里親制度促進をより力づけるものでもあります。だからこそ、里親養育の質を高める働き手、ソーシャルワークの担い手をどう確保していくのか、実践者としてどれだけの機関と専門職が立ち上がるのか、が鍵になります。『収穫は多いが、働き手は少ない』といった嘆きは、子どもの前では言い訳にもならないことは言うまでもないのでから。

5章 施策の里親意向への影響性

【提示素材①】現状の里親制度詳細

以下の説明文を提示した上で、再度、里親実施意向を質問した
(次項参照)

<p><里親制度について></p> <ol style="list-style-type: none">1. 他人の子を家庭で育てる制度である2. 家庭環境の中で、子どもの健全な成長を促すための制度である3. 養子縁組（戸籍上、自分の子どもとする制度）とは異なる4. 行政に里親登録される <p><里親制度の現状について></p> <ol style="list-style-type: none">5. 日本には、里親を必要としている子どもが3万人いる6. 世界と比べて日本は里親不足が深刻である <p><里親になる条件について></p> <ol style="list-style-type: none">7. 経済的に裕福でなくても里親になれる8. 結婚していなくても、大人が2人以上住んでいれば里親になれる9. 共働きでも里親になれる10. 実子がいても里親になれる11. 研修を受ける必要がある（2日～4日程度） <p><子どもを預かる期間について></p> <ol style="list-style-type: none">12. 子どもを預かる期間は、最長で子どもが18歳になるまでである（延長するケースもある）13. 子どもを預かる期間が2か月以内などの短期間でも里親になれる <p><金銭的なサポートについて></p> <ol style="list-style-type: none">14. [養育費]子どもの生活費などの養育費が行政から支給される（月約5万円）15. [里親手当①]養育費以外に、里親手当も支給される（月約8万円）16. [里親手当②]障がいのある子どもを受け入れるなどの専門的な里親には、里親手当が+5万円増額されることがある <p><子どもを預かる時のサポートについて></p> <ol style="list-style-type: none">17. マッチングの際、子どもの年齢・性別など相談に応じてくれる18. 受け入れの前に、基本的に子供と一定の交流期間がある <p><里親になっている間のサポートについて></p> <ol style="list-style-type: none">19. 必要に応じて休みをとるための援助制度がある（他の里親や施設に預けられる等）20. NPO/NGO/行政などの支援を受けられることもある	<p>現状の内容</p>
--	--------------

■ Q12.現状ある里親の支援制度提示後 里親実施意向

本調査 全体

本調査全体（n=1,500）の【現状ある里親の支援制度提示後】の里親実施意向率をみると、「里親になってみたいとは思わない」が最も高く54.8%、次いで「どちらともいえない」が19.1%、「どちらかという、里親になってみたいとは思わない」が18.9%、「どちらかという、里親になってみたい」が6.3%、「里親になってみたい」が0.9%である。

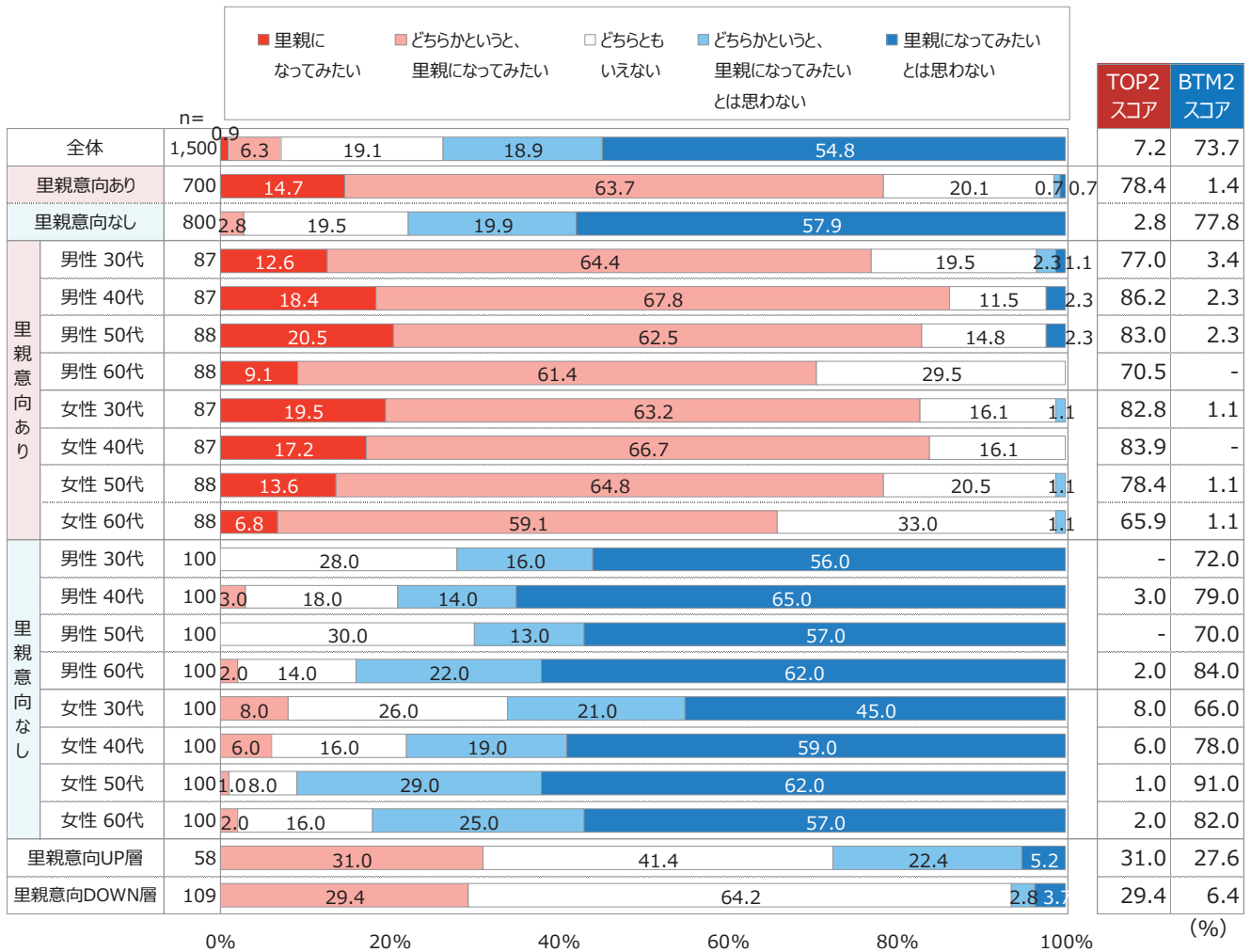
TOP2（「里親になってみたい」+「どちらかという、里親になってみたい」）のスコアをみると、『里親意向あり』で78.4%、『里親意向なし』はわずか2.8%にとどまる。

『里親意向あり』を性×年代別で比較すると、『男性40代』で里親意向率が86.2%と特に高く、次いで『女性40代』が83.9%で続く。

『里親意向なし』を性×年代別で比較すると、『女性50代』で里親非意向率が91.0%と最も高く、次いで『男性60代』が84.0%で続く。

Q12.改めてお聞きします。あなたは、「里親」をやってみたいと思いますか。
上記の文章をよく読み、あてはまるもの一つお選びください。(単一回答)

※TOP2・・・「里親になってみたい」+「どちらかという、里親になってみたい」
※BOTTOM2・・・「どちらかという、里親になってみたいと思わない」+「里親になってみたいと思わない」



■ Q13.現状ある里親の支援制度の詳細認知

本調査 全体

本調査全体 (n=1,500) の【現状ある里親の支援制度】の詳細認知率をTOP2 (「知っていた」+「なんとなく知っていた」) のスコアでみると、「他人の子を家庭で育てる制度である」が86.3%で最も高く、次いで「家庭環境の中で、子どもの健全な成長を促すための制度である」が70.5%で続く。「養子縁組 (戸籍上、自分の子どもとする制度) とは異なる」は52.4%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』をTOP2 (「知っていた」+「なんとなく知っていた」) のスコアで比較すると、項目全般に『里親意向あり』が『里親意向なし』を大きく上回る。

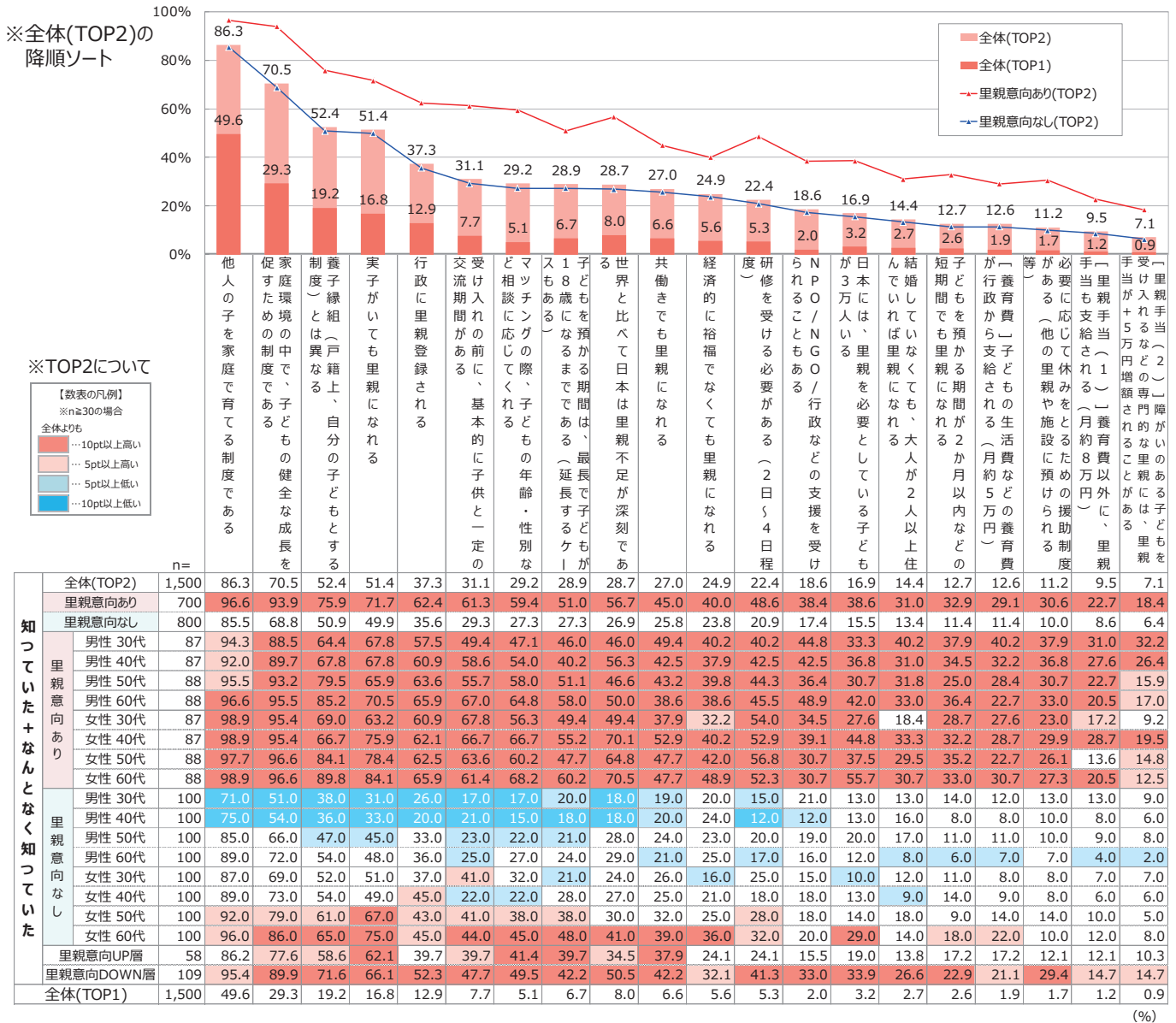
『里親意向あり』を性×年代別で比較すると、「養子縁組 (戸籍上、自分の子どもとする制度) とは異なる」は『女性60代』で89.8%と最も高い。

『里親意向なし』を性×年代別で比較すると、『女性60代』で概ね項目全般にスコアが高い。

Q13.里親について、どの程度知っていましたか。あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。(単一回答_表形式)

※TOP2・・・「知っていた」+「なんとなく知っていた」

※TOP1・・・「知っていた」



■ Q13.現状ある里親の支援制度の詳細認知(1/7)

本調査 全体

【他人の子を家庭で育てる制度である】の詳細認知率を本調査全体（n = 1,500）でみると、「知っていた」が49.6%、「なんとなく知っていた」が36.8%、「知らなかった」が13.7%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では『女性60代』81.8%が最も高く、『里親意向なし』においても『女性60代』62.0%が最も高い。

【家庭環境の中で、子どもの健全な成長を促すための制度である】の詳細認知率を本調査全体（n = 1,500）でみると、「知っていた」が29.3%、「なんとなく知っていた」が41.2%、「知らなかった」が29.5%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では『男性60代』69.3%と『女性60代』67.0%が高く、『里親意向なし』では『女性60代』41.0%が最も高い。

【養子縁組（戸籍上、自分の子どもとする制度）とは異なる】の詳細認知率を本調査全体（n = 1,500）でみると、「知っていた」が19.2%、「なんとなく知っていた」が33.2%、「知らなかった」が47.6%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では『男性60代』53.4%と『女性60代』55.7%が高く、『里親意向なし』では『女性60代』27.0%が特に高い。

Q13S1～S3.里親について、どの程度知っていましたか。あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。（単一回答_表形式）

※TOP2・・・ 「知っていた」+「なんとなく知っていた」		他人の子を家庭で育てる制度である			家庭環境の中で、子どもの健全な成長を促すための制度である			養子縁組（戸籍上、自分の子どもとする制度）とは異なる			TOP2スコア			
	n=	知って	なんとなく知っていた	知らなかった	知って	なんとなく知っていた	知らなかった	知って	なんとなく知っていた	知らなかった	知って	なんとなく知っていた		
全体	1,500	49.6	36.8	13.7	29.3	41.2	29.5	19.2	33.2	47.6	86.3	70.5	52.4	
里親意向あり	700	72.4	24.1	3.4	59.4	34.4	6.1	41.9	34.0	24.1	96.6	93.9	75.9	
里親意向なし	800	48.1	37.4	14.5	27.4	41.4	31.3	17.8	33.1	49.1	85.5	68.8	50.9	
里親意向あり	男性 30代	87	54.0	40.2	5.7	47.1	41.4	11.5	31.0	33.3	35.6	94.3	88.5	64.4
	男性 40代	87	66.7	25.3	8.0	54.0	35.6	10.3	31.0	36.8	32.2	92.0	89.7	67.8
	男性 50代	88	65.9	29.5	4.5	48.9	44.3	6.8	35.2	44.3	20.5	95.5	93.2	79.5
	男性 60代	88	79.5	17.0	3.4	69.3	26.1	4.5	53.4	31.8	14.8	96.6	95.5	85.2
	女性 30代	87	78.2	20.7	1.1	59.8	35.6	4.6	40.2	28.7	31.0	98.9	95.4	69.0
	女性 40代	87	78.2	20.7	1.1	60.9	34.5	4.6	36.8	29.9	33.3	98.9	95.4	66.7
	女性 50代	88	75.0	22.7	2.3	68.2	28.4	3.4	51.1	33.0	15.9	97.7	96.6	84.1
	女性 60代	88	81.8	17.0	1.1	67.0	29.5	3.4	55.7	34.1	10.2	98.9	96.6	89.8
里親意向なし	男性 30代	100	34.0	37.0	29.0	15.0	36.0	49.0	8.0	30.0	62.0	71.0	51.0	38.0
	男性 40代	100	30.0	45.0	25.0	15.0	39.0	46.0	7.0	29.0	64.0	75.0	54.0	36.0
	男性 50代	100	41.0	44.0	15.0	27.0	39.0	34.0	15.0	32.0	53.0	85.0	66.0	47.0
	男性 60代	100	48.0	41.0	11.0	28.0	44.0	28.0	24.0	30.0	46.0	89.0	72.0	54.0
	女性 30代	100	55.0	32.0	13.0	28.0	41.0	31.0	15.0	37.0	48.0	87.0	69.0	52.0
	女性 40代	100	55.0	34.0	11.0	33.0	40.0	27.0	20.0	34.0	46.0	89.0	73.0	54.0
	女性 50代	100	60.0	32.0	8.0	32.0	47.0	21.0	26.0	35.0	39.0	92.0	79.0	61.0
	女性 60代	100	62.0	34.0	4.0	41.0	45.0	14.0	27.0	38.0	35.0	96.0	86.0	65.0
里親意向UP層	58	62.1	24.1	13.8	46.6	31.0	22.4	29.3	29.3	41.4	86.2	77.6	58.6	
里親意向DOWN層	109	66.1	29.4	4.6	48.6	41.3	10.1	37.6	33.9	28.4	95.4	89.9	71.6	

■ Q13.現状ある里親の支援制度の詳細認知(2/7)

本調査 全体

【行政に里親登録される】の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）でみると、「知っていた」が12.9%、「なんとなく知っていた」が24.4%、「知らなかった」が62.7%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では『女性60代』42.0%が最も高く、『里親意向なし』においても『女性60代』18.0%が最も高い。

【日本には、里親を必要としている子どもが3万人いる】の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）でみると、「知っていた」が3.2%、「なんとなく知っていた」が13.7%、「知らなかった」が83.1%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では『男性60代』15.9%が最も高く、『里親意向なし』では各性年代で0.0%～5.0%と、おしなべて非常に低い。

【世界と比べて日本は里親不足が深刻である】の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）でみると、「知っていた」が8.0%、「なんとなく知っていた」が20.7%、「知らなかった」が71.3%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では『女性40代』34.5%と『女性60代』33.0%が高く、『里親意向なし』では『女性60代』18.0%が特に高い。

Q13S4～S6.里親について、どの程度知っていましたか。あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。(単一回答_表形式)

※TOP2・・・
「知っていた」+「なんとなく知っていた」

	n=	行政に里親登録される			TOP2 スコア	日本には、里親を必要と している子どもが3万人いる			TOP2 スコア	世界と比べて日本は 里親不足が深刻である			TOP2 スコア	
		知って いた	なんとなく 知っていた	知らな かった		知って いた	なんとなく 知っていた	知らな かった		知って いた	なんとなく 知っていた	知らな かった		
全体	1,500	12.9	24.4	62.7	37.3	3.2	13.7	83.1	16.9	8.0	20.7	71.3	28.7	
里親意向あり	700	30.1	32.3	37.6	62.4	12.3	26.3	61.4	38.6	24.7	32.0	43.3	56.7	
里親意向なし	800	11.9	23.8	64.4	35.6	2.8	12.8	84.5	15.5	6.9	20.0	73.1	26.9	
里親意向あり	男性 30代	87	24.1	33.3	42.5	57.5	9.2	24.1	66.7	33.3	16.1	29.9	54.0	46.0
	男性 40代	87	23.0	37.9	39.1	60.9	12.6	24.1	63.2	36.8	21.8	34.5	43.7	56.3
	男性 50代	88	28.4	35.2	36.4	63.6	13.6	17.0	69.3	30.7	17.0	29.5	53.4	46.6
	男性 60代	88	33.0	33.0	34.1	65.9	15.9	26.1	58.0	42.0	23.9	26.1	50.0	50.0
	女性 30代	87	28.7	32.2	39.1	60.9	11.5	16.1	72.4	27.6	27.6	21.8	50.6	49.4
	女性 40代	87	31.0	31.0	37.9	62.1	12.6	32.2	55.2	44.8	34.5	35.6	29.9	70.1
	女性 50代	88	30.7	31.8	37.5	62.5	10.2	27.3	62.5	37.5	23.9	40.9	35.2	64.8
	女性 60代	88	42.0	23.9	34.1	65.9	12.5	43.2	44.3	55.7	33.0	37.5	29.5	70.5
里親意向なし	男性 30代	100	10.0	16.0	74.0	26.0	4.0	9.0	87.0	13.0	5.0	13.0	82.0	18.0
	男性 40代	100	6.0	14.0	80.0	20.0	1.0	12.0	87.0	13.0	1.0	17.0	82.0	18.0
	男性 50代	100	11.0	22.0	67.0	33.0	5.0	15.0	80.0	20.0	4.0	24.0	72.0	28.0
	男性 60代	100	13.0	23.0	64.0	36.0	4.0	8.0	88.0	12.0	6.0	23.0	71.0	29.0
	女性 30代	100	12.0	25.0	63.0	37.0	3.0	7.0	90.0	10.0	6.0	18.0	76.0	24.0
	女性 40代	100	10.0	35.0	55.0	45.0	3.0	10.0	87.0	13.0	9.0	18.0	73.0	27.0
	女性 50代	100	15.0	28.0	57.0	43.0	3.0	14.0	86.0	14.0	6.0	24.0	70.0	30.0
	女性 60代	100	18.0	27.0	55.0	45.0	2.0	27.0	71.0	29.0	18.0	23.0	59.0	41.0
里親意向UP層	58	25.9	13.8	60.3	39.7	3.4	15.5	81.0	19.0	15.5	19.0	65.5	34.5	
里親意向DOWN層	109	14.7	37.6	47.7	52.3	5.5	28.4	66.1	33.9	13.8	36.7	49.5	50.5	

■ Q13.現状ある里親の支援制度の詳細認知(3/7)

本調査 全体

【経済的に裕福でなくても里親になれる】の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）で見ると、「知っていた」が5.6%、「なんとなく知っていた」が19.4%、「知らなかった」が75.1%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では『女性60代』22.7%が最も高く、『里親意向なし』では各性年代で2.0%～8.0%と、おしなべて低い。

【結婚していなくても、大人が2人以上住んでいれば里親になれる】の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）で見ると、「知っていた」が2.7%、「なんとなく知っていた」が11.6%、「知らなかった」が85.6%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では『男性50代』14.8%と『女性40代』13.8%が高く、『里親意向なし』では各性年代で1.0%～5.0%と非常に低い。

【共働きでも里親になれる】の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）で見ると、「知っていた」が6.6%、「なんとなく知っていた」が20.4%、「知らなかった」が73.0%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では『女性40代』23.0%が、『里親意向なし』では『女性60代』11.0%が特に高い。

Q13S7～S9.里親について、どの程度知っていましたか。あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。(単一回答_表形式)

※TOP2・・・
「知っていた」+「なんとなく知っていた」

	n	経済的に裕福でなくても 里親になれる			TOP2 スコア	結婚していなくても、 大人が2人以上 住んでいれば里親になれる			TOP2 スコア	共働きでも里親になれる			TOP2 スコア	
		知って いた	なんとなく 知っていた	知らな かった		知って いた	なんとなく 知っていた	知らな かった		知って いた	なんとなく 知っていた	知らな かった		
全体	1,500	5.6	19.4	75.1	24.9	2.7	11.6	85.6	14.4	5.6	20.4	73.0	27.0	
里親意向あり	700	15.4	24.6	60.0	40.0	11.0	20.0	69.0	31.0	17.6	27.4	55.0	45.0	
里親意向なし	800	5.0	18.8	76.3	23.8	2.3	11.1	86.6	13.4	5.9	19.9	74.3	25.8	
里親意向あり	男性 30代	87	14.9	25.3	59.8	40.2	9.2	31.0	59.8	40.2	14.9	34.5	50.6	49.4
	男性 40代	87	12.6	25.3	62.1	37.9	10.5	20.7	69.0	31.0	17.2	25.3	57.5	42.5
	男性 50代	88	14.8	25.0	60.2	39.8	14.8	17.0	68.2	31.8	14.8	28.4	56.8	43.2
	男性 60代	88	12.5	26.1	61.4	38.6	10.2	22.7	67.0	33.0	18.2	20.5	61.4	38.6
	女性 30代	87	13.8	18.4	67.8	32.2	6.9	11.5	81.6	18.4	17.2	20.7	62.1	37.9
	女性 40代	87	16.1	24.1	59.8	40.2	13.8	19.5	66.7	33.3	23.0	29.9	47.1	52.9
	女性 50代	88	15.9	26.1	58.0	42.0	10.2	19.3	70.5	29.5	17.0	30.7	52.3	47.7
	女性 60代	88	22.7	26.1	51.1	48.9	12.5	18.2	69.3	30.7	18.2	29.5	52.3	47.7
里親意向なし	男性 30代	100	8.0	12.0	80.0	20.0	11.0	87.0	13.0	5.0	14.0	81.0	19.0	
	男性 40代	100	3.0	21.0	76.0	24.0	1.0	15.0	84.0	16.0	2.0	18.0	80.0	20.0
	男性 50代	100	6.0	17.0	77.0	23.0	3.0	14.0	83.0	17.0	4.0	20.0	76.0	24.0
	男性 60代	100	5.0	20.0	75.0	25.0	1.0	7.0	92.0	8.0	4.0	17.0	79.0	21.0
	女性 30代	100	2.0	14.0	84.0	16.0	2.0	10.0	88.0	12.0	6.0	20.0	74.0	26.0
	女性 40代	100	4.0	17.0	79.0	21.0	5.0	4.0	91.0	9.0	9.0	16.0	75.0	25.0
	女性 50代	100	5.0	20.0	75.0	25.0	2.0	16.0	82.0	18.0	6.0	26.0	68.0	32.0
	女性 60代	100	7.0	29.0	64.0	36.0	2.0	12.0	86.0	14.0	11.0	28.0	61.0	39.0
里親意向UP層	58	6.9	17.2	75.9	24.1	5.2	8.6	86.2	13.8	13.8	24.1	62.1	37.9	
里親意向DOWN層	109	7.3	24.8	67.9	32.1	4.6	22.0	73.4	26.6	11.9	30.3	57.8	42.2	

■ Q13.現状ある里親の支援制度の詳細認知(4/7)

本調査 全体

【実子がいても里親になれる】の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）で見ると、「知っていた」が16.8%、「なんとなく知っていた」が34.6%、「知らなかった」が48.6%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『女性60代』48.9%が最も高く、『里親意向なし』においても『女性60代』32.0%が最も高い。

【研修を受ける必要がある（2日～4日程度）】の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）で見ると、「知っていた」が5.3%、「なんとなく知っていた」が17.1%、「知らなかった」が77.6%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では『女性30代』24.1%が最も高く、『里親意向なし』では『女性60代』11.0%が最も高い。

【子どもを預かる期間は、最長で子どもが18歳になるまでである（延長するケースもある）】の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）で見ると、「知っていた」が6.7%、「なんとなく知っていた」が22.2%、「知らなかった」が71.1%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では『女性30代』24.1%、『女性40代』25.3%、『女性60代』26.1%が高く、『里親意向なし』では『女性60代』14.0%が特に高い。

Q13S10～S12.里親について、どの程度知っていましたか。あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。(単一回答_表形式)

※TOP2・・・
「知っていた」+「なんとなく知っていた」

	n=	実子がいても里親になれる			TOP2 スコア	研修を受ける必要がある (2日～4日程度)			TOP2 スコア	子どもを預かる期間は、最長で 子どもが18歳になるまでである (延長するケースもある)			TOP2 スコア	
		知って いた	なんとなく 知っていた	知らな かった		知って いた	なんとなく 知っていた	知らな かった		知って いた	なんとなく 知っていた	知らな かった		
全体	1,500	16.8	34.6	48.6	51.4	5.3	17.1	77.6	22.4	6.7	22.2	71.1	28.9	
里親意向あり	700	36.0	35.7	28.3	71.7	16.6	32.0	51.4	48.6	19.0	32.0	49.0	51.0	
里親意向なし	800	15.5	34.4	50.1	49.9	4.5	16.4	79.1	20.9	5.9	21.4	72.8	27.3	
里親意向あり	男性 30代	87	34.5	33.3	32.2	67.8	11.5	28.7	59.8	40.2	14.9	31.0	54.0	46.0
	男性 40代	87	28.7	39.1	32.2	67.8	11.5	31.0	57.5	42.5	11.5	28.7	59.8	40.2
	男性 50代	88	26.1	39.8	34.1	65.9	20.5	23.9	55.7	44.3	17.0	34.1	48.9	51.1
	男性 60代	88	35.2	35.2	29.5	70.5	13.6	31.8	54.5	45.5	17.0	40.9	42.0	58.0
	女性 30代	87	41.4	21.8	36.8	63.2	24.1	29.9	46.0	54.0	24.1	25.3	50.6	49.4
	女性 40代	87	35.6	40.2	24.1	75.9	18.4	34.5	47.1	52.9	25.3	29.9	44.8	55.2
	女性 50代	88	37.5	40.9	21.6	78.4	14.8	42.0	43.2	56.8	15.9	31.8	52.3	47.7
	女性 60代	88	48.9	35.2	15.9	84.1	18.2	34.1	47.7	52.3	26.1	34.1	39.8	60.2
里親意向なし	男性 30代	100	11.0	20.0	69.0	31.0	12.0	85.0	15.0	60.0	14.0	80.0	20.0	30.0
	男性 40代	100	4.0	29.0	67.0	33.0	11.0	88.0	12.0	20.0	15.0	82.0	18.0	30.0
	男性 50代	100	12.0	33.0	55.0	45.0	18.0	80.0	20.0	20.0	19.0	79.0	21.0	20.0
	男性 60代	100	13.0	35.0	52.0	48.0	13.0	83.0	17.0	30.0	21.0	76.0	24.0	30.0
	女性 30代	100	17.0	34.0	49.0	51.0	6.0	19.0	75.0	25.0	6.0	15.0	79.0	21.0
	女性 40代	100	17.0	32.0	51.0	49.0	5.0	13.0	82.0	18.0	9.0	19.0	72.0	28.0
	女性 50代	100	18.0	49.0	33.0	67.0	4.0	24.0	72.0	28.0	4.0	34.0	62.0	38.0
	女性 60代	100	32.0	43.0	25.0	75.0	11.0	21.0	68.0	32.0	14.0	34.0	52.0	48.0
里親意向UP層	58	34.5	27.6	37.9	62.1	10.1	13.8	75.9	24.1	17.2	22.4	60.3	39.7	
里親意向DOWN層	109	28.4	37.6	33.9	66.1	7.3	33.9	58.7	41.3	10.1	32.1	57.8	42.2	

■ Q13.現状ある里親の支援制度の詳細認知(5/7)

本調査 全体

【子どもを預かる期間が2か月以内などの短期間でも里親になれる】の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）でみると、「知っていた」が2.6%、「なんとなく知っていた」が10.1%、「知らなかった」が87.3%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では各性年代で6.8%～12.6%、『里親意向なし』では各性年代で0.0%～4.0%と、いずれもおしなべて低い。

[[養育費]子どもの生活費などの養育費が行政から支給される（月約5万円）]の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）でみると、「知っていた」が1.9%、「なんとなく知っていた」が10.7%、「知らなかった」が87.4%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では各性年代で4.6%～11.5%、『里親意向なし』では各性年代で0.0%～3.0%と、いずれもおしなべて低い。

[[里親手当(1)]養育費以外に、里親手当も支給される（月約8万円）]の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）でみると、「知っていた」が1.2%、「なんとなく知っていた」が8.2%、「知らなかった」が90.5%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では各性年代で3.4%～11.5%、『里親意向なし』では各性年代で0.0%～2.0%と、いずれもおしなべて低い。

Q13S13～S15.里親について、どの程度知っていましたか。あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。(単一回答_表形式)

※TOP2・・・
「知っていた」+「なんとなく知っていた」

	n	子どもを預かる期間が2か月以内などの短期間でも里親になれる			TOP2スコア	[養育費]子どもの生活費などの養育費が行政から支給される(月約5万円)			TOP2スコア	[里親手当(1)]養育費以外に、里親手当も支給される(月約8万円)			TOP2スコア	
		知っていた	なんとなく知っていた	知らなかった		知っていた	なんとなく知っていた	知らなかった		知っていた	なんとなく知っていた	知らなかった		
全体	1,500	2.6	10.1	87.3	12.7	1.9	10.7	87.4	12.6	1.2	8.2	90.5	9.5	
里親意向あり	700	10.1	22.7	67.1	32.9	7.9	21.3	70.9	29.1	6.3	16.4	77.3	22.7	
里親意向なし	800	2.1	9.3	88.6	11.4	1.5	9.9	88.6	11.4	0.9	7.8	91.4	8.6	
里親意向あり	男性 30代	87	10.3	27.6	62.1	37.9	9.2	31.0	59.8	40.2	11.5	19.5	69.0	31.0
	男性 40代	87	10.3	24.1	65.5	34.5	11.5	20.7	67.8	32.2	6.9	20.7	72.4	27.6
	男性 50代	88	10.2	14.8	75.0	25.0	6.8	21.6	71.6	28.4	5.7	17.0	77.3	22.7
	男性 60代	88	8.0	28.4	63.6	36.4	6.8	15.9	77.3	22.7	5.7	14.8	79.5	20.5
	女性 30代	87	11.5	17.2	71.3	28.7	10.3	17.2	72.4	27.6	6.9	10.3	82.8	17.2
	女性 40代	87	12.6	19.5	67.8	32.2	4.6	24.1	71.3	28.7	6.9	21.8	71.3	28.7
	女性 50代	88	6.8	28.4	64.8	35.2	5.7	17.0	77.3	22.7	3.4	10.2	86.4	13.6
	女性 60代	88	11.4	21.6	67.0	33.0	8.0	22.7	69.3	30.7	3.4	17.0	79.5	20.5
里親意向なし	男性 30代	100	4.0	10.0	86.0	14.0	12.0	88.0	12.0	13.0	87.0	13.0		
	男性 40代	100	1.0	7.0	92.0	8.0	2.0	6.0	92.0	8.0	1.0	7.0	92.0	8.0
	男性 50代	100	2.0	9.0	89.0	11.0	1.0	10.0	89.0	11.0	1.0	8.0	91.0	9.0
	男性 60代	100	1.0	5.0	94.0	6.0	1.0	6.0	93.0	7.0	1.0	3.0	96.0	4.0
	女性 30代	100	2.0	9.0	89.0	11.0	3.0	5.0	92.0	8.0	2.0	5.0	93.0	7.0
	女性 40代	100	3.0	11.0	86.0	14.0	2.0	7.0	91.0	9.0	1.0	5.0	94.0	6.0
	女性 50代	100	4.0	9.0	91.0	9.0	1.0	13.0	86.0	14.0	1.0	10.0	90.0	10.0
	女性 60代	100	4.0	14.0	82.0	18.0	2.0	20.0	78.0	22.0	1.0	11.0	88.0	12.0
里親意向UP層	58	5.2	12.1	82.8	17.2	3.4	13.8	82.8	17.2	1.7	10.3	87.9	12.1	
里親意向DOWN層	109	3.7	19.3	77.1	22.9	2.8	18.3	78.9	21.1	0.9	13.8	85.3	14.7	

■ Q13.現状ある里親の支援制度の詳細認知(6/7)

本調査 全体

【[里親手当(2)]障がいのある子どもを受け入れるなどの専門的な里親には、里親手当が+5万円増額されることがある】の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）でみると、「知っていた」が0.9%、「なんとなく知っていた」が6.2%、「知らなかった」が92.9%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では各性年代で2.3%～9.2%、『里親意向なし』では各性年代で0.0%～1.0%と、いずれもおしなべて低い。

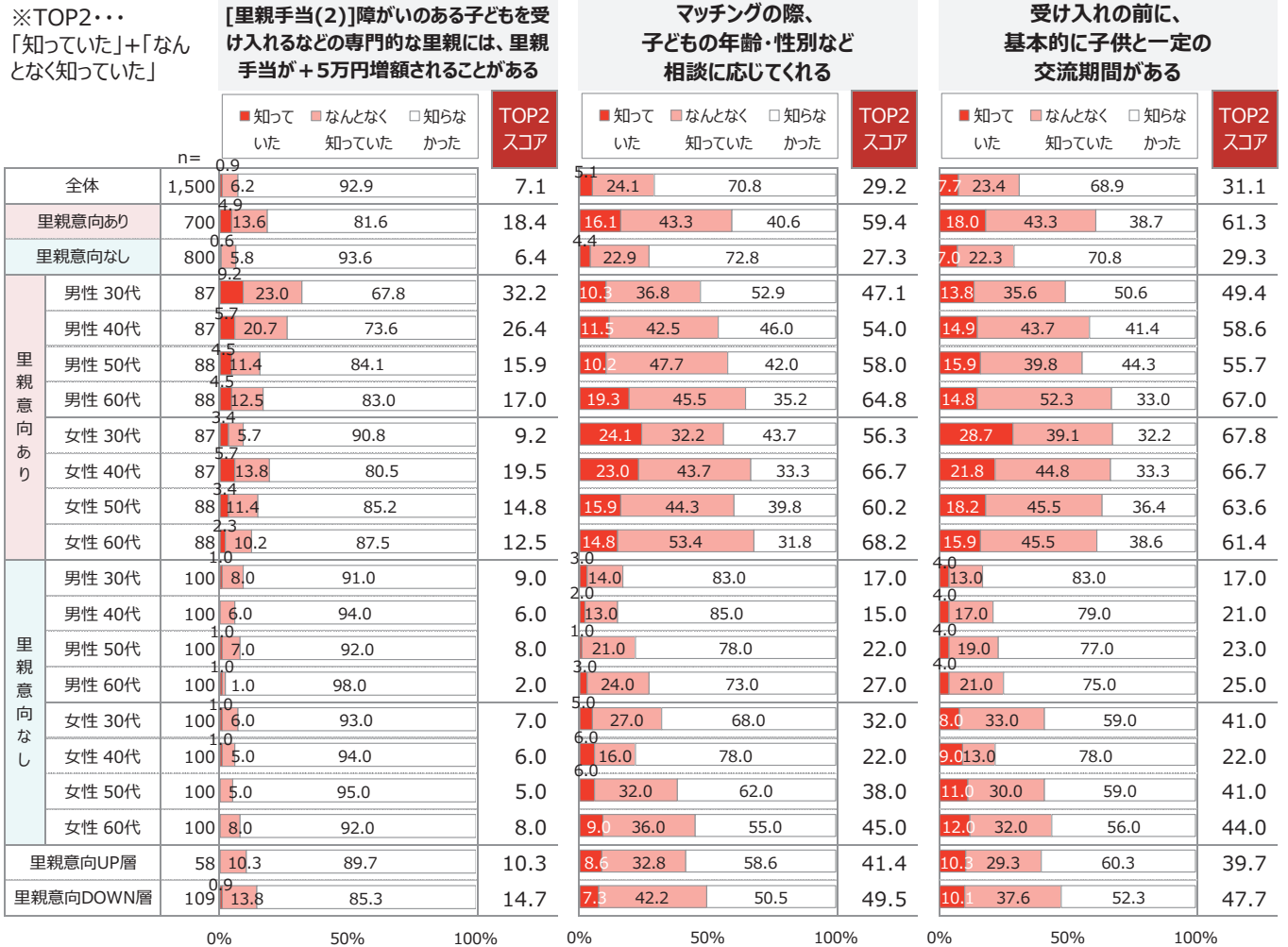
【マッチングの際、子どもの年齢・性別など相談に応じてくれる】の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）でみると、「知っていた」が5.1%、「なんとなく知っていた」が24.1%、「知らなかった」が70.8%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では『女性30代』24.1%と『女性40代』23.0%が高く、『里親意向なし』では各性年代で1.0%～9.0%と低い。

【受け入れの前に、基本的に子供と一定の交流期間がある】の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）でみると、「知っていた」が7.7%、「なんとなく知っていた」が23.4%、「知らなかった」が68.9%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では『女性30代』28.7%が最も高く、『里親意向なし』では各性年代で4.0%～12.0%とやや低い。

Q13S16～S18.里親について、どの程度知っていましたか。あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。(単一回答_表形式)



■ Q13.現状ある里親の支援制度の詳細認知(7/7)

本調査 全体

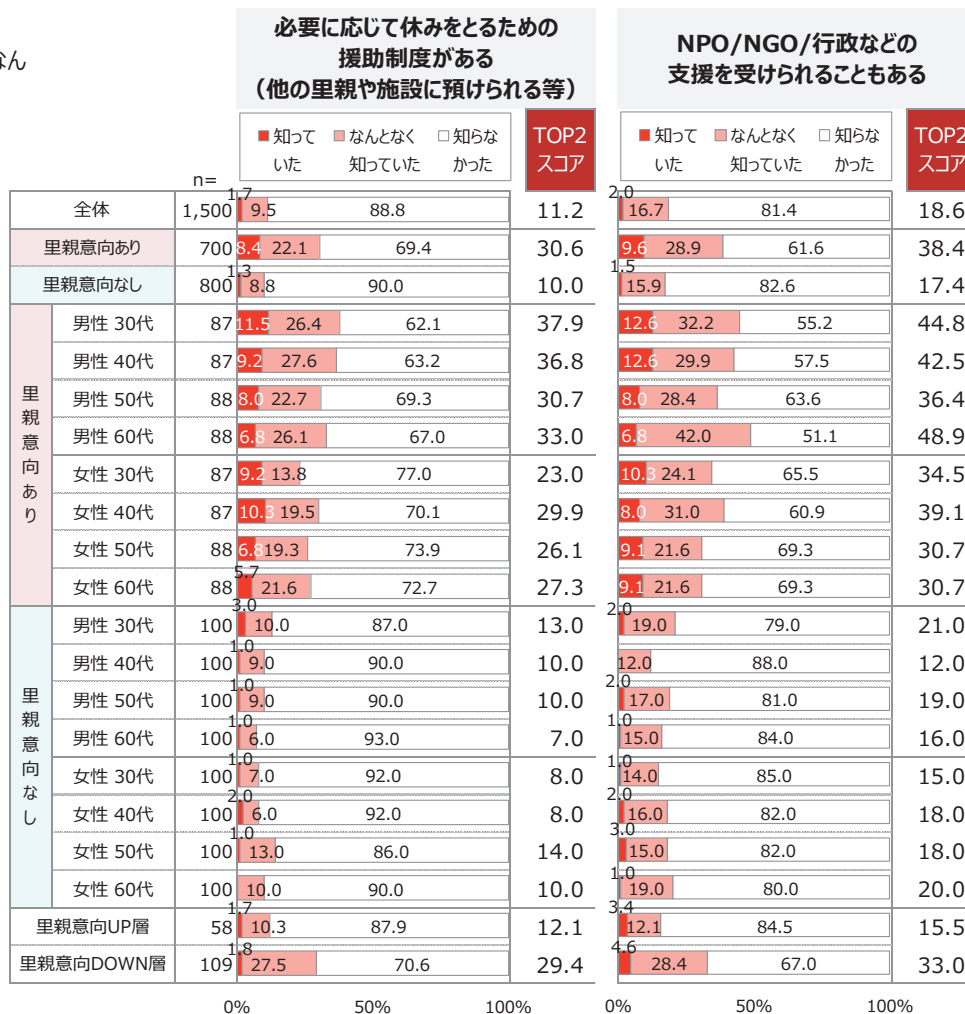
【必要に応じて休みをとるための援助制度がある（他の里親や施設に預けられる等）】の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）でみると、「知っていた」が1.7%、「なんとなく知っていた」が9.5%、「知らなかった」が88.8%である。
『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では各性年代で5.7%～11.5%、『里親意向なし』では各性年代で0.0%～3.0%と、いずれもおしなべて低い。

【NPO/NGO/行政などの支援を受けられることもある】の詳細認知率を本調査全体（n=1,500）でみると、「知っていた」が2.0%、「なんとなく知っていた」が16.7%、「知らなかった」が81.4%である。

『里親意向あり』と『里親意向なし』のそれぞれについて性×年代別で「知っていた」のスコアを比較すると、『里親意向あり』では各性年代で6.8%～12.6%、『里親意向なし』では各性年代で0.0%～3.0%と、いずれもおしなべて低い。

Q13S19～S20.里親について、どの程度知っていましたか。あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。(単一回答_表形式)

※TOP2・・・
「知っていた」+「なんとなく知っていた」



■ Q14.現状ある里親の支援制度による里親意向の変化 (TOP2)

本調査 全体

本調査全体 (n = 1,500) の【現状ある里親の支援制度】による里親意向の変化をTOP2 (「里親への興味を持つ」+「どちらかというと里親への興味を持つ」) のスコアでみると、「日本には、里親を必要としている子どもが3万人いる」29.4%、「世界と比べて日本は里親不足が深刻である」28.9%が高く、次いで「経済的に裕福でなくても里親になれる」24.1%、「マッチングの際、子どもの年齢・性別など相談に応じてくれる」23.3%、「受け入れの前に、基本的に子供と一定の交流期間がある」22.7%、「【里親手当(1)】養育費以外に、里親手当も支給される (月約8万円)」21.3%などが上位にあがる。

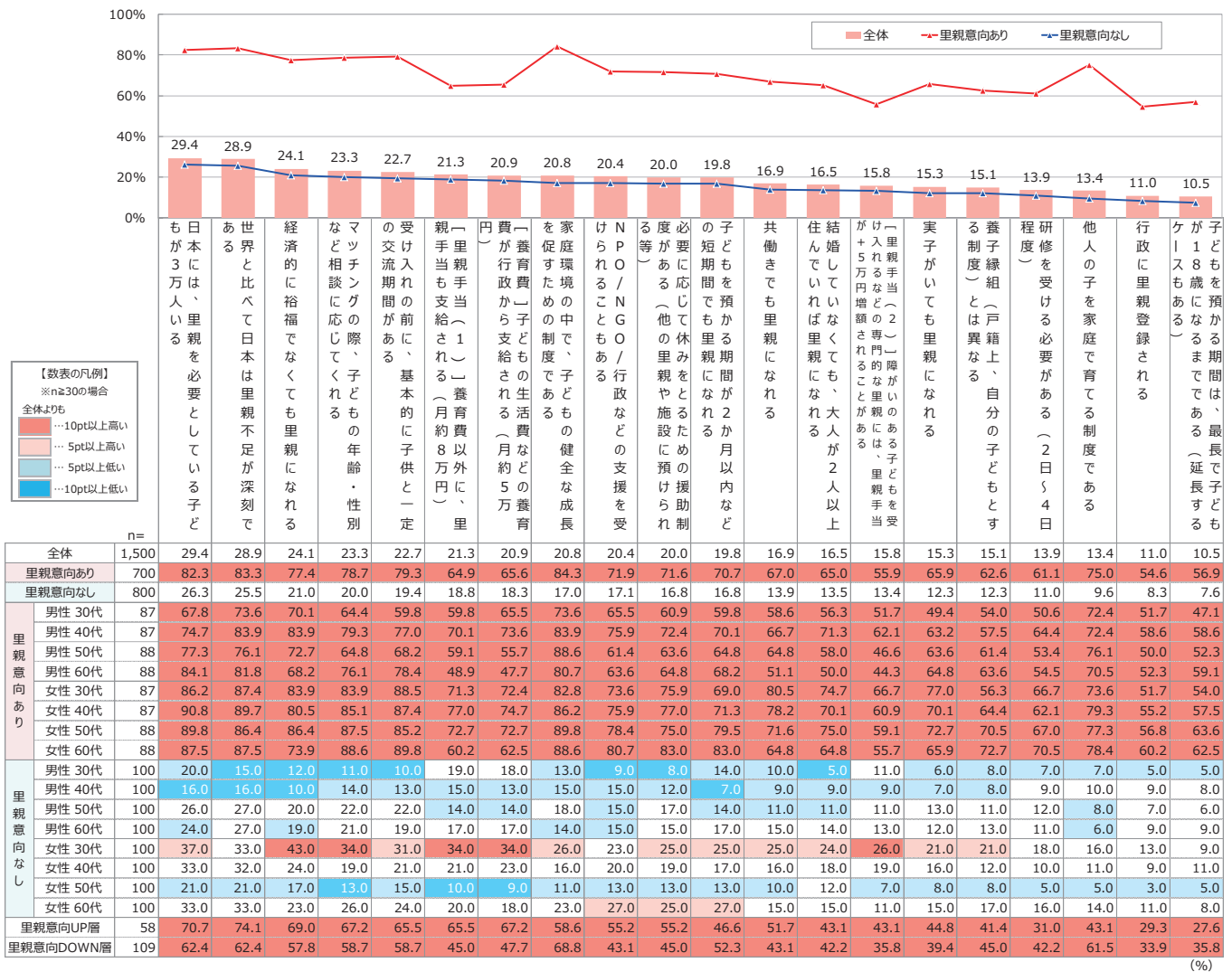
『里親意向あり』と『里親意向なし』をTOP2 (「里親への興味を持つ」+「どちらかというと里親への興味を持つ」) のスコアで比較すると、項目全般に『里親意向あり』が『里親意向なし』を大きく上回る。

『里親意向あり』を性×年代別で比較すると、項目全般に女性が男性を上回る。

『里親意向なし』を性×年代別で比較すると、『女性30代』で概ね項目全般にスコアが高い。

Q14.里親になる際に、以下のような仕組みや支援する制度・取り組みがあることで、里親への興味を持ちますか。(単一回答_表形式)

※スコア(TOP2)は「里親への興味を持つ」+「どちらかというと里親への興味を持つ」
 ※全体の降順ソート



■ Q14.現状ある里親の支援制度による里親意向の変化 (BOTTOM2)

本調査 全体

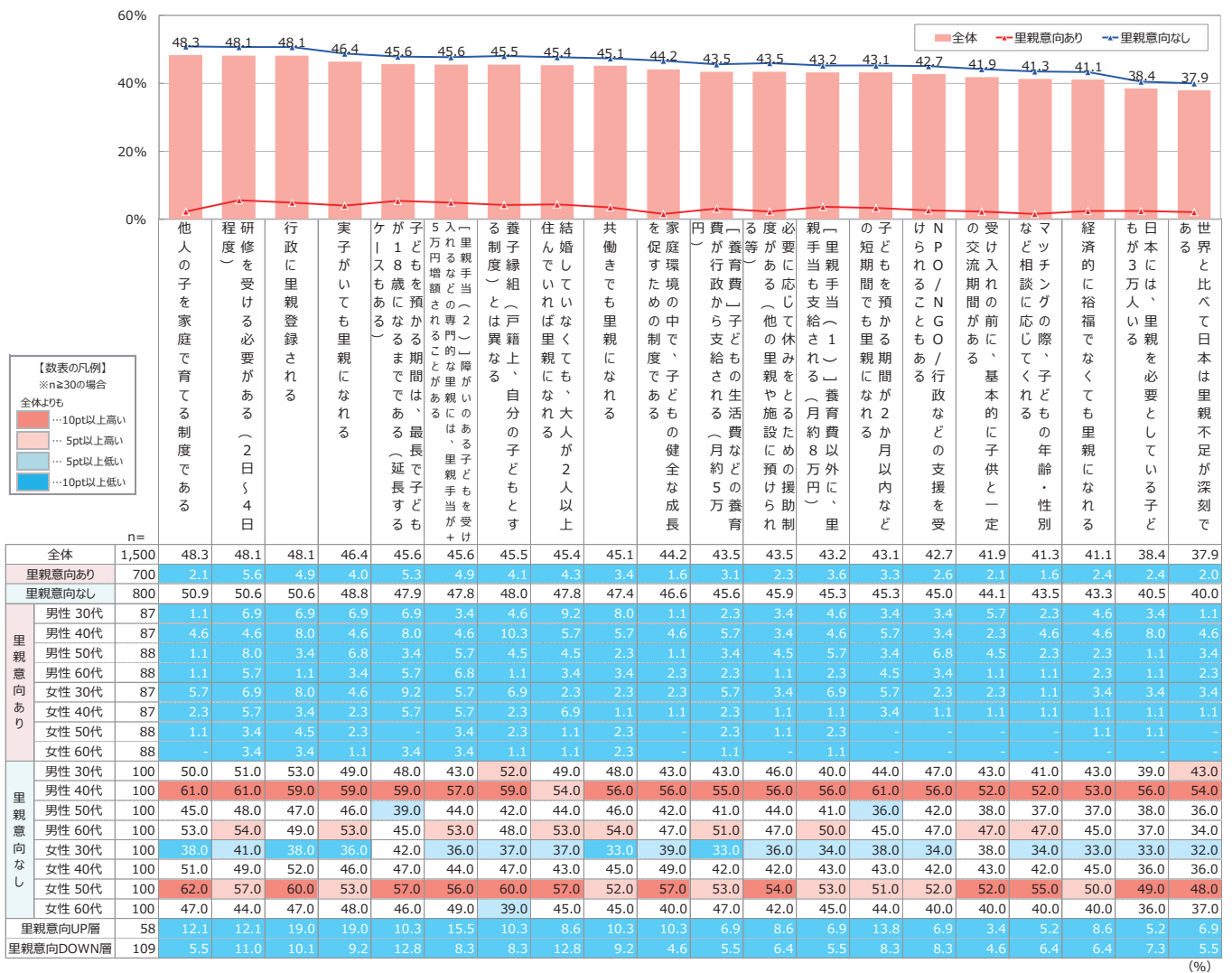
本調査全体 (n = 1,500) の【現状ある里親の支援制度】による里親意向の変化をBOTTOM2 (「里親への興味を持たない」+「どちらかという里親への興味を持たない」) のスコアでみると、「他人の子を家庭で育てる制度である」48.3%、「研修を受ける必要がある (2日~4日程度)」48.1%、「行政に里親登録される」48.1%が高く、次いで「実子がいても里親になれる」46.4%、「子どもを預かる期間は、最長で子どもが18歳になるまでである (延長するケースもある)」45.6%、「[里親手当(2)]障がいのある子どもを受け入れるなどの専門的な里親には、里親手当が+5万円増額されることがある」45.6%などが上位にあがる。

『里親意向あり』と『里親意向なし』をBOTTOM2 (「里親への興味を持たない」+「どちらかという里親への興味を持たない」) のスコアで比較すると、すべての項目で『里親意向なし』が『里親意向あり』を大きく上回る。

『里親意向なし』を性×年代別で比較すると、『男性40代』と『女性50代』で概ね項目全般にスコアが高い。

Q14.里親になる際に、以下のような仕組みや支援する制度・取り組みがあることで、里親への興味を持ちますか。(単一回答_表形式)

※スコア(BOTTOM2)は「里親への興味を持たない」+「どちらかという里親への興味を持たない」
 ※全体の降順ソート



【提示素材②】整ったら嬉しい条件

以下の説明文を提示した上で、里親実施意向を質問した（次項参照）

お金	1. 養育費などの金銭面のサポートをさらに得られれば ※現状計 月13万円（月 [FA] 円）
お金	2. 住居を変えるための補助がもらえれば
時間	3. 時間に余裕があれば
時間	4. 1週間など、短期間でもよければ
環境	5. 広い住居に住めれば
環境	6. 実子が大きくなったら
環境	7. 退職したら
環境	8. 里親とチームとなり、リクルート、研修、支援などを一貫して担ってくれる機関があれば
心	9. 気軽に相談できる場所・相手がいれば
心	10. 家族・親族・同居人の理解が得られれば
心	11. 「里親会」のような、里親同士のつながりがあれば
体	12. 仕事の忙しさが落ち着いたら
体	13. 預かっている子どもでも保育園に預けることができるなら
体	14. 子育ての知識が増えたら
心	15. 子どもとの相性が良くなかった時に、他の子どもにかえられるなら
心	16. 周囲・近所の理解が得られれば
心	17. 学校や幼稚園・保育園の理解が得られれば
心	18. 行政（児童相談所など）の態度が友好的ならば
体	19. 育児休暇が取れれば

■ Q15. 施策案による里親意向の変化(TOP2)

本調査 全体

本調査全体 (n = 1,500) の【施策案】による里親意向の変化をTOP2 (「里親への興味を持つ」+「どちらかという里親への興味を持つ」) のスコアでみると、「時間に余裕があれば」28.8%、「気軽に相談できる場所・相手がいれば」28.2%、「家族・親族・同居人の理解が得られれば」27.2%、「養育費などの金銭面のサポートをさらに得られれば ※現状計 月13万円」24.9%、「行政(児童相談所など)の態度が友好的ならば」23.2%などが上位にあがる。

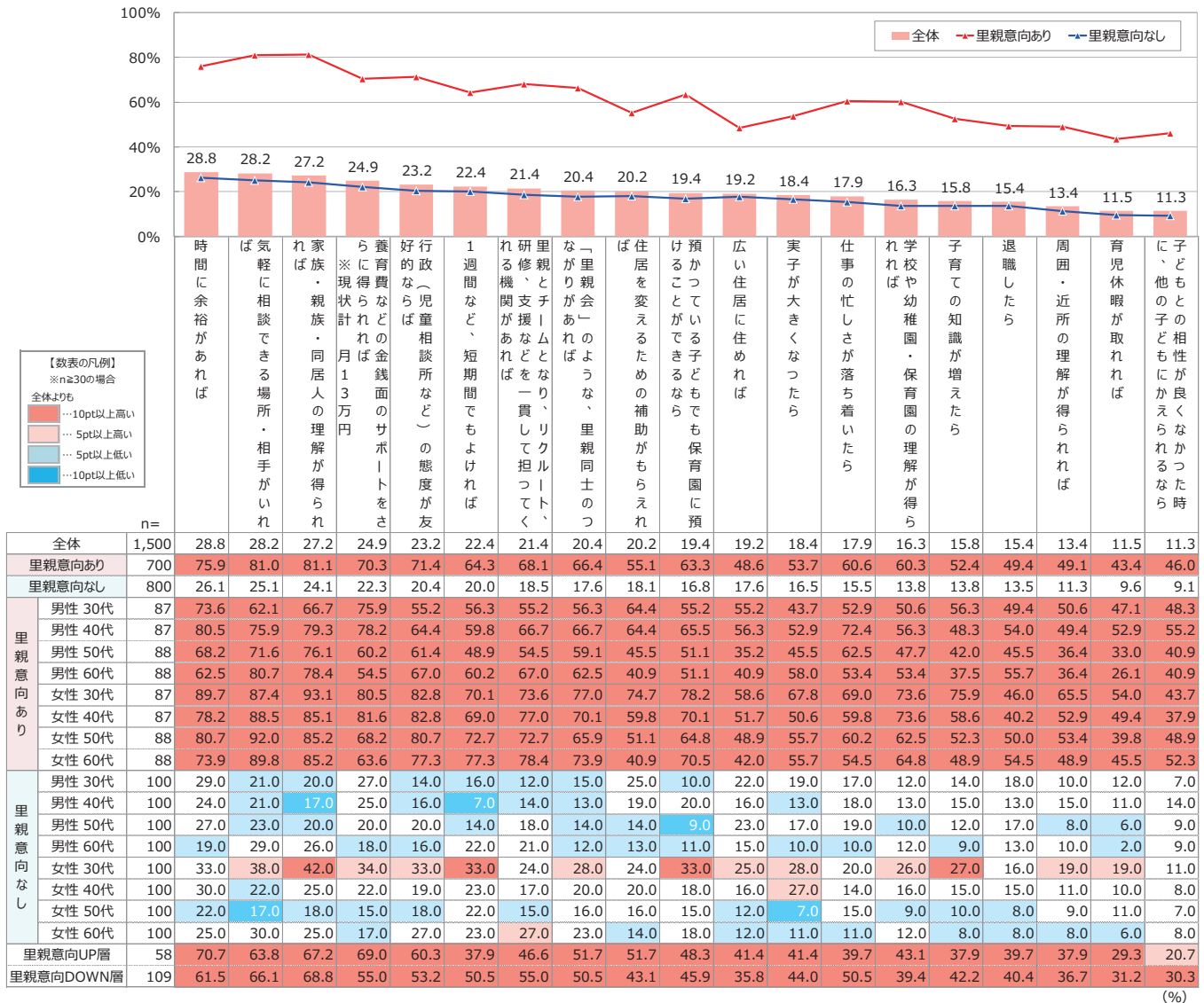
『里親意向あり』と『里親意向なし』をTOP2 (「里親への興味を持つ」+「どちらかという里親への興味を持つ」) のスコアで比較すると、項目全般に『里親意向あり』が『里親意向なし』を大きく上回る。

『里親意向あり』を性×年代別で比較すると、項目全般に女性が男性を上回る。

『里親意向なし』を性×年代別で比較すると、『女性30代』で概ね項目全般にスコアが高い。

Q15. どのような条件がそろうと、里親への興味を持ちますか。
 あなたのお考えに最もあてはまるものをそれぞれ一つお選びください。(単一回答_表形式)

※スコア(TOP2)は「里親への興味を持つ」+「どちらかという里親への興味を持つ」
 ※全体の降順ソート



■ Q15. 施策案による里親意向の変化(BOTTOM2)

本調査 全体

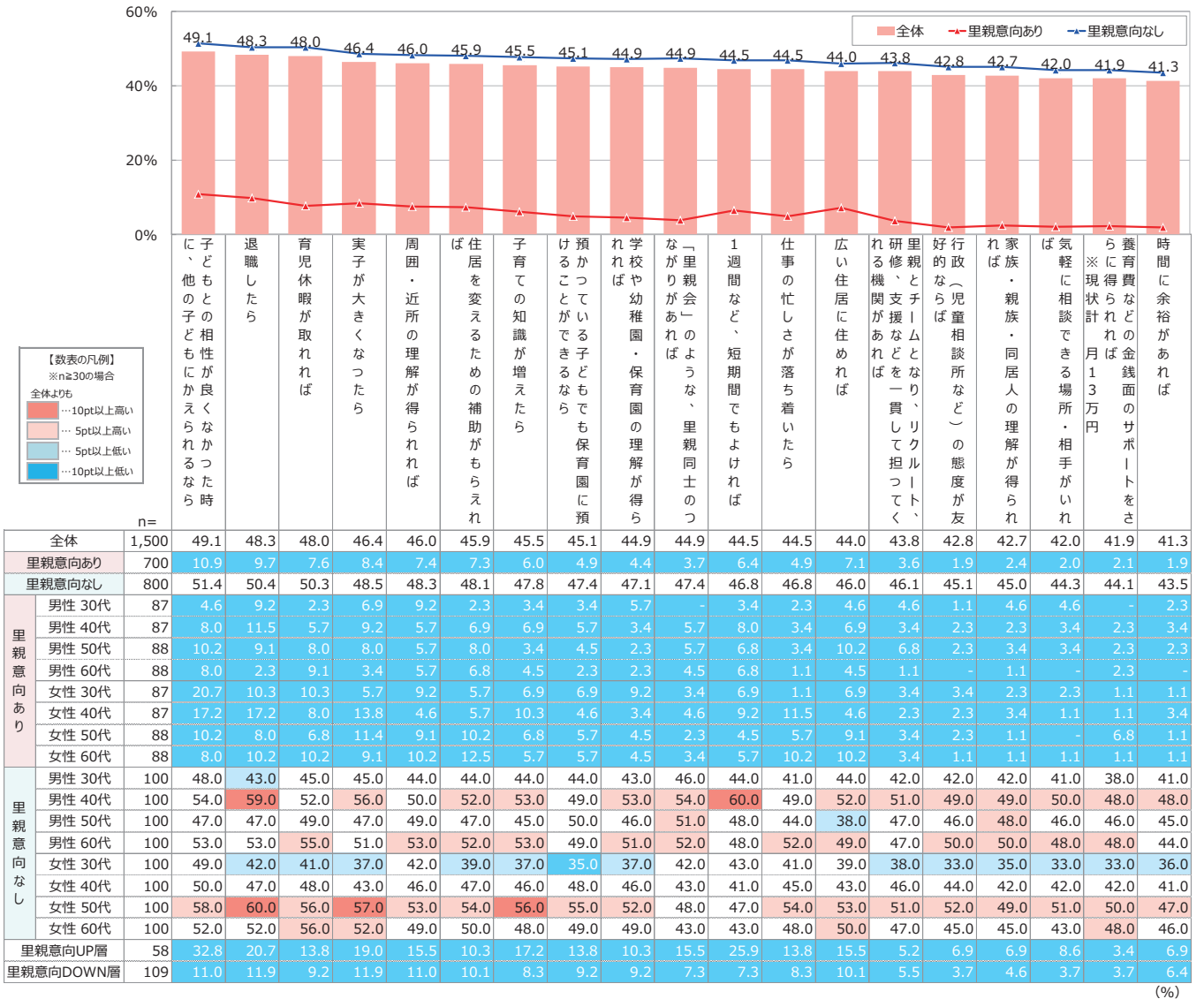
本調査全体 (n = 1,500) の【現状ある里親の支援制度】による里親意向の変化をBOTTOM2 (「里親への興味を持たない」+「どちらかという里親への興味を持たない」) のスコアでみると、「子どもとの相性が良くなかった時に、他の子どもにかえられるなら」「退職したら」「育児休暇が取れれば」「実子が大きくなったら」「周囲・近所の理解が得られれば」などが上位にある。

『里親意向あり』と『里親意向なし』をBOTTOM2 (「里親への興味を持たない」+「どちらかという里親への興味を持たない」) のスコアと比較すると、すべての項目で『里親意向なし』が『里親意向あり』を大きく上回る。

『里親意向なし』を性×年代別で比較すると、『男性40代』、『男性60代』および『女性50代』で項目全般にスコアがやや高い。

Q15. どのような条件がそろうと、里親への興味を持ちますか。
 あなたの考えに最もあてはまるものをそれぞれ一つお選びください。(単一回答_表形式)

※スコア(BOTTOM2)は「里親への興味を持たない」+「どちらかという里親への興味を持たない」
 ※全体の降順ソート



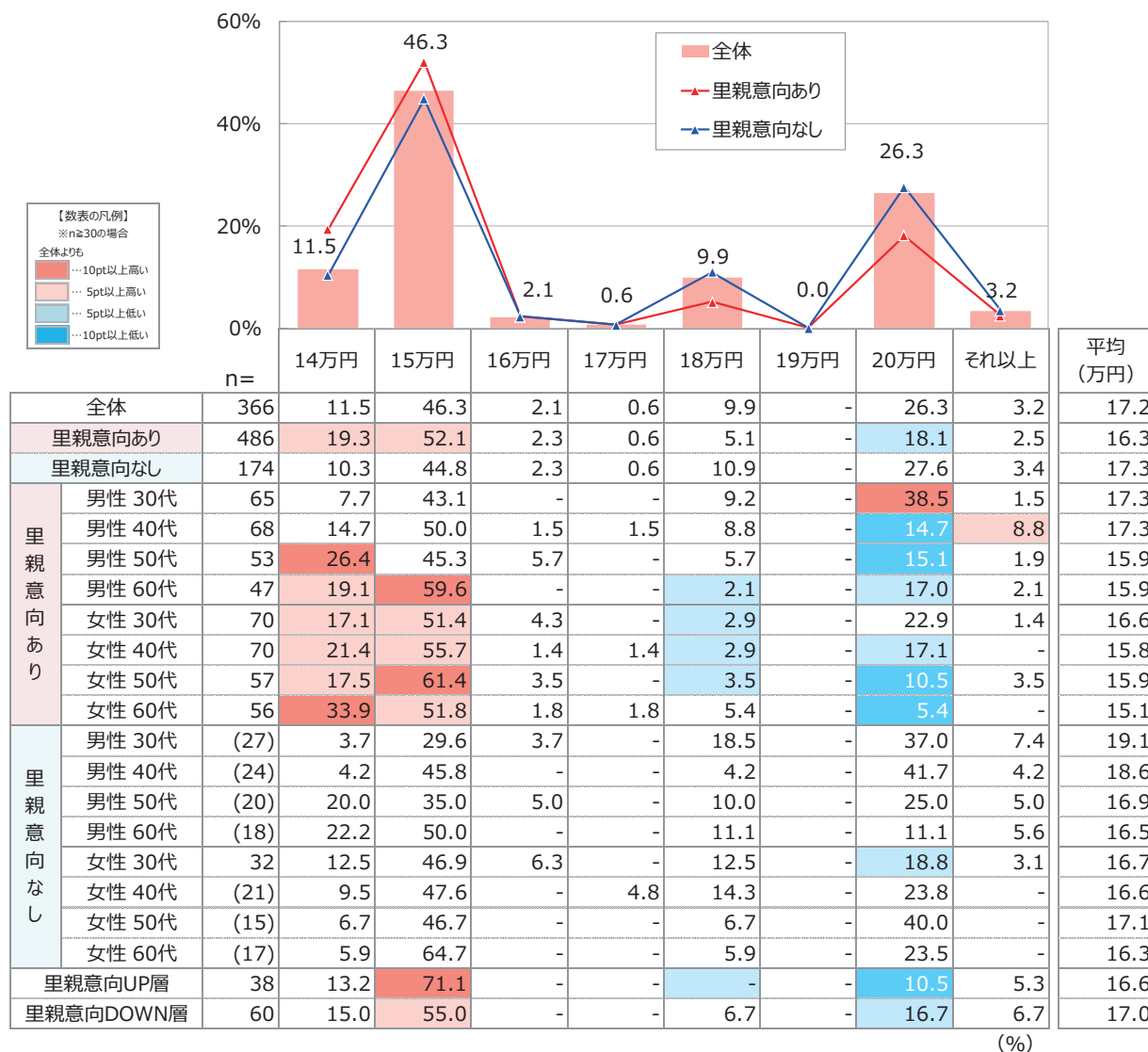
■ Q15.里親へ興味を持つ手当

本調査 全体

本調査全体（n=1,500）の【里親へ興味を持つ手当】をみると、「15万円」が最も高く46.3%、次いで「20万円」が26.3%、「14万円」が11.5%、「18万円」が9.9%であり、平均手当は17.2万円となっている。
 平均手当をみると『里親意向あり』16.3万円、『里親意向なし』17.3万円であり、その差は1万円と大きな差はみられない。
 『里親意向あり』を性×年代別で平均手当を比較すると、『男性30代』と『男性40代』で17.3万円と最も高い。特に『男性30代』では「20万円」が38.5%を占めており、他の性年代に比べ特徴的に高い。
 （※『里親意向なし』の性×年代別はn数が少ないため、参考値とされたい）

Q15.前問で「養育費などの金銭面のサポートをさらに得られれば里親への興味を持つ」とお答えの方にお伺いします。
 具体的にいくら以上だったら里親への興味を持ちますか。 ※現状計 月13万円(数量回答_表形式)

※Q14で「養育費などの金銭面のサポートをさらに得られれば里親への興味を持つ」と回答した人ベース
 ※n<30は参考値



【提示素材③】里親について知りたいこと

以下の説明文を提示した上で、里親実施意向を質問した（次項参照）

子どもについて	1. 子どもの人となり（顔写真や好きな事など）
子どもについて	2. 子どもの背景（これまでの暮らしぶりや里親を必要としている背景など）
サポート内容	3. どのような物理的サポートが受けられるか（補助金や休暇制度といった支援など）
サポート内容	4. どのような精神的サポートが受けられるか（相談など）
里親の現状	5. どのくらいの里親を待っている子どもがいるのか
里親の現状	6. 日本の受け入れ状況が国際基準と比べてどのくらい遅れているのか
里親の現状	7. 近所にも里親を必要としている子どもがいること
里親について	8. 具体的な里親のなり方
里親について	9. 里親になるための留意事項
里親について	10. 里親になった際の収支モデル
里親について	11. 里親たちの体験談
子どもについて	12. 実際に里親に預けられた子どもたちの体験談
	13. その他（FA）

■ Q16.里親について知りたいこと(TOP2)

本調査 全体

本調査全体 (n=1,500) の【里親について知りたいこと】をTOP2 (「里親への興味を持つ」+「どちらかという里親への興味を持つ」) のスコアでみると、「子どもの背景 (これまでの暮らしぶりや里親を必要としている背景など)」33.4%、「里親たちの体験談」31.2%、「どのような物理的サポートが受けられるか (補助金や休暇制度といった支援など)」30.2%、「実際に里親に預けられた子どもたちの体験談」30.1%などが上位にあがる。

『里親意向あり』は『里親意向なし』に対し、特に「里親になるための留意事項」「子どもの人となり (顔写真や好きな事など)」「具体的な里親のなり方」「どのような精神的サポートが受けられるか (相談など)」「子どもの背景 (これまでの暮らしぶりや里親を必要としている背景など)」で大きく上回る。

『里親意向あり』を性×年代別で比較すると、項目全般に女性が男性を上回る。

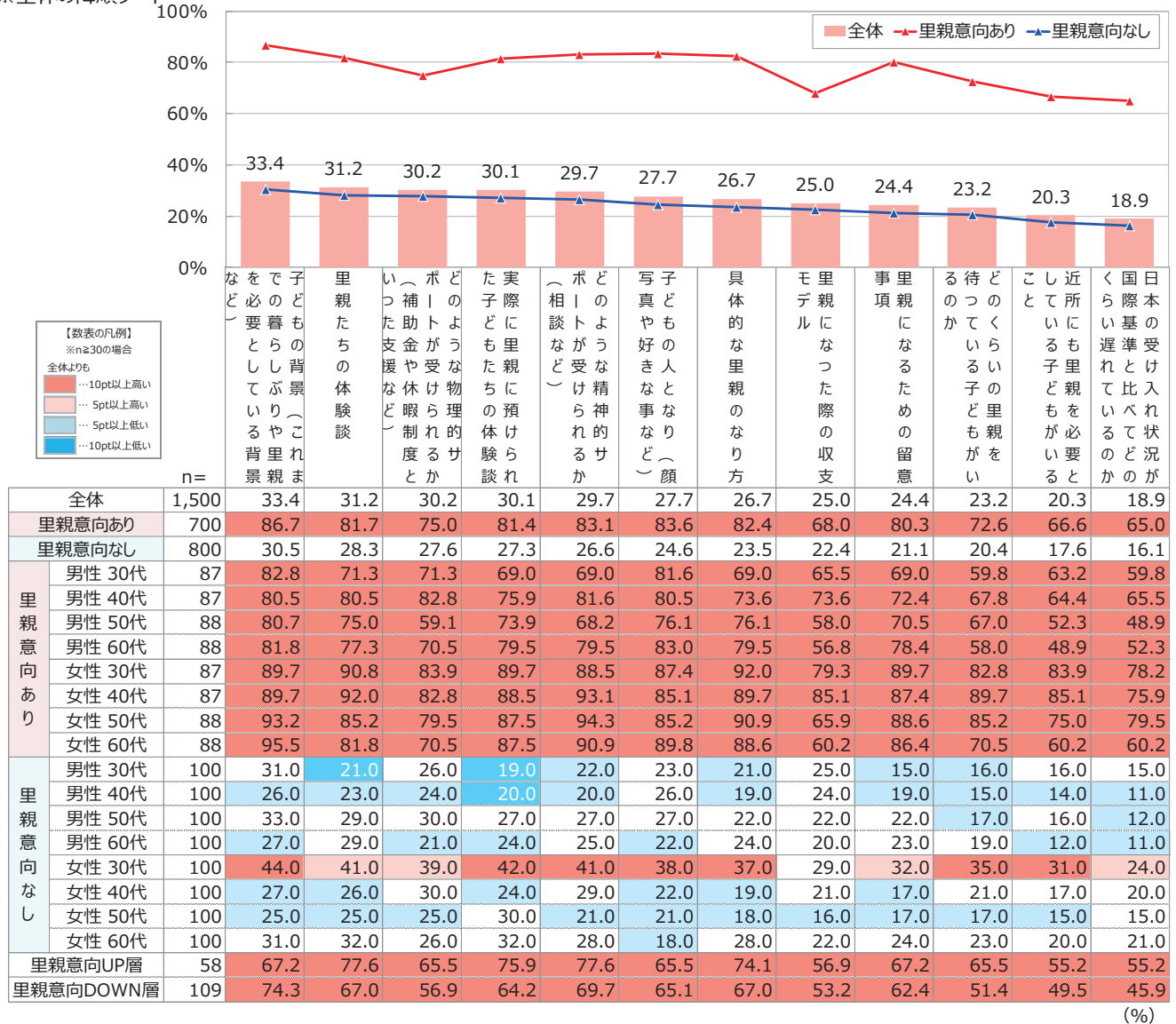
『里親意向なし』を性×年代別で比較すると、『女性30代』で概ね項目全般にスコアが高い。

Q16.どのようなことを知ることができると、里親への興味を持ちますか。

あなたのお考えに最もあてはまるものをそれぞれ一つお選びください。(単一回答_表形式)

※スコア(TOP2)は「里親への興味を持つ」+「どちらかという里親への興味を持つ」

※全体の降順ソート



【提示素材④】里親の募集記事イメージ

以下の説明文と画像を提示した上で、「提示物に対する反応」を質問した（次項参照）

上の写真と文章を読んでお答えください。

あなたはこれを読んで、里親への興味を持ちましたか。あてはまるものを一つお選びください。

※この子どもたちへの興味ではなく、「里親」そのものに対する興味としてお答えください。

※実際に新聞に掲載されていた記事を加工しており、あくまでイメージです。



ゆうくん 3か月

ぶよぶよとしたほっぺが、とても愛らしい、ゆう君です。毎日勢いよくミルクを飲み、足りないときもあるほど。ミルクの時間になるとちよちよお寝もすくすくで、周囲が驚くぐらいの大きな声で泣いて知らせます。たっぷり飲んでよく寝て、すくすくと成長しています。

起きているときは、足でマットを蹴るなど元気いっぱいです。抱っこされるのも好きなようです。身長58.6センチ、体重5.6キロ。里親として育ててくださる方を探しています。

さくらちゃん 2歳2か月

草花が大好きな、さくらちゃんです。近所の公園にいったら、職員さんやお友達にお花を摘んであげたりして喜ばせてくれます。

友達が泣いていたりすると、そっとそばに行ってよしよししてあげたりと、優しい女の子です。でも、困ったり疲れたりすると「抱っこ」と言って甘えたりする一面も。身長85.7センチ、体重12.5キロ。里親として育ててくださる方を探しています。



ようたくん 3歳11か月

公園遊びと虫取りが大好きな元気いっぱい、ようた君です。いつもお友達と一緒に仲良く公園で遊んでいます。

夕食の時間が近くなると、「今日はな～に？」と毎回きくほど、食事が楽しみな食いしん坊さん。ご飯とみそ汁は励まされないと食べないのに、おかずは嬉しそうに好んで食べます。特にブロッコリーとカボチャが大好きで、いつもお代わりします。身長99.7センチ、体重15.6キロ。里親として育ててくださる方を探しています。

※これらの写真および紹介文は、あくまでイメージであり、実在するお子様ではありません。

■ Q17.提示物に対する反応

本調査 全体

本調査全体 (n=1,500) の【提示物に対する反応】をみると、「里親への興味を持たない」が最も高く32.5%、次いで「どちらともいえない」が26.1%、「どちらかという、里親への興味を持つ」が23.2%、「どちらかという、里親への興味を持たない」が11.6%、「里親への興味を持つ」が6.6%である。

里親の興味喚起率（「里親への興味を持つ」+「どちらかという、里親への興味を持つ」）のスコアをみると、『里親意向あり』で87.9%、『里親意向なし』は26.5%と差が大きい。

『里親意向あり』を性×年代別で比較すると、『女性50代』で里親の興味喚起率が95.5%と特に高い。

『里親意向なし』を性×年代別で比較すると、『女性30代』で里親の興味喚起率が40.0%と最も高く、『男性40代』と『女性50代』で17.0%と最も低い。

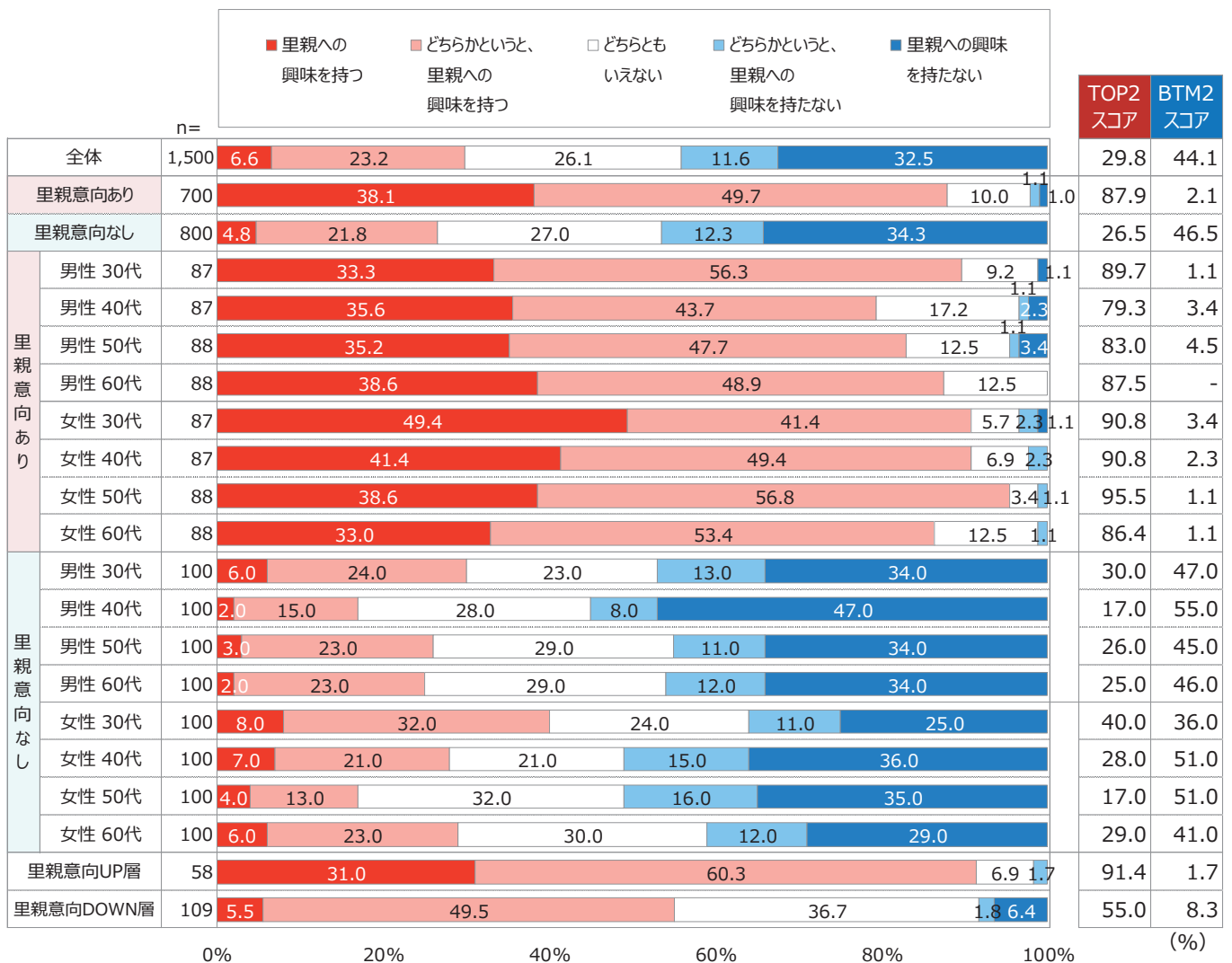
Q17.上の写真と文章を読んでお答えください。あなたはこれを読んで、里親への興味を持ちましたか。
あてはまるもの一つお選びください。

※この子どもたちへの興味ではなく、「里親」そのものに対する興味としてお答えください。

※実際に新聞に掲載されていた記事を加工しており、あくまでイメージです。(単一回答)

※TOP2・・・「里親への興味を持つ」+「どちらかという、里親への興味を持つ」

BOTTOM2・・・「里親への興味を持たない」+「どちらかという、里親への興味を持たない」



■ Q18.ここまでのアンケートでの気持ちの変化

本調査 全体

本調査全体 (n=1,500) の【ここまでのアンケートでの気持ちの変化】をみると、「里親になってみたいとは思わない」が最も高く47.5%、次いで「どちらともいえない」が23.1%、「どちらかという、里親になってみたいとは思わない」が17.6%、「どちらかという、里親になってみたい」が9.1%、「里親になってみたい」が2.6%である。

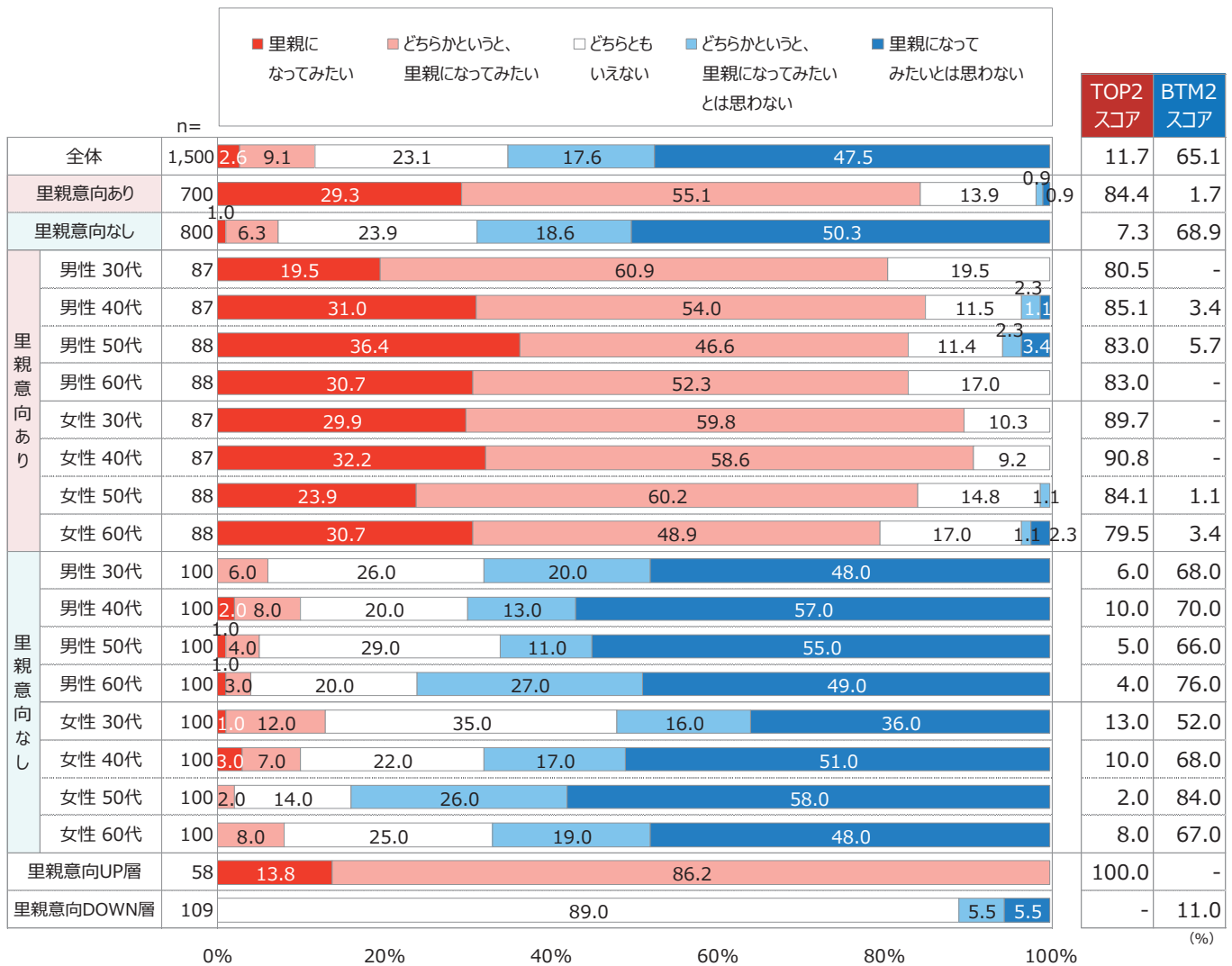
里親意向率（「里親になってみたい」+「どちらかという、里親になってみたい」）のスコアをみると、『里親意向あり』で84.4%、『里親意向なし』は7.3%と差が非常に大きい。

『里親意向あり』を性×年代別で里親意向率を比較すると、『女性30代』89.7%、『女性40代』90.8%が高い。

『里親意向なし』を性×年代別で比較すると、各性年代で2.0%～13.0%と、おしなべて低い。

Q18.あなたは、事前アンケートで【SC7S1の選択内容】とお答えになっていらっしゃいました。
 今のあなたのお気持ちにあてはまるものを1つお選びください。(単一回答)

※TOP2・・・「里親になってみたい」+「どちらかという、里親になってみたい」
 BOTTOM2・・・「里親になってみたいとは思わない」+「どちらかという、里親になってみたいとは思わない」



■ Q18.ここまでのアンケートでの気持ちの変化理由

本調査 全体

本調査全体（n=1,500）の【ここまでのアンケートでの気持ちの変化理由】の抜粋をみると、【里親になっても良いと考えが変化した理由】として「公的支援が受けられることを理解したから」「社会貢献の一環として支援を考えても良いと思った」「家族の理解が得られれば検討したい」などの意見があがった。

一方、【里親になるのは難しいと考えが変化した理由】として「周囲/家族の理解が得られるか分からない」「子育ての責任を果たすことができるか不安」「里親の条件に合致するか分からない」「実子の子育て中の為」などの意見があがった。

Q18. あなたは、事前アンケートで「【SC7S1の選択内容】」とお答えになっていらっしゃいました。

今のあなたのお気持ちにあてはまるものを1つお選びください。

また、その理由をできるだけ具体的にお答えください（自由回答）

内容	カテゴリ	コンテンツの内容（回答抜粋）
里親になっても良いと考えが変化した理由	公的支援が受けられることを理解したから	経済的に不安があったが、補助金があるなら、退職しているし、実子もみんな成人しているので、手厚く育てることができるかも知れない。
	社会貢献の一環として支援を考えても良いと思った	今現在独身で交際相手もなく、結婚の予定も無いが、里親は自分に出来る社会貢献の一つだと思うから。 里親を必要とされている子が多くいるのに驚いた。経済的余裕、住居の広さを確保できれば考えたい。
	家族の理解が得られれば検討したい	実子が大きくなって、夫の理解が得られれば考えてもよい
里親になるのは難しいと考えが変化した理由	周囲/家族の理解が得られるか分からない	親族の同意が得られるかが大きなポイントだと改め認識したので どんなに素晴らしい支援があっても、結局は夫婦共に同じ考えてないとスタートラインには立てないから
	子育ての責任を果たすことができるか不安	社会貢献をしたいが、子供に対する責任も大きいので決断ができない 子供はかわいいが、預かる子供との相性が懸念される。
	里親の条件に合致するか分からない	子育て経験がなくても里親になれるのか、大人2名以上の年齢制限など詳細の条件が不明なため
	実子の子育て中の為	自分の子育てがちゃんと終わっていないので、今はできない。

■ Q20.現在の行政サービスの問題点(BOTTOM2)

本調査 全体

本調査全体 (n = 1,500) の【現在の行政サービスの問題点】をBOTTOM2 (「里親になってみたい気持ちが弱くなる」+「里親になってみたい気持ちがやや弱くなる」) のスコアでみると、「大学進学費用のサポートはない」66.8%、「行政の担当職員が経験不足のことがある」65.8%、「現状、リクルート、研修、支援などを一貫して担ってくれる機関がない」65.4%、「里親証明書」など、公的に里親である証明をする書類がなく、自身が保護者としての証明に手間が掛かる」64.1%などが上位にあがる。

『里親意向あり』は『里親意向なし』に対し、特に「現状、リクルート、研修、支援などを一貫して担ってくれる機関がない」「里親証明書」など、公的に里親である証明をする書類がなく、自身が保護者としての証明に手間が掛かる」「行政の担当職員が経験不足のことがある」「預かった子どもが18歳以上になった時の支援が十分ではない」が大きく上回る。

『里親意向あり』を性×年代別で比較すると、項目全般に女性が男性を上回る。

『里親意向なし』を性×年代別で比較すると、『女性30代』で「預かった子どもが18歳以上になった時の支援が十分ではない」がやや高めになっている。

Q20.現在の行政サービスの問題点(単一回答_表形式)

※スコア(BOTTOM2)は「里親になってみたい気持ちが弱くなる」+「里親になってみたい気持ちがやや弱くなる」

※全体の降順ソート



(%)

6章 コンタクトポイント

■ Q4.里親の認知経路（里親について知ったものすべて）

本調査 全体

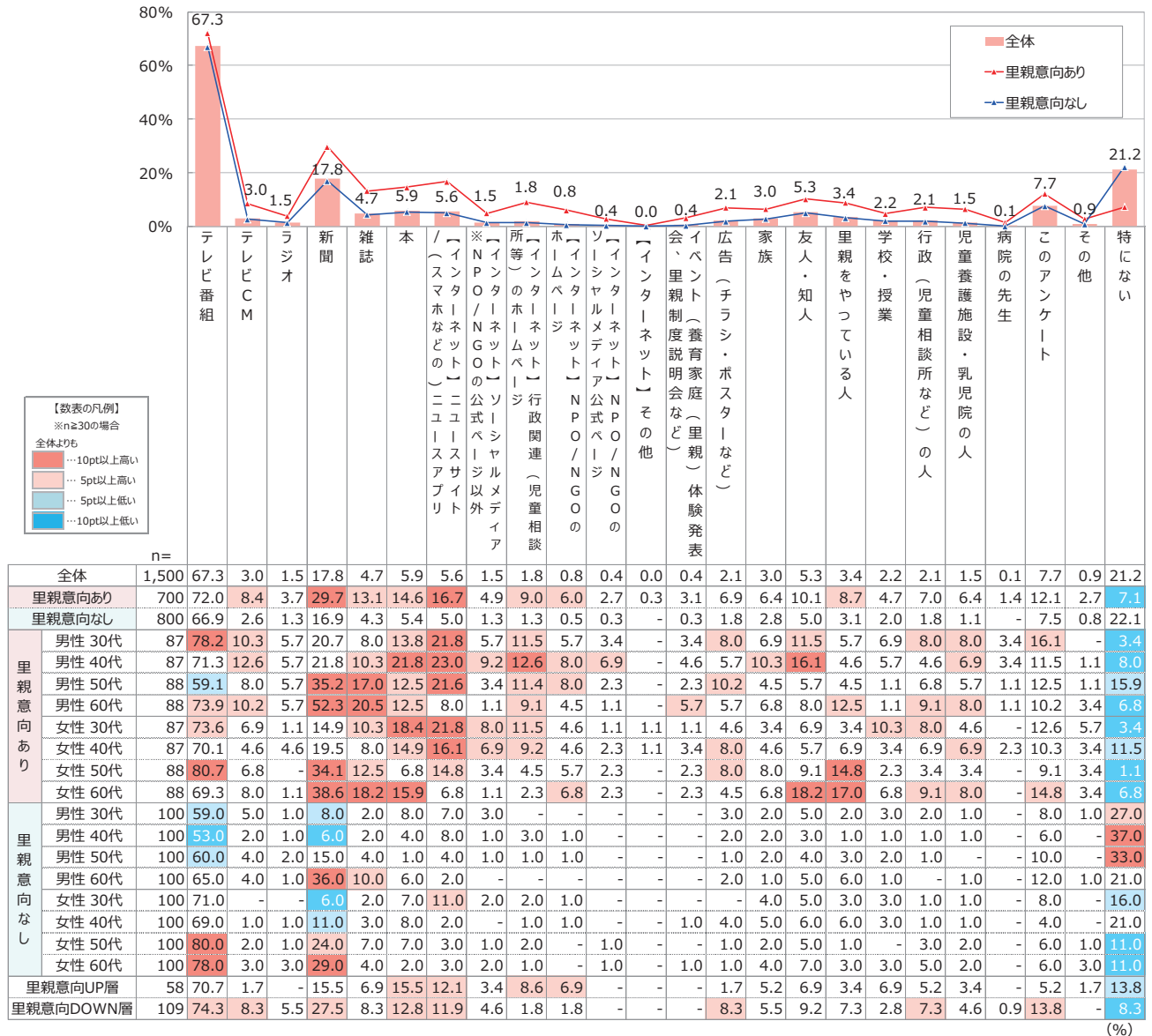
本調査全体（n=1,500）の【里親の認知経路（きっかけになったものすべて）】をみると、「テレビ番組」67.3%が特に高いほか、「新聞」17.8%、「本」5.9%、「【インターネット】ニュースサイト/(スマホなどの)ニュースアプリ」5.6%、「友人・知人」5.3%などが上位にあがる。

『里親意向あり』は『里親意向なし』に対し、特に「新聞」「【インターネット】ニュースサイト/(スマホなどの)ニュースアプリ」「本」「雑誌」「【インターネット】行政関連（児童相談所等）のホームページ」で大きく上回る。

『里親意向あり』を性×年代別で比較すると、「新聞」は『男女50代・60代』で、「【インターネット】ニュースサイト/(スマホなどの)ニュースアプリ」は『男女30代・40代』で高めている。また「里親をやっている人」は『女性50代・60代』で全体よりも高い。

『里親意向なし』を性×年代別で比較すると、「テレビ番組」は『女性50代・60代』で特に高い。また「新聞」は『男女60代』で高めている。

Q4S1.あなたは、里親のことを何を通じて知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答_表形式）



■ Q4.里親の認知経路 (きっかけになったものすべて)

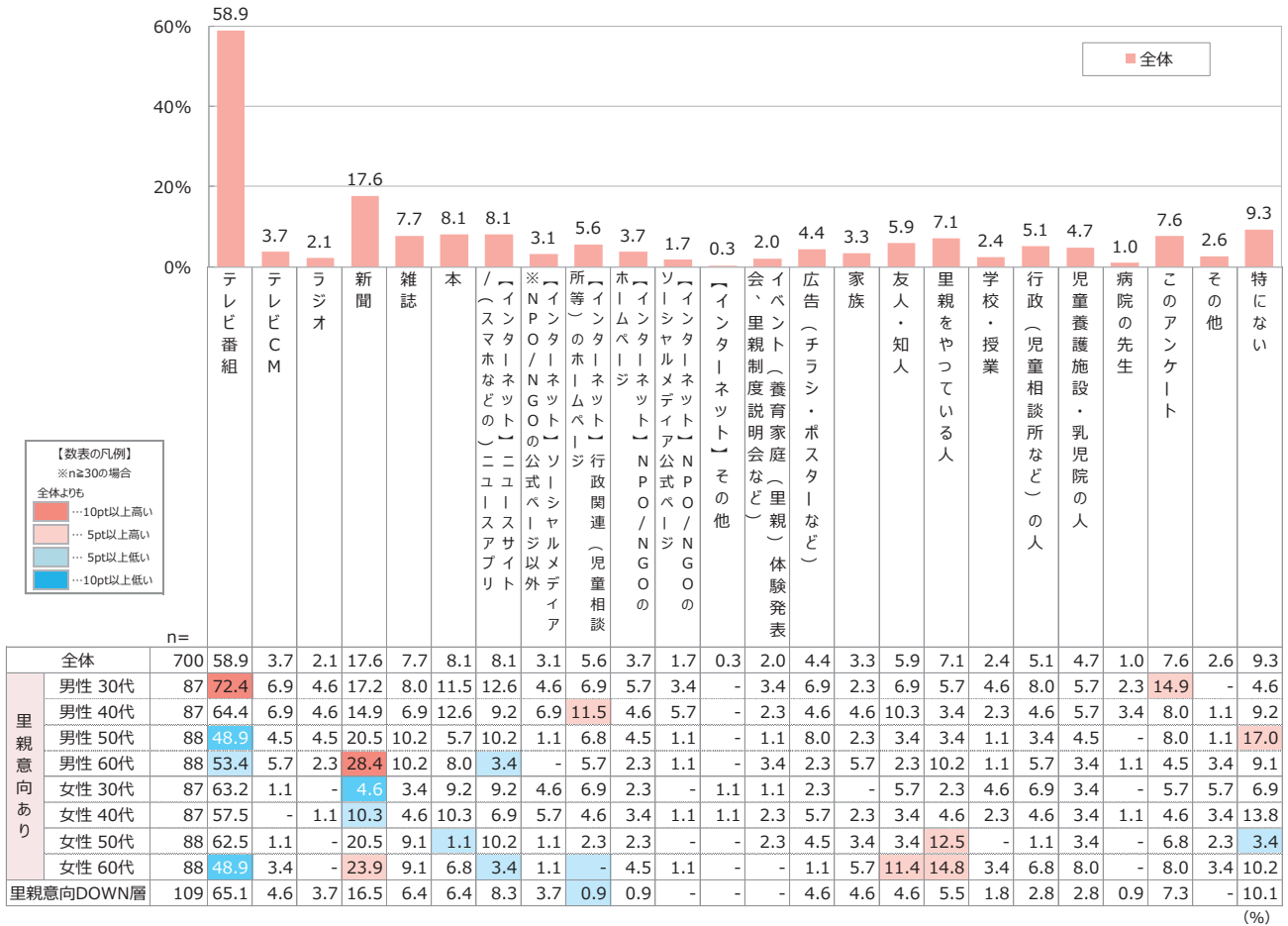
本調査 里親意向がある人 全体

本調査で里親意向があると回答した人 (N = 700) の【里親の認知経路 (きっかけになったものすべて)】をみると、「テレビ番組」58.9%が圧倒的に高く、そのほか「新聞」17.6%、「本」8.1%、「【インターネット】ニュースサイト/(スマホなどの)ニュースアプリ」8.1%、「雑誌」7.7%などが上位にある。

『里親意向あり』を性×年代別で比較すると、「テレビ番組」は『男性30代』で、「新聞」は『男女60代』で高めになっている。

Q4S2.里親について、どのようなきっかけで「なってみよう」と思うようになりましたか。あてはまるものをすべてお選びください。
(複数回答_表形式)

※意向ありベース



■ Q4.里親の認知経路 (最も強いきっかけになったもの一つ)

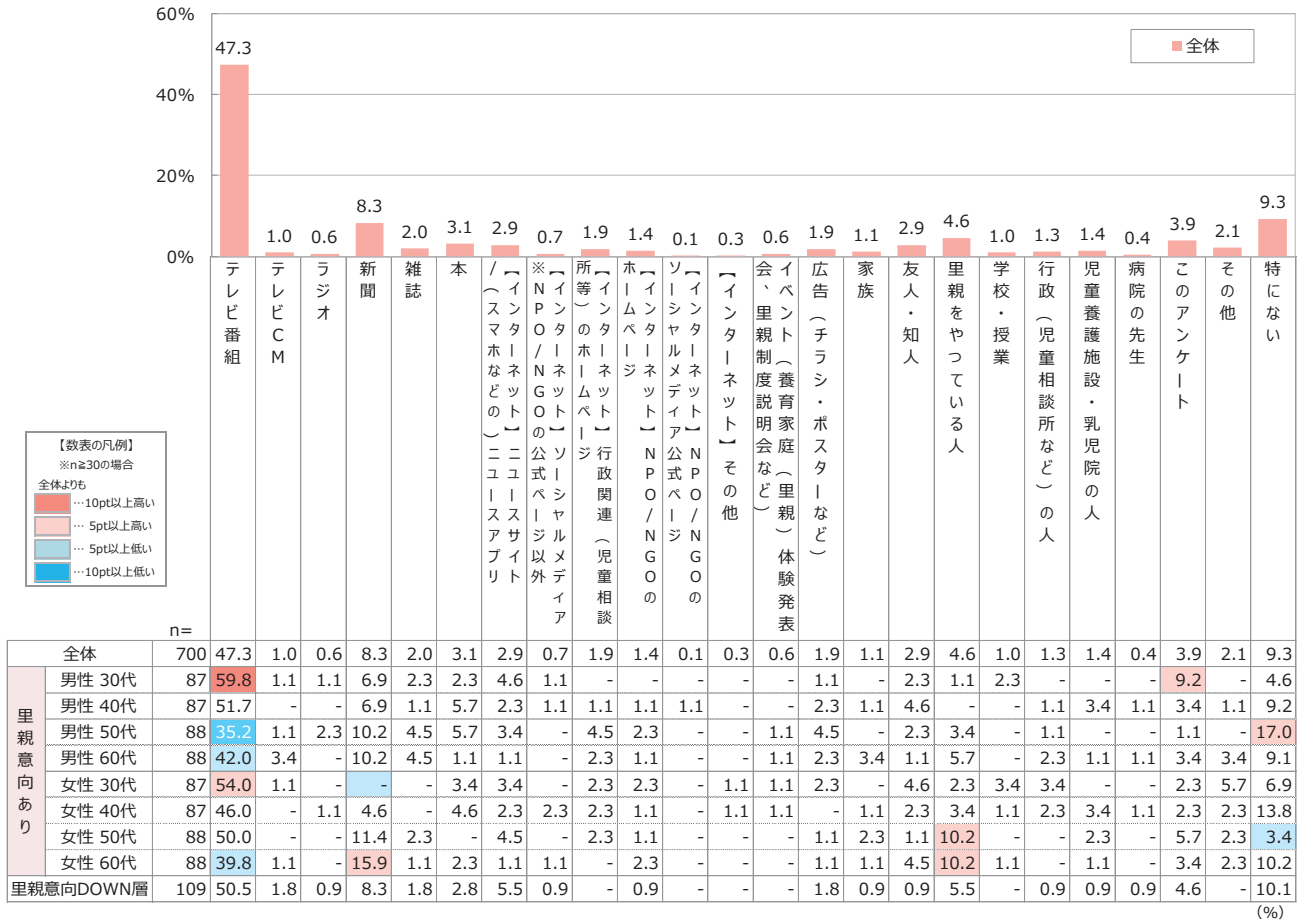
本調査 里親意向がある人 全体

本調査で里親意向があると回答した人 (N = 700) の【里親の認知経路 (最も強いきっかけになったもの一つ)】をみると、「テレビ番組」47.3%が特に高いほか、「新聞」8.3%、「里親をやっている人」4.6%などが上位にあがる。

『里親意向あり』を性×年代別で比較すると、「テレビ番組」は『男女30代』で、「新聞」は『女性60代』で、「里親をやっている人」は『女性50代・60代』でそれぞれ高めになっている。

Q4S3. また、その中で最も強いきっかけとなったものを一つお選びください。(単一回答_表形式)

※意向ありベース



■ Q5.強い動機付けとなるコンテンツ（自由記述回答）

本調査 全体

本調査全体（n=1,500）の【強い動機付けとなるコンテンツ（自由記述回答）】として、【里親として子供を育てる人の心情】【実子と養子の家族関係】【育児放棄と里親】といった内容を、主に「テレビ番組」で視聴したという回答があげられた。そのほか、【制度の意義や実態について】は「テレビ番組」「新聞」といったマスメディア以外に「イベント」「広告（チラシ/ポスター）」で接触している様子や、【周囲の人間の体験談】は「家族」「友人/知人」といったクチコミが強い動機付けになっている。

Q5.最も里親になってみたいきっかけになった「Q4S3回答選択肢 表示」についてうかがいます。
その「Q4S3回答選択肢 表示」は、どのような内容でしたか。コンテンツ名や内容などできるだけ具体的にお答えください。
(自由記述回答_表形式)

内容	メディア	コンテンツの内容（回答抜粋）
制度の意義や実態について	イベント	里親支援をしているNPOの方による、里親制度についての説明や実態の講演。
	広告（チラシ/ポスター）	子供たちが街頭でパンフレットをくばっていた。どういった団体かは忘れたが、馴染みがない人にも受け入れやすい、わかりやすいデザイン・内容が書かれていた。「里親が少ないから助けてください」といった内容だったと思う。
	新聞	朝日新聞等で日本は里親制度が浸透していないとの記事でした。私の出身校の近所に孤児院がありました。でも親はいない子供はすくなく親の事情で預けられた子供たちでした。新聞記事を読んでやっぱり里親制度は必要だと思いました。
	テレビ番組	NHKだったか、里親と養子縁組の違いと、実在の方を紹介する番組
里親として子供を育てる人の心情	テレビ番組	「朝が来る」というドラマで、生みの親・育ての親だけでなく様々な事情を抱える登場人物がいる。本人の環境だけでなく周りの色々なことを考えさせてくれるドラマだった。
	テレビ番組	そのような制度があって 里親になったひとのドキュメント番組を見たことがある 大変だなと思いながら見ていたが 親になった人の気持ちのゆるぎない強さが 印象に残っている
実子と養子の家族関係	テレビ番組	もう何年も前に観たのでコンテンツ名は覚えていないのですが、子供が出来なかった夫婦が里親制度を利用して小さい子から高校生ぐらいまでの子を何人も自分の子のように育ててきたという特集。確か2,3人を巣立つまで面倒を見て、その子たちが無事に一人立ちしていくまで心身共に支えていき、巣立っていくと、また新たに里親が必要な子を引き取っているという内容でした。
	テレビ番組	自分には、子供が一人しか出来ず、兄弟を作ってあげたい。番組内容は忘れたが、赤ちゃんポスト等を見ると、なんとかしてあげたい。
	本	小説。実子のいる家族が両親を失った子供を引き取って育てていく物語
	テレビ番組	ドキュメンタリー番組やニュース番組で里親について取り上げていた。 実子も里子も一緒に生活していて、里親さんも特別なことをしているといった感じではないところがとてもよかった。
育児放棄と里親	テレビ番組	はっきりと覚えていませんが、熊本の赤ちゃんポストの取材と養子縁組の事でした。
	テレビ番組	数名の子供と里親の家族のドキュメンタリーで、それぞれの子供たちの抱えた問題と、試行錯誤しながら受け入れて養育しようとする養父母と問題を抱えた育児放棄した実親との人間模様が描かれていた
周囲の人間の体験談	家族	うちの兄夫婦が、実際養子縁組をして里親となった。
	友人/知人	実子と年の離れた子をしっかりと実子のように育てている姿を目の当たりにして。

■ Q29.日常的に触れている情報源

本調査 全体

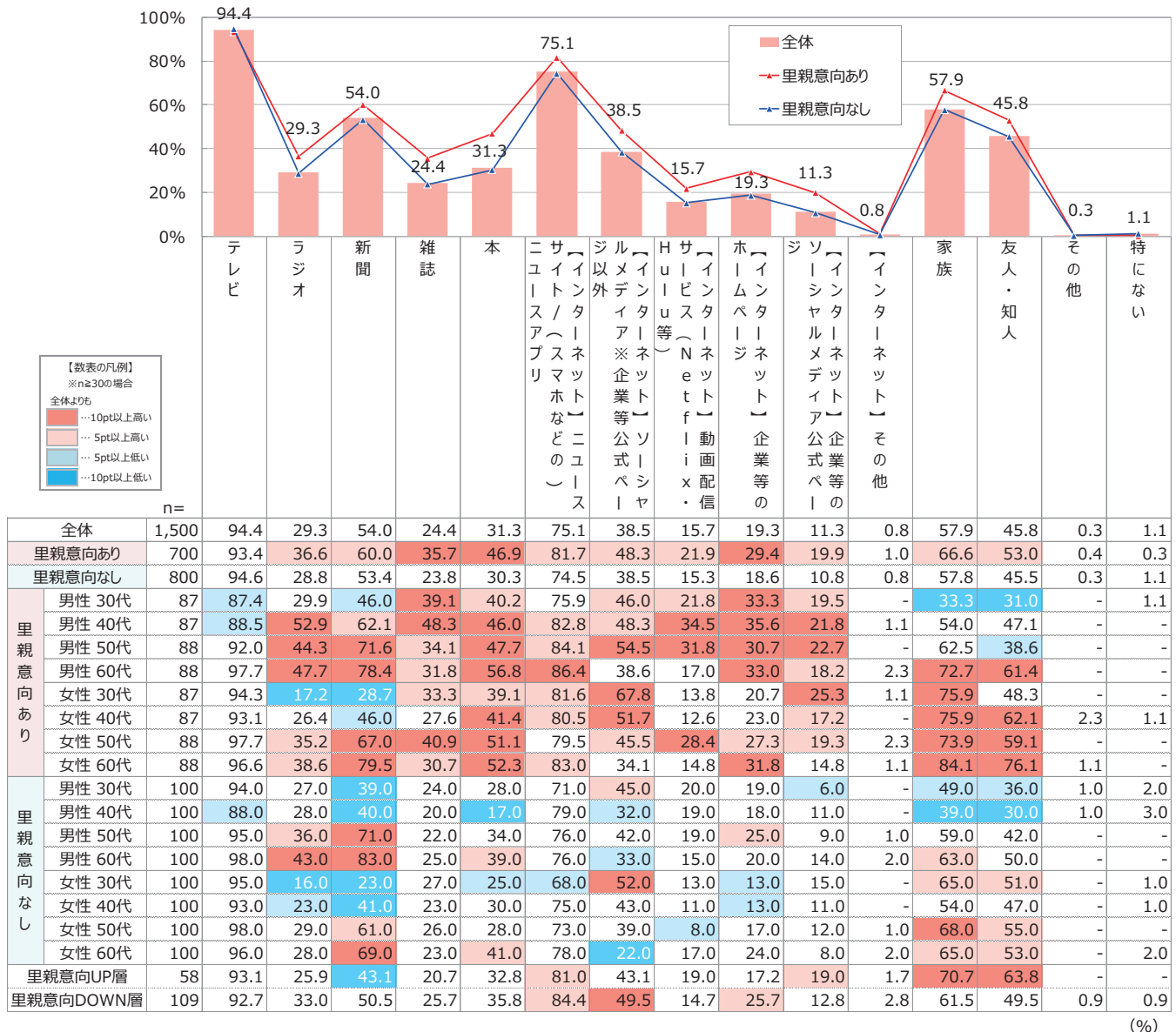
本調査全体（n=1,500）の【日常的に触れている情報源】をみると、「テレビ」94.4%が特に高く、そのほか「【インターネット】ニュースサイト/(スマホなどの)ニュースアプリ」75.1%、「家族」57.9%、「新聞」54.0%、「友人・知人」45.8%などが上位にあがる。

『里親意向あり』は『里親意向なし』よりも概ねメディア全般への接触率が高く、特に「本」「雑誌」「【インターネット】企業等のホームページ」「【インターネット】ソーシャルメディア※企業等公式ページ以外」「【インターネット】企業等のソーシャルメディア公式ページ」で大きく上回る。

『里親意向あり』を性×年代別で比較すると、「ラジオ」「新聞」「本」は男女いずれも高年層ほど接触率が高くなる。また「テレビ」「【インターネット】ニュースサイト/(スマホなどの)ニュースアプリ」「家族」「知人」は、男性の高年層ほど接触率が高まる。一方、「【インターネット】企業等のソーシャルメディア公式ページ」は女性の若年層ほど接触率が高くなる。

『里親意向なし』を性×年代別で比較すると、「ラジオ」「新聞」は男女いずれも高年層ほど接触率が高くなり、「【インターネット】企業等のソーシャルメディア公式ページ」は女性の若年層ほど接触率が高くなる。

Q29S1.あなたが普段の生活の中で接しているメディアをすべてお選びください。（複数回答_表形式）



■ Q29.影響を受けやすい情報源

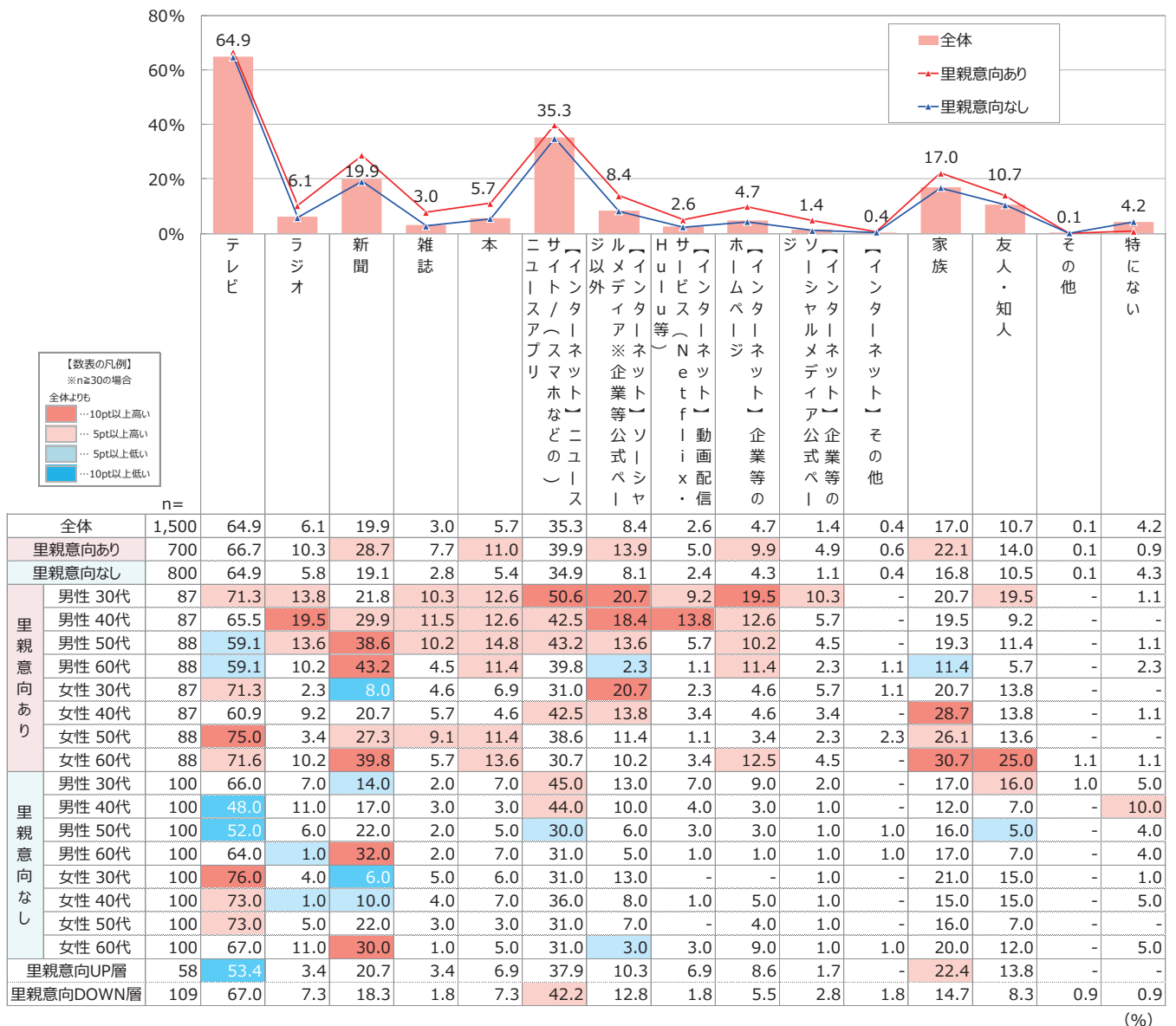
本調査 全体

本調査全体 (n=1,500) の【影響を受けやすい情報源】をみると、「テレビ」64.9%が特に高く、次いで「【インターネット】ニュースサイト/(スマホなどの)ニュースアプリ」35.3%、「新聞」19.9%、「家族」17.0%、「友人・知人」10.7%などが上位にあがる。

『里親意向あり』は『里親意向なし』に対し、特に「新聞」「【インターネット】ソーシャルメディア※企業等公式ページ以外」「本」「【インターネット】企業等のホームページ」「家族」で大きく上回る。

『里親意向あり』と『里親意向なし』を性×年代別で比較すると、「新聞」は男女いずれも高年層ほど接触率が高くなり、「【インターネット】企業等のソーシャルメディア公式ページ」は男女いずれも若年層ほど接触率が高くなる。

Q29S2. また、その中で「あなたがよく参考になっている」と思うメディアをすべてお選びください。(複数回答_表形式)



考察および提言

最後に本調査を考察し、提言をまとめたい。

まず、日本の20代～60代の男女で養育里親になってみたいと考えている意向者は6.3%であった。言い換えれば16人に1人の割合である。これまで日本では里親が増えない理由として、「日本人は血縁を重視するから」「宗教的背景がないから」等の説明がされてきたが、少なくとも本調査では日本でも里親になってみたいと考える層が一定の割合でいることが示された。もちろん現実には回答者の全てが里親になれるとは考えられないが、キアセットの実績では最初の問い合わせから里親登録までいたる割合は2～3%であり、十分に期待が持てる数字と言える。もっとも実際の里親制度についてあまり理解しないまま回答している人が多いことが本調査の結果から示唆されており、より詳細を知ること「自分には難しいかも」と意向が弱まる層がいることもわかった。その一方で、日本では里親が不足している、里親手当が支給される、短期間の里親も可能であるなどの現状や制度を知ること、もともとは里親意向がなかったのに里親になってみたいと考える層も存在し、最終的な里親意向層は12.1%（推計）に増加した。当初の意向層が20代～30代の男性が多かったのに対し、最終的な意向層は30代、40代の女性が多く、実際の里親リクルートにあたってはこの最終的なデモグラフィックを念頭にあたるのが効果的だと考えられる。

なお、里親制度についてはまだまだ知られておらず、認知を向上させる努力が必要であることは本調査から明らかである。里親制度について「全く知らない」が20%、「名前を聞いたことがある程度」が41%をあわせて61%であった。また、養育里親が養子縁組と異なることを約5割が知らなかった。2ヶ月以内など短期間でも里親になれる、子どもの養育費が支給される、里親手当も支給される等の養育里親の制度を知らなかったとする人が9割を超えており、養育里親についての周知が不十分といわざるを得ない。つまり多くの人が、里親とは無償で子どもが大きくなるまで育てる、いわば養子縁組に近いイメージを持っているのが現状であり、このような中でただ「里親になってください」と繰り返しても登録の増加にはつなげにくいだろう。ちなみに本調査では、養育里親の意向者は6.3%で養子縁組里親の5.5%を上回っているが、現実には養子縁組を希望して里親登録を検討する夫婦の方が多い。つまり従来の児童相談所による体験発表会などでは、この養育里親の意向者にリーチできていなかったと考えられる。

一方で、近年の福岡市のキアセットやうえだみなみ乳児院の活動のように、赤ちゃんの短期里親にターゲットを絞り、チラシ配布や郵便局での説明会など、積極的に展開している里親リクルートは大きな成果を挙げている。うえだみなみ乳児院はリクルートの対象である8市町村窓口と話し合いを重ね、すべての市町村で回覧にチラシを入れさせてもらうことに成功している。こうした努力もあり、2017年6月からリクルートを開始して2年弱で、すでに21世帯が里親登録に向けた研修や面接などを行っている。「乳幼児を短期間預かってくれる里親がいらない」という声を聞くことがあるが、うえだみなみ乳児院の実績を見る限り、それはこのような積極的なリクルートが不足していたからではないかを感じる。最近厚生労働省も、新聞やインターネットを使った里親や特別養子縁組の啓発に力を入れており、今後は政府レベルでのテレビ・新聞などでのPRと、地域に根ざしたリクルート活動の両輪で、正しい情報をできる限り多くの手法で届けていくことが効果的であろう。

また、実際に里親を必要としている子どもの情報の提示（写真、年齢、好きなものなど）が里親意向者、非意向者、すべての層において最も里親意向を高める結果となった。大阪や神戸の家庭養護促進協会は50年以上にわたって毎日新聞の「愛の手運動」で子どもの写真や情報を掲示して養子縁組里親や週末里親などのリクルートを実践してきたが、この手法が効果的であることが裏付けられた。近年では個人情報保護の観点から子どもの情報をどのように伝えるか難しい面があるが、過去のストーリーを共感を持ってもらえる形で紹介するなどの手法も考えられる。要は家庭を必要としている子どもの存在をいかに身近に感じてもらうかが、里親リクルートの鍵とも言えるだろう。

里親意向者にとって懸念事項は経済的な問題がトップであり、続いて責任が重い、制度についてよく知らない、どこに相談すればわからないなども挙げられた。こうした懸念点の解決のために、きめ細かい情報を提供していくことは現在の児童相談所の人員や体制では難しく、民間のフォスティング機関の拡充は不可欠といつてよい。厚生労働省も、民間フォスティング機関の研修や補助金の拡大に力をいれているが、現時点の大きな問題はこの補助金制度である。補助金では都道府県によって金額にバラつきが出る上、毎年の競争入札を行う自治体もあり、安定した経営は難しい。施設に子どもを措置したら子ども一人当たりの措置費が支払われるのと同様に、民間フォスティング機関が支援する里親に子どもが委託された場合には、子ども支援のための一人あたりの定額をフォスティング機関に支払う制度設計が必要である。安定した財政の裏づけさえあれば、他の子ども分野で活躍しているNPOの参画や、乳児院や児童養護施設の機能転換も進むことが予想される。

ちなみに里親養育がケアの7割を占めるイギリスでも里親のリクルートは常に大きなテーマであるが、リクルートとともにリテンション（維持）が大きなテーマとして捉えられている。つまり里親になってもらうだけでなく、その後いかにして里親として留まってもらうか、という視点の戦略である。日本は登録里親11,730世帯に対して、未委託里親が7,485世帯と6割を超えている。せっかく子どものためにと奮い立って登録したのに、いつまでも委託がなければ里親のモチベーションも低下してしまう。里親と子どもの相性もあり、委託にはその3倍里親の登録が必要という見解もあるが、イングランドでは登録里親のうち実際に委託されている里親は6割を超えている。未委託里親のいたずらな増加を防ぐためには、まず丁寧な里親アセスメントを導入するとともに、里親登録家庭の現状を調査・分析することが必要である。あわせて短期や長期などの委託の希望や、乳幼児を専門とする里親の登録など、より細やかな里親制度を設計していくことも大切であろう。

最後に、本調査は里親リクルートに主眼を置いたものであるが、子どもたちが安心して生活できる家庭を提供していくために重要なことは、児童相談所や民間フォスティング機関による丁寧なマッチング、研修、支援の提供、そして支援者の専門性の向上、それらの一つ一つの積み重ねである。そのために、今後も関係者一同の協同を期待したい。

APPENDIX – 調查票

スクリーニング調査票(1/4)

スクリーニング調査		回答者=全員																						
F SA	【性別】 あなたの性別をお答えください。	回答者=全員																						
	1. 男性 2. 女性																							
F NA	【年齢】 あなたの年齢をお答えください。	回答者=全員																						
	<input type="text"/> 歳 ⇒ 30～69歳が本調査対象																							
F SA	【居住地】 あなたのお住まいの地域をお答えください。	回答者=全員																						
	1. 都道府県（ブルダウン）																							
F SA	【本人の職業】 あなたの職業をお答えください。	回答者=全員																						
	1. 公務員 2. 経営者・役員 3. 会社員(事務系) 4. 会社員(技術系) 5. 会社員(その他) 6. 自営業 7. 自由業 8. 専業主婦・主夫 9. パート・アルバイト 10. 学生 11. その他 12. 無職																							
F SAMT	【年収】 あなたの世帯年収・個人年収をお答えください。	回答者=全員																						
	<table border="0"> <tr> <td>【項目】</td> <td>【選択肢】</td> </tr> <tr> <td>1. 世帯年収</td> <td>1. 200万円未満</td> </tr> <tr> <td>2. 個人年収</td> <td>2. 200～400万円未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3. 400～600万円未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4. 600～800万円未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5. 800～1000万円未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6. 1000～1200万円未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7. 1200～1500万円未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8. 1500～2000万円未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9. 2000万円以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10. わからない</td> </tr> </table>	【項目】	【選択肢】	1. 世帯年収	1. 200万円未満	2. 個人年収	2. 200～400万円未満		3. 400～600万円未満		4. 600～800万円未満		5. 800～1000万円未満		6. 1000～1200万円未満		7. 1200～1500万円未満		8. 1500～2000万円未満		9. 2000万円以上		10. わからない	
【項目】	【選択肢】																							
1. 世帯年収	1. 200万円未満																							
2. 個人年収	2. 200～400万円未満																							
	3. 400～600万円未満																							
	4. 600～800万円未満																							
	5. 800～1000万円未満																							
	6. 1000～1200万円未満																							
	7. 1200～1500万円未満																							
	8. 1500～2000万円未満																							
	9. 2000万円以上																							
	10. わからない																							
F SA	【未既婚】 あなたの婚姻状況をお答えください。	回答者=全員																						
	1. 未婚 2. 既婚																							
F SA	【子どもの有無】 あなたはお子様がいっぱやいますか。	回答者=全員																						
	1. 子あり 2. 子なし																							

スクリーニング調査票(2/4)

<p>SQ1 MAMT【同居人】 回答者=全員</p> <p>現在あなたが同居されている方をすべてお選びください。また、そのうち成人（20歳以上）の方をすべてお選びください。 ※子ども・兄弟・姉妹などそれぞれ複数の方と同居されている場合、その中で一人でも20歳以上の方がいらっしゃれば「そのうち、成人（20歳以上）の方」で選択をしてください。</p>	
<p>【項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 同居している方 そのうち、成人（20歳以上）の方 <p>⇒「成人（20歳以上）の方」で 1つ以上の項目を選択者が本調査対象</p>	<p>【選択肢】</p> <ol style="list-style-type: none"> 配偶者 子ども 母親（義母含む） 父親（義父含む） 兄弟・姉妹（義理の兄弟・姉妹含む） 祖父母（義理の祖父母含む） 伯(叔)父、伯(叔)母（義理の伯叔父母含む） 甥・姪（義理の甥・姪含む） 孫 自分の恋人・家族の恋人 友人 その他（FA） いない/ひとり暮らし
<p>SQ2 MAMT【排他条件】 回答者=全員</p> <p>あなたと同居されている方について、あてはまるものをすべてお選びください。</p>	
<p>【項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> あなたのこと 同居されている方のこと <p>【選択肢】 <i>ダミーのみランダムイズ</i></p> <p>S1or2回答で本調査除外 S1or2回答で本調査除外 S1or2回答で本調査除外</p> <p>ダミー-選択肢&属性理解 ダミー-選択肢&属性理解 ダミー-選択肢&属性理解 ダミー-選択肢&属性理解 ダミー-選択肢&属性理解 ダミー-選択肢&属性理解 ダミー-選択肢&属性理解 ダミー-選択肢&属性理解 ダミー-選択肢&属性理解 ダミー-選択肢&属性理解 ダミー-選択肢&属性理解 ダミー-選択肢&属性理解</p> <ol style="list-style-type: none"> 現在、生活保護を受けている 現在、要介護者である 犯罪歴（子どもが被害者となる犯罪に限る）がある 肉体労働を伴う職業（土木・建築・ドライバー・メカニック等）に就いている/就いていた 保育士・幼稚園教諭である/だった 小・中・高校 教師である/だった 介護職である/だった 福祉職である/だった 医師である/だった 看護師である/だった 農業をしている/していた ファミリーサポート（地域において育児や介護を援助を受けたい人と行いたい人が会員となり助け合う組織）に援助する側として登録している/していた 宗教家である/だった（教会の牧師など） 宗教を信仰している/していた あてはまるものはない 	
<p>SQ3 SAMT【里親制度の認知】 回答者=全員</p> <p>あなたは次の里親について、どの程度知っていますか。あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。</p>	
<p>【項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 人の里親 ペットの里親 	<p>【選択肢】</p> <ol style="list-style-type: none"> 内容をよく知っている 内容がある程度は知っている 名前を聞いたことがある程度 全く知らない
<p>SQ4 SA【「里親」に対するイメージ】 回答者=全員</p> <p>あなたは「里親」という言葉を聞いた時に、人の里親についてどのようなイメージを持ちますか。最も近いもの一つお選びください。 ※ここでは、ペットの里親についてのイメージは除いてお答えください。</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 良いイメージがある どちらかというと良いイメージがある どちらともいえない どちらかというと良くないイメージがある 良くないイメージがある 	

スクリーニング調査票(4/4)

SQ7 SAMT 【里親の実施意向】 回答者=全員

子どもを対象とした里親制度には、大きく3つの種類があります。よく読んでお答えください。

【1.養育里親（専門里親を含む）】
様々な事情で自分の家族と暮らせない子どもたちを、一定期間自分の家庭に迎え入れ、成長をサポートする里親

【2.養子縁組里親】
養子縁組によって、子どもの養親になることを希望する里親

【3.親族里親】
実親が死亡、行方不明などにより養育できない場合に、祖父母などの親族が子どもを養育する里親

あなたは、里親になってみたいと思いますか。
里親の種類ごとに、あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。
※ここでは、ペットの里親は除いてお答えください。

【項目】

1. 養育里親（専門里親を含む）
2. 養子縁組里親
3. 親族里親

【選択肢】

意向あり	1. 里親になってみたい
意向あり	2. どちらかというと、里親になってみたい
意向なし	3. どちらともいえない
意向なし	4. どちらかというと、里親になってみたいとは思わない
意向なし	5. 里親になってみたいとは思わない

本調査票(1/13)

本調査	
<p>～ここからは、「里親」のことについてお聞きます～</p>	
<p>【1.養育里親（専門里親を含む）】 様々な事情で自分の家族と暮らせない子どもたちを、一定期間自分の家庭に迎え入れ、成長をサポートする里親</p>	<p>この調査では、これを「里親」とします。</p> <p>※「養子縁組」とは異なります。 ※ペットの里親は除いてお答えください。</p>
<p>【2.養子縁組里親】 養子縁組によって、子どもの養親になることを希望する里親</p>	
<p>【3.親族里親】 実親が死亡、行方不明などにより養育できない場合に、祖父母などの親族が子どもを養育する里親</p>	
<p>Q1 MA 【「里親をする人」のイメージ】 回答者=本調査対象者</p> <p style="text-align: center;">「里親をする人」はどのような人だと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。</p>	
<p style="text-align: center; color: blue;">ランダムイズ</p> <p>性格・気質 1. 優しい 性格・気質 2. 明るい 性格・気質 3. 社交的 性格・気質 4. 子どもが好き 性格・気質 5. 献身的 性格・気質 6. 変わっている 性格・気質 7. 偽善者 性格・気質 8. 世話好き 性格・気質 9. おせっかい 興味関心 10. 社会貢献に熱心である スキル 11. 子育てのスキルが高い 環境 12. 経済的に余裕がある 環境 13. 時間に余裕がある 環境 14. 実子がない 15. その他（FA） 16. 特に何も思い浮かばない</p>	
<p>Q2 MA 【「里親に委託される子ども」のイメージ】 回答者=本調査対象者</p> <p style="text-align: center;">「里親に委託される子ども」のイメージとして、あてはまるものをすべてお選びください。</p>	
<p style="text-align: center; color: blue;">ブロックランダムイズ</p> <p>順序固定 年齢 1. 乳児 順序固定 年齢 2. 幼児 順序固定 年齢 3. 小学生 順序固定 年齢 4. 中学生 順序固定 年齢 5. 高校生以上 印象 6. かわいそう 印象 7. 傷ついている 印象 8. 実子よりも手がかりそう 印象 9. 実子がいる家庭にはうまく馴染めなさそう 印象 10. 問題行動を起こしそう 印象 11. 助けが必要な子が多そう 性格・気質 12. 明るい 性格・気質 13. 暗い 性格・気質 14. 人懐っこい 性格・気質 15. 謙虚 性格・気質 16. 責任感がある 性格・気質 17. 真面目 性格・気質 18. 物静か 性格・気質 19. 忍耐強い 性格・気質 20. わがまま 性格・気質 21. 心を閉ざしている 性格・気質 22. コミュニケーションが苦手 23. その他（FA） 24. 特に何も思い浮かばない</p>	

本調査票(2/13)

Q3	SA	<p>【里親意向_時系列】</p> <p>事前アンケートで「里親になってみたい」とお答えになった方にお聞きします。 あなたは、どのタイミングで里親になってみたいと思いますか。あてはまるものを一つお選びください。</p>	回答者=SQ7S1=1-2 (意向あり)
<p>1. すぐにでも里親になってみたい</p> <p>2. いずれ (タイミングや条件が整ったら) 里親になってみたい</p>			
Q4	SA+MA	<p>【里親の認知経路・意向きっかけ】</p> <p>全員表示⇒ あなたは、里親のことを何を通して知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。 里親意向ありのみ表示⇒ また、事前アンケートで「里親になってみたい」とお答えになった方にお聞きします。 里親意向ありのみ表示⇒ 里親について、どのようなきっかけで「なってみたい」と思うようになりましたか。あてはまるものをすべてお選びください。 里親意向ありのみ表示⇒ また、その中で最も強いきっかけとなったものを一つお選びください。</p>	回答者=本調査対象者
<p>【項目】</p> <p>1. 里親について知ったものすべて ←全員回答</p> <p>2. きっかけになったものすべて ←里親意向ありのみ回答</p> <p>3. 最も強いきっかけになったもの一つ ←里親意向ありのみ回答</p>			
<p>【選択肢】</p> <p>メディア 1. テレビ番組</p> <p>メディア 2. テレビCM</p> <p>メディア 3. ラジオ</p> <p>メディア 4. 新聞</p> <p>メディア 5. 雑誌</p> <p>メディア 6. 本</p> <p>メディア 7. 【インターネット】ニュースサイト/(スマホなどの)ニュースアプリ</p> <p>メディア 8. 【インターネット】ソーシャルメディア (Twitter・Facebook・LINE・Youtube等) ※NPO/NGOの公式ページ以外</p> <p>メディア 9. 【インターネット】行政関連 (児童相談所等) のホームページ</p> <p>メディア 10. 【インターネット】NPO/NGOのホームページ</p> <p>メディア 11. 【インターネット】NPO/NGOのソーシャルメディア (Twitter・Facebook・LINE・Youtube等) 公式ページ</p> <p>メディア 12. 【インターネット】その他 (FA)</p> <p>メディア 13. イベント (養育家庭 (里親) 体験発表会、里親制度説明会など)</p> <p>メディア 14. 広告 (チラシ・ポスターなど)</p> <p>人 15. 家族</p> <p>人 16. 友人・知人</p> <p>人 17. 里親をやっている人</p> <p>人 18. 学校・授業</p> <p>人 19. 行政 (児童相談所など) の人</p> <p>人 20. 児童養護施設・乳児院の人</p> <p>人 21. 病院の先生</p> <p>22. このアンケート</p> <p>23. その他 (FA)</p> <p>24. 特にない</p>			
Q5	FA	<p>【強い動機付けとなるコンテンツFA】</p> <p>最も里親になってみたいきっかけになった「Q4S3回答選択肢 表示」についてうかがいます。 その「Q4S3回答選択肢 表示」は、どのような内容でしたか。できるだけ具体的にお答えください。</p>	回答者=Q4S3=1-22
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>			

本調査票(3/13)

Q6	FA 【意向理由FA】	<p>あなたは事前アンケートで、養育里親について「SQ7S1回答選択肢 表示」とお答えになりましたが、それはなぜですか。その理由を、できるだけ具体的にお答えください。</p>	回答者=本調査対象者
<div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div>			
Q7	SA+MA 【（里親意向あり）意向理由】	<p>事前アンケートで「里親になってみたい」とお答えになった方にお聞きます。里親になってみたい理由として、あてはまるものをすべてお選びください。また最もあてはまるもの一つをお選びください。</p>	回答者=SQ7S1=1-2（意向あり）
<p>【項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. あてはまるものすべて 2. 最もあてはまるもの一つ <p>【選択肢】 ランダムイズ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもが好きだから 2. 子育てをしたいから 3. 実子がいないから 4. 家庭を必要とする子どもを助けたいから 5. 社会貢献をしたいから 6. 経済的に余裕があるから 7. 時間に余裕ができたから 8. 実子の子育てが終わったから 9. 補助金がでるから 10. 自分にもできそうと思ったから 11. その他（FA） <p>必要性/責任感 必要性/責任感 許容性 許容性 許容性 許容性 許容性</p>			
Q8	SA+MA 【（里親意向あり）意向があるのに実施していない理由】	<p>事前アンケートで「里親になってみたい」が、「里親になった経験がない」とお答えになった方にお聞きます。里親になってみたいにもかかわらず、まだ里親になっていないのはなぜですか。その理由として、あてはまるものをすべてお選びください。また最もあてはまるもの一つをお選びください。</p>	回答者=SQ7S1=1-2（意向あり）
<p>【項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. あてはまるものすべて 2. 最もあてはまるもの一つ <p>【選択肢】 ランダムイズ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 漠然と大変そうだから 2. 里親制度についてよく知らないから 3. 専門的な知識やスキルが必要そうだから 4. どこに相談すればいいのかわからないから 5. 行政（児童相談所など）に問い合わせづらいから 6. 行政（児童相談所など）とのやりとりが面倒だから 7. 支援してくれる組織や体制がないと思うから 8. 経済的負担が心配だから 9. 仕事や生活への負担が心配だから 10. 時間がないから・忙しいから 11. 預かった子どもが大きくなるまで自分が健康でいられるかわからないから 12. 実子の子育てが終わっていないから 13. 長期間、束縛されそうだから 14. 続けられる自信がないから 15. 子どもの人生を左右するので責任が重いから 16. 実子との関係が悪くなりそうだから 17. 近所・周囲の目があるから 18. 家が狭いから 19. 里親の登録条件に合わないから 20. 家族・親戚が反対するから 21. その他（FA） <p>理解不足 理解不足 理解不足 サポート体制 サポート体制 サポート体制 サポート体制 サポート体制 金銭的な心配 肉体的な心配 肉体的な心配 肉体的な心配 肉体的な心配 肉体的な心配 精神的な心配 精神的な心配 精神的な心配 精神的な心配 精神的な心配 精神的な心配 環境的な問題 環境的な問題 環境的な問題</p>			

本調査票(4/13)

Q9	MA	<p>【(里親意向あり) 受け入れたい子どもの条件(学齢)】</p> <p>事前アンケートで「里親になってみたい」とお答えになった方にお聞きます。 里親になるとしたら、<u>子どもの学齢</u>について受け入れたい条件はありますか。あてはまるものをすべてお選びください。 ※例えば、「生まれた直後～小学校低学年までの子どもがよい」という場合は、選択肢1～3まですべてをお選びください。</p>	<p>回答者=SQ7S1=1-2 (意向あり)</p>																																																																																	
<p>1. 乳児 2. 幼稚園児・保育園児 3. 小学校低学年(1～3年生) 4. 小学校高学年(4～6年生) 5. 中学校 6. 高等学校以上 7. 学齢は特に問わない ※排他</p>																																																																																				
Q10	MA	<p>【(里親意向あり) 受け入れたい子どもの条件(期間)】</p> <p>事前アンケートで「里親になってみたい」とお答えになった方にお聞きます。 里親になるとしたら、<u>期間</u>について受け入れたい条件はありますか。あてはまるものをすべてお選びください。 ※例えば、「2年以上がよい」という場合は、選択肢5～7まですべてをお選びください。</p>	<p>回答者=SQ7S1=1-2 (意向あり)</p>																																																																																	
<p>1. 2週間未満 2. 1か月未満 3. 3か月未満 4. 3か月以上～1年未満 5. 1年以上～5年未満 6. 5年以上～10年未満 7. 10年以上 8. 期間は特に問わない ※排他</p>																																																																																				
Q11	SA+MA	<p>【(里親意向なし) 非意向理由】</p> <p>事前アンケートで「里親になってみたいとは思わない」「どちらともいえない」とお答えになった方にお聞きます。 里親になってみたいとは思わない理由として、あてはまるものをすべてお選びください。</p>	<p>回答者=SQ7S1=3-5 (意向なし)</p>																																																																																	
<p>【項目】</p> <p>1. あてはまるものすべて 2. 最もあてはまるもの一つ</p>																																																																																				
<p>Q8にはない項目 ↓【選択肢】 ランダムイズ</p>																																																																																				
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">無関心</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">●</td> <td style="width: 75%;">1. 興味が無いから</td> </tr> <tr> <td>無関心</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td>2. 子どもを育てたいと思わないから</td> </tr> <tr> <td>理解不足</td> <td></td> <td>3. 漠然と大変そうだから</td> </tr> <tr> <td>理解不足</td> <td></td> <td>4. 里親制度についてよく知らないから</td> </tr> <tr> <td>理解不足</td> <td></td> <td>5. 専門的な知識やスキルが必要そうだから</td> </tr> <tr> <td>サポート体制</td> <td></td> <td>6. どこに相談すればいいのかわからないから</td> </tr> <tr> <td>サポート体制</td> <td></td> <td>7. 行政(児童相談所など)に問い合わせづらいから</td> </tr> <tr> <td>サポート体制</td> <td></td> <td>8. 行政(児童相談所など)とのやりとりが面倒だから</td> </tr> <tr> <td>サポート体制</td> <td></td> <td>9. 支援してくれる組織や体制がないと思うから</td> </tr> <tr> <td>金銭的な心配</td> <td></td> <td>10. 経済的負担が心配だから</td> </tr> <tr> <td>肉体的な心配</td> <td></td> <td>11. 仕事や生活への負担が心配だから</td> </tr> <tr> <td>肉体的な心配</td> <td></td> <td>12. 時間がないから・忙しいから</td> </tr> <tr> <td>肉体的な心配</td> <td></td> <td>13. 預かった子どもが大きくなるまで自分が健康でいられるかわからないから</td> </tr> <tr> <td>肉体的な心配</td> <td></td> <td>14. 実子の子育てが終わっていないから</td> </tr> <tr> <td>肉体的な心配</td> <td></td> <td>15. 長期間、束縛されそうだから</td> </tr> <tr> <td>精神的な心配</td> <td></td> <td>16. 続けられる自信がないから</td> </tr> <tr> <td>精神的な心配</td> <td></td> <td>17. 子どもを人生を左右するので責任が重いから</td> </tr> <tr> <td>精神的な心配</td> <td></td> <td>18. 実子との関係が悪くなりそうだから</td> </tr> <tr> <td>精神的な心配</td> <td></td> <td>19. 近所・周囲の目があるから</td> </tr> <tr> <td>精神的な心配</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td>20. 他人の子どもを育てることに抵抗があるから</td> </tr> <tr> <td>他人ゴト</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td>21. 自分よりもっと向いている人がやればよいから</td> </tr> <tr> <td>他人ゴト</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td>22. 施設に任せたいほうがよいから</td> </tr> <tr> <td>環境的な問題</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td>23. 自分の身の回りには助けを必要としている子どもがいないから</td> </tr> <tr> <td>環境的な問題</td> <td></td> <td>24. 家が狭いから</td> </tr> <tr> <td>環境的な問題</td> <td></td> <td>25. 里親の登録条件に合わないから</td> </tr> <tr> <td>環境的な問題</td> <td></td> <td>26. 家族・親戚が反対するから</td> </tr> <tr> <td>環境的な問題</td> <td></td> <td>27. その他 (FA)</td> </tr> </table>				無関心	●	1. 興味が無いから	無関心	●	2. 子どもを育てたいと思わないから	理解不足		3. 漠然と大変そうだから	理解不足		4. 里親制度についてよく知らないから	理解不足		5. 専門的な知識やスキルが必要そうだから	サポート体制		6. どこに相談すればいいのかわからないから	サポート体制		7. 行政(児童相談所など)に問い合わせづらいから	サポート体制		8. 行政(児童相談所など)とのやりとりが面倒だから	サポート体制		9. 支援してくれる組織や体制がないと思うから	金銭的な心配		10. 経済的負担が心配だから	肉体的な心配		11. 仕事や生活への負担が心配だから	肉体的な心配		12. 時間がないから・忙しいから	肉体的な心配		13. 預かった子どもが大きくなるまで自分が健康でいられるかわからないから	肉体的な心配		14. 実子の子育てが終わっていないから	肉体的な心配		15. 長期間、束縛されそうだから	精神的な心配		16. 続けられる自信がないから	精神的な心配		17. 子どもを人生を左右するので責任が重いから	精神的な心配		18. 実子との関係が悪くなりそうだから	精神的な心配		19. 近所・周囲の目があるから	精神的な心配	●	20. 他人の子どもを育てることに抵抗があるから	他人ゴト	●	21. 自分よりもっと向いている人がやればよいから	他人ゴト	●	22. 施設に任せたいほうがよいから	環境的な問題	●	23. 自分の身の回りには助けを必要としている子どもがいないから	環境的な問題		24. 家が狭いから	環境的な問題		25. 里親の登録条件に合わないから	環境的な問題		26. 家族・親戚が反対するから	環境的な問題		27. その他 (FA)
無関心	●	1. 興味が無いから																																																																																		
無関心	●	2. 子どもを育てたいと思わないから																																																																																		
理解不足		3. 漠然と大変そうだから																																																																																		
理解不足		4. 里親制度についてよく知らないから																																																																																		
理解不足		5. 専門的な知識やスキルが必要そうだから																																																																																		
サポート体制		6. どこに相談すればいいのかわからないから																																																																																		
サポート体制		7. 行政(児童相談所など)に問い合わせづらいから																																																																																		
サポート体制		8. 行政(児童相談所など)とのやりとりが面倒だから																																																																																		
サポート体制		9. 支援してくれる組織や体制がないと思うから																																																																																		
金銭的な心配		10. 経済的負担が心配だから																																																																																		
肉体的な心配		11. 仕事や生活への負担が心配だから																																																																																		
肉体的な心配		12. 時間がないから・忙しいから																																																																																		
肉体的な心配		13. 預かった子どもが大きくなるまで自分が健康でいられるかわからないから																																																																																		
肉体的な心配		14. 実子の子育てが終わっていないから																																																																																		
肉体的な心配		15. 長期間、束縛されそうだから																																																																																		
精神的な心配		16. 続けられる自信がないから																																																																																		
精神的な心配		17. 子どもを人生を左右するので責任が重いから																																																																																		
精神的な心配		18. 実子との関係が悪くなりそうだから																																																																																		
精神的な心配		19. 近所・周囲の目があるから																																																																																		
精神的な心配	●	20. 他人の子どもを育てることに抵抗があるから																																																																																		
他人ゴト	●	21. 自分よりもっと向いている人がやればよいから																																																																																		
他人ゴト	●	22. 施設に任せたいほうがよいから																																																																																		
環境的な問題	●	23. 自分の身の回りには助けを必要としている子どもがいないから																																																																																		
環境的な問題		24. 家が狭いから																																																																																		
環境的な問題		25. 里親の登録条件に合わないから																																																																																		
環境的な問題		26. 家族・親戚が反対するから																																																																																		
環境的な問題		27. その他 (FA)																																																																																		

本調査票(5/13)

Q12	SA	<p>【現状ある里親の支援制度提示後 里親実施意向】</p> <p>現在、里親（養育里親）は以下のような制度です。</p>	回答者=本調査対象者
		<p><里親制度について></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 他人の子を家庭で育てる制度である 2. 家庭環境の中で、子どもの健全な成長を促すための制度である 3. 養子縁組（戸籍上、自分の子どもとする制度）とは異なる 4. 行政に里親登録される <p><里親制度の現状について></p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 日本には、里親を必要としている子どもが3万人いる 6. 世界と比べて日本は里親不足が深刻である <p><里親になる条件について></p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 経済的に裕福でなくても里親になれる 8. 結婚していなくても、大人が2人以上住んでいれば里親になれる 9. 共働きでも里親になれる 10. 実子がいても里親になれる 11. 研修を受ける必要がある（2日～4日程度） <p><子どもを預かる期間について></p> <ol style="list-style-type: none"> 12. 子どもを預かる期間は、最長で子どもが18歳になるまでである（延長するケースもある） 13. 子どもを預かる期間が2か月以内などの短期間でも里親になれる <p><金銭的なサポートについて></p> <ol style="list-style-type: none"> 14. [養育費]子どもの生活費などの養育費が行政から支給される（月約5万円） 15. [里親手当①]養育費以外に、里親手当も支給される（月約8万円） 16. [里親手当②]障がいのある子どもを受け入れるなどの専門的な里親には、里親手当が+5万円増額されることがある <p><子どもを預かる時のサポートについて></p> <ol style="list-style-type: none"> 17. マッチングの際、子どもの年齢・性別など相談に応じてくれる 18. 受け入れの前に、基本的に子供と一定の交流期間がある <p><里親になっている間のサポートについて></p> <ol style="list-style-type: none"> 19. 必要に応じて休みをとるための援助制度がある（他の里親や施設に預けられる等） 20. NPO/NGO/行政などの支援を受けられることもある 	現状の内容
		<p>改めてお聞きします。あなたは、「里親」をやってみたいと思いますか。</p> <p>上記の文章をよく読み、あてはまるもの一つお選びください。</p>	
		<p>意向あり 1. 里親になってみたい</p> <p>意向あり 2. どちらかというと、里親になってみたい</p> <p>意向なし 3. どちらともいえない</p> <p>意向なし 4. どちらかというと、里親になってみたいとは思わない</p> <p>意向なし 5. 里親になってみたいとは思わない</p>	

本調査票(6/13)

Q13 SAMT【現状ある里親の支援制度の詳細認知】

回答者=本調査対象者

里親について、どの程度知っていましたか。あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。

【項目】

＜里親制度について＞

1. 他人の子を家庭で育てる制度である
2. 家庭環境の中で、子どもの健全な成長を促すための制度である
3. 養子縁組（戸籍上、自分の子どもとする制度）とは異なる
4. 行政に里親登録される

＜里親制度の現状について＞

5. 日本には、里親を必要としている子どもが3万人いる
6. 世界と比べて日本は里親不足が深刻である

＜里親になる条件について＞

7. 経済的に裕福でなくても里親になれる
8. 結婚していなくても、大人が2人以上住んでいれば里親になれる
9. 共働きでも里親になれる
10. 実子がいても里親になれる
11. 研修を受ける必要がある（2日～4日程度）

＜子どもを預かる期間について＞

12. 子どもを預かる期間は、最長で子どもが18歳になるまでである（延長するケースもある）
13. 子どもを預かる期間が2か月以内などの短期間でも里親になれる

＜金銭的なサポートについて＞

14. [養育費]子どもの生活費などの養育費が行政から支給される（月約5万円）
15. [里親手当①]養育費以外に、里親手当も支給される（月約8万円）
16. [里親手当②]障がいのある子どもを受け入れるなどの専門的な里親には、里親手当が+5万円増額されることがある

＜子どもを預かる時のサポートについて＞

17. マッチングの際、子どもの年齢・性別など相談に応じてくれる
18. 受け入れの前に、基本的に子供と一定の交流期間がある

＜里親になっている間のサポートについて＞

19. 必要に応じて休みをとるための援助制度がある（他の里親や施設に預けられる等）
20. NPO/NGO/行政などの支援を受けられることもある

【選択肢】

1. 知っていた
2. なんとなく知っていた
3. 知らなかった

本調査票(7/13)

Q14 SAMT 【現状ある里親の支援制度による里親意向の変化】

回答者=本調査対象者

里親になる際に、以下のような仕組みや支援する制度・取り組みがあることで、里親への興味を持ちますか。あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。

【項目】

<里親制度について>

1. 他人の子を家庭で育てる制度である
2. 家庭環境の中で、子どもの健全な成長を促すための制度である
3. 養子縁組（戸籍上、自分の子どもとする制度）とは異なる
4. 行政に里親登録される

<里親制度の現状について>

5. 日本には、里親を必要としている子どもが3万人いる
6. 世界と比べて日本は里親不足が深刻である

<里親になる条件について>

7. 経済的に裕福でなくても里親になれる
8. 結婚していなくても、大人が2人以上住んでいれば里親になれる
9. 共働きでも里親になれる
10. 実子がいても里親になれる
11. 研修を受ける必要がある（2日～4日程度）

<子どもを預かる期間について>

12. 子どもを預かる期間は、最長で子どもが18歳になるまでである（延長するケースもある）
13. 子どもを預かる期間が2か月以内などの短期間でも里親になれる

<金銭的なサポートについて>

14. [養育費]子どもの生活費などの養育費が行政から支給される（月約5万円）
15. [里親手当①]養育費以外に、里親手当も支給される（月約8万円）
16. [里親手当②]障がいのある子どもを受け入れるなどの専門的な里親には、里親手当が+5万円増額されることがある

<子どもを預かる時のサポートについて>

17. マッチングの際、子どもの年齢・性別など相談に応じてくれる
18. 受け入れの前に、基本的に子供と一定の交流期間がある

<里親になっている間のサポートについて>

19. 必要に応じて休みをとるための援助制度がある（他の里親や施設に預けられる等）
20. NPO/NGO/行政などの支援を受けられることもある




【選択肢】

1. 里親への興味を持つ
2. どちらかというと、里親への興味を持つ
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、里親への興味を持たない
5. 里親への興味を持たない

本調査票(8/13)

<p>Q15 SAMT 【施策案による里親意向の変化】</p> <p>どのような条件がそろっていると、里親への興味を持ちますか。 あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。</p> <p>【項目】</p> <p>お金 1. 養育費などの金銭面のサポートをさらに得られれば ※現状計 月13万円 (月 [FA] 円) お金 2. 住居を変えるための補助がもらえれば 時間 3. 時間に余裕があれば 時間 4. 1週間など、短期間でもよければ 環境 5. 広い住居に住めれば 環境 6. 実子が大きくなったら 環境 7. 退職したら 環境 8. 里親とチームとなり、リクルート、研修、支援などを一貫して担ってくれる機関があれば 心 9. 気軽に相談できる場所・相手がいれば 心 10. 家族・親族・同居人の理解が得られれば 心 11. 「里親会」のような、里親同士のつながりがあれば 体 12. 仕事の忙しさが落ち着いたら 体 13. 預かっている子どもでも保育園に預けることができるなら 体 14. 子育ての知識が増えたら 心 15. 子どもとの相性が良くなかった時に、他の子どもにかえられるなら 心 16. 周囲・近所の理解が得られれば 心 17. 学校や幼稚園・保育園の理解が得られれば 心 18. 行政（児童相談所など）の態度が友好的ならば 体 19. 育児休暇が取れれば 20. その他（FA）</p> <p>【選択肢】</p> <p>1. 里親への興味を持つ 2. どちらかという、里親への興味を持つ 3. どちらともいえない 4. どちらかという、里親への興味を持たない 5. 里親への興味を持たない</p>	<p>回答者=本調査対象者</p>
<p>Q16 SAMT 【里親について知りたいこと】</p> <p>どのようなことを知ることができると、里親への興味を持ちますか。 あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。</p> <p>【項目】</p> <p>子どもについて 1. 子どもの人となり（顔写真や好きな事など） 子どもについて 2. 子どもの背景（これまでの暮らしぶりや里親を必要としている背景など） サポート内容 3. どのような物理的サポートが受けられるか（補助金や休暇制度といった支援など） サポート内容 4. どのような精神的サポートが受けられるか（相談など） 里親の現状 5. どのくらいの里親を待っている子どもがいるのか 里親の現状 6. 日本の受け入れ状況が国際基準と比べてどのくらい遅れているのか 里親の現状 7. 近所にも里親を必要としている子どもがいること 里親について 8. 具体的な里親のなり方 里親について 9. 里親になるための留意事項 里親について 10. 里親になった際の収支モデル 里親について 11. 里親たちの体験談 子どもについて 12. 実際に里親に預けられた子どもたちの体験談 13. その他（FA）</p> <p>【選択肢】</p> <p>1. 里親への興味を持つ 2. どちらかという、里親への興味を持つ 3. どちらともいえない 4. どちらかという、里親への興味を持たない 5. 里親への興味を持たない</p>	<p>回答者=本調査対象者</p>

本調査票(9/13)

<p>Q17 SA 【提示物に対する反応】</p>	<p>回答者=本調査対象者</p>
<p>次の写真と文章を読んでお答えください。 あなたはこれを読んで、里親への興味を持ちましたか。あてはまるものを一つお選びください。 ※この子どもたちの興味ではなく、「里親」そのものに対する興味としてお答えください。 ※実際に新聞に掲載されていた記事を加工しており、あくまでイメージです。</p>	
<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 65%;"> <p>ゆうくん 3か月</p> <p>ぶよぶよとしたほっぺが、とても愛らしい。ゆう君です。毎日朝いよくミルクを飲み、足りないときもあるほど。ミルクの時間になるとちよちよお寝もすくよう。周囲が驚くくらい大きな声で泣いて知らせます。たっぷり飲んでよく寝て、すくすくと成長しています。</p> <p>寝きているときは、足でマットを蹴るなど元気いっぱい。抱っこされるのも好きようです。身長58.6センチ、体重5.6キロ。里親として育ててくださる方を探しています。</p> </div> </div> <hr/> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 65%;"> <p>さくらちゃん 2歳2か月</p> <p>草花が大好きな、さくらちゃんです。近所の公園にいつかは、職員さんやお友達にお花を摘んであげたりして喜ばせてくれます。</p> <p>友達が泣いていると、そっとそばに行つてよしよししてあげたりと、優しい女の子です。でも、困ったり疲れたりすると「抱っこ」と言って甘えたりする一面も。身長85.7センチ、体重12.5キロ。里親として育ててくださる方を探しています。</p> </div> </div> <hr/> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 65%;"> <p>ようたくん 3歳11か月</p> <p>公園遊びと虫取りが大好きな元気いっぱい、ようた君です。いつもお友達と一緒に仲良く公園で遊んでいます。</p> <p>夕食の時間が近くなると、「今日はな〜に？」と毎回きくほど、食事が楽しみな食いしん坊さん。ご飯とみそ汁は助まされないと食べないのに、おかずは猫しそろに好んで食べます。特にプロッコリーとカボチャが大好きで、いつもお代わりします。身長99.7センチ、体重15.6キロ。里親として育ててくださる方を探しています。</p> </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: small; color: red;">※これらの写真および紹介文は、あくまでイメージであり、実在するお子様ではありません。</p> </div>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 里親への興味を持つ 2. どちらかというと、里親への興味を持つ 3. どちらともいえない 4. どちらかというと、里親への興味を持たない 5. 里親への興味を持たない 	
<p>Q18 SA+FA 【ここまでのアンケートでの気持ちの変化】</p>	<p>回答者=本調査対象者</p>
<p>あなたは、事前アンケートで「SQ7S1回答選択肢 表示」とお答えになっていらっしゃいました。 今のあなたのお気持ちにあてはまるものを1つお選びください。 また、その理由をできるだけ具体的にお答えください。</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 里親になってみたい 2. どちらかというと、里親になってみたい 3. どちらともいえない 4. どちらかというと、里親になってみたいとは思わない 5. 里親になってみたいとは思わない <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 50%; margin-top: 10px;"></div>	

本調査票(10/13)

Q19	MA	<p>【養育里親が増えない理由】</p> <p>現在、日本では、『里親の数が少ない』と言われています。その理由はなぜだと思えますか。あてはまるものをすべてお選びください。</p>	回答者=本調査対象者
ランダムイズ			
		<ul style="list-style-type: none"> 無関心 1. 無関心な人が多いから 理解不足 2. 里親そのものについて知る機会が少ないから 理解不足 3. 里親について詳しく知る機会が少ないから 理解不足 4. 漠然と大変そうなイメージを持っている人が多いから 理解不足 5. 里親に暗いイメージを持っている人が多いから サポート体制 6. どこに相談すればいいのかわからない人が多いから サポート体制 7. 支援制度が不十分だから サポート体制 8. 支援してくれる組織や体制が整っていないと思う人が多いから 金銭的な心配 9. 経済的に余裕がない人が多いから 肉体的な心配 10. 仕事や生活への負担を心配している人が多いから 精神的な心配 11. 日本は血縁を重んじる文化だから 他人ゴト 12. 自分よりもっと向いている人がやればよいと思っている人が多いから 他人ゴト 13. 施設に任せたいほうがよいと思っている人が多いから 環境的な問題 14. 助けを必要としている子どもがいることを知らないから 環境的な問題 15. 家が狭い家庭が多いから 環境的な問題 16. 里親の登録条件に合致する人が少ないから 17. その他 (FA) 	
Q20	SAMT	<p>【現在の行政サービスの問題点】</p> <p>里親になる際には、次のようなこともあります。それぞれについて、あなたはどのように思いますか。あてはまるものをそれぞれ一つお選びください。</p>	回答者=本調査対象者
<p>【項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 里親登録後、初めて子どもが委託されるまでに5年ほど待つことがある 2. 行政の担当職員が2～3年で変わる 3. 行政の担当職員が経験不足のことがある 4. 現状、リクルート、研修、支援などを一貫して担ってくれる機関がない 5. 預かった子どもが里親を必要としていた背景や事情を教えてもらえない 6. 「里親証明書」など、公的に里親である証明をする書類がなく、自身が保護者としての証明に手間が掛かる 7. 預かった子どもが18歳以上になった時の支援が十分ではない 8. 大学進学費用のサポートはない <p>【選択肢】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 気持ちに変化はない 2. 里親になってみたい気持ちがやや弱くなる 3. 里親になってみたい気持ちが弱くなる 			
～ここからは、あなたのことについてお聞きします～			
Q21	SA	<p>【配偶者の職業】</p> <p>あなたの配偶者の職業をお答えください。</p>	回答者=本調査対象者
<ul style="list-style-type: none"> 1. 公務員 2. 経営者・役員 3. 会社員(事務系) 4. 会社員(技術系) 5. 会社員(その他) 6. 自営業 7. 自由業 8. 専業主婦・主夫 9. パート・アルバイト 10. 学生 11. その他 12. 無職 			

本調査票(12/13)

Q27 NA	【可処分時間】	回答者=本調査対象者
<p>1日のうち、あなたが自由に使える時間をお答えください。(平日・休日、それぞれお答えください。) (睡眠や食事、風呂などの拘束時間は除く) ※月～金曜日を平日、土日祝日を休日としてお答えください。</p>		
<p>【項目】</p> <p>1. 平日 … <input type="text"/> 時間</p> <p>2. 休日 … <input type="text"/> 時間</p>		
Q28 SA	【可処分所得】	回答者=本調査対象者
<p>あなたが1か月あたり自由に使えるお金の金額をお答えください。 (最低限の衣食住居費、光熱費、家族のための生活費などを除く)</p>		
<p>1. 0円 2. 1円～2千円未満 3. 2千円以上～5千円未満 4. 5千円以上～1万円未満 5. 1万円以上～2万円未満 6. 2万円以上～3万円未満 7. 3万円以上～4万円未満 8. 4万円以上～5万円未満 9. 5万円以上～7万円未満 10. 7万円以上～10万円未満 11. 10万円～15万円未満 12. 15万円～20万円未満 13. 20万円以上</p>		
Q29 MAMT	【日常的に触れている情報源・影響を受けやすい情報源】	回答者=本調査対象者
<p>あなたが普段の生活の中で接しているメディアをすべてお選びください。 また、その中で「あなたがよく参考になっている」と思うメディアをすべてお選びください。</p>		
<p>【項目】</p> <p>1. 普段の生活の中で接しているメディア 2. そのうち「あなたがよく参考になっている」と思うメディア</p>		
<p>【選択肢】</p> <p>1. テレビ 2. ラジオ 3. 新聞 4. 雑誌 5. 本 6. 【インターネット】ニュースサイト/(スマホなどの)ニュースアプリ 7. 【インターネット】ソーシャルメディア (Twitter・Facebook・LINE・Youtube等) ※企業等公式ページ以外 8. 【インターネット】動画配信サービス (Netflix・Hulu等) 9. 【インターネット】企業等のホームページ 10. 【インターネット】企業等のソーシャルメディア (Twitter・Facebook・LINE等) 公式ページ 11. 【インターネット】その他 (FA) 12. 家族 13. 友人・知人 14. その他 (FA) 15. 特いない</p>		

本調査票(13/13)

Q30 SAMT 【自分自身/生活に対する意識・子育て観】		回答者=本調査対象者
あなたの生活に対する意識についてうかがいます。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。		
【項目】	ブロックランダムイズ	【選択肢】
生活意識	1. 活動的・行動的に人生を送りたい	1. あてはまる
生活意識	2. 社会や地域に役立つ人生を送りたい	2. ややあてはまる
生活意識	3. 品の良い人生を送りたい	3. どちらともいえない
生活意識	4. やすらぎのある人生を送りたい	4. あまりあてはまらない
生活意識	5. 人任せな人生を送りたい	5. あてはまらない
生活意識	6. モノではなく、こころが豊かな人生を送りたい	
生活意識	7. 自由、気ままに人生を送りたい	
生活意識	8. 家族や友人を大切に人生を送りたい	
生活意識	9. 堅実、安定した人生を送りたい	
生活意識	10. 金銭的に豊かで、ぜいたくな人生を送りたい	
生活意識	11. できるだけ人や社会に関わらずに人生を送りたい	
子育て観	12. 子育てをすることで人間的に成長できる	
子育て観	13. 子育てを通じて人間関係が広がる	
子育て観	14. 子育ては経済的負担が大きい	
子育て観	15. 子育てをすると自分のやりたいことができない	
子育て観	16. 親は子育てに責任がある	
子育て観	17. 子どもを育てることは生きがい・喜び・希望である	
子育て観	18. 子どもは自分の血を後世に残せるものである	
子育て観	19. 子どもは周囲の手を借りず、自分たちだけで育てるものだ	
子育て観	20. 子どもは周囲の協力を得ながら育てるものだ	

謝 辞

本調査の実施と報告書作成にあたり、株式会社シタシオンジャパン様に丁寧かつ的確な調査設計および分析をしていただきましたことに、厚く御礼申し上げます。また、ボックスグローバル・ジャパン株式会社の辰巳達様および井土裕介様、ヒューマン・ライツ・ウォッチの土井香苗様および趙正美様、千葉県里親家庭支援センターの木ノ内博道様、長野大学の上鹿渡和宏教授、NPO法人キアセットの渡邊守様に貴重なアドバイスおよびコメントを頂きました。皆様のご協力なしには、この調査報告書は完成しませんでした。心からの感謝と御礼を申し上げます。

日本財団 公益事業部 国内事業開発チーム
ハッピーゆりかごプロジェクトチーム
高橋恵里子・杉本裕子

無断転載、複製および訳転載を禁止します。
引用の際は本書が出典であることを必ず明記してください。

本調査報告書に関するご意見・お問い合わせは、下記までお願いします。

日本財団ハッピーゆりかごプロジェクト
WEB サイト：<http://happy-yurikago.net/>



発行元：公益財団法人日本財団
〒107-8404東京都港区赤坂1-2-2日本財団ビル